



白山市 人口ビジョン

人集い 活力あふれる 白山市

～持続的発展 (Sustainable Development) の実現を目指して～

平成 27 年 10 月

目 次

1. 白山市人口ビジョンの位置づけ	1
1) 計画策定の背景・目的	1
2) 計画の対象期間	1
3) 国の長期ビジョンの考え方	1
2. 白山市の人口の現状分析	3
1) 人口の動向	3
2) 産業別の人口動向	10
3) 地域別の人口動向	13
4) 将来人口の推計と分析	16
5) 人口の変化が地域の将来に与える影響の分析・考察	20
3. 白山市が目指す将来の姿と人口の将来展望	23
1) 市民などの意向	23
2) 白山市が目指す将来の姿	25
3) 人口の将来展望	27
参考. アンケート調査結果	30

1. 白山市人口ビジョンの位置づけ

1) 計画策定の背景・目的

地方人口ビジョンは、各地方公共団体における人口の現状を分析し、人口に関する市民の認識を共有し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示するものである。

また、地方版総合戦略において、まち・ひと・しごと創生の実現に向けて効果的な施策を企画立案する上で重要な基礎と位置付けられる。

策定に際しては、国の長期ビジョンを勘案することが望まれ、人口減少が経済社会に与える影響の分析や、人口減少に歯止めをかける「積極戦略」と、人口減少に対応するための「調整戦略」を同時に推進することや、移住の希望や若い世代の就労・結婚・子育ての希望など国民の希望の実現に全力を注ぐ等の基本的視点が国より提示されている。

白山市人口ビジョンは、国が策定した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の趣旨を踏まえ、本市における人口の現状を分析するとともに、将来的な変化を含めて市民全体で共有し、中長期的に目指すべき方向と人口の将来展望を取りまとめるものである。

2) 計画の対象期間

白山市人口ビジョンの対象期間は、国の長期ビジョンの期間に呼応し 2015年（H27年度）から2060年（H72年度）とする。

3) 国の長期ビジョンの考え方

(1) 人口問題に対する基本的視点

● 3つの基本的視点から人口減少に向けた「積極戦略」と「調整戦略」を推進

- ①「東京一極集中」の是正
- ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現
- ③地域の特性に即した地域課題の解決

● 国民の希望の実現に全力を注ぐ

- ①地方への移住の希望に応え、地方への新しいひとの流れをつくる
- ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現する

● 若い世代の結婚・子育ての希望に応える

- ・結婚の希望の実現には、「質」を重視した雇用を確保し、安定的な経済基盤の確保が必要であるとともに、「子育て支援」や男女ともに子育てと就労を両立させる「働き方」の実現が重要である。

1. 白山市人口ビジョンの位置付け

(2) 目指すべき将来の方向

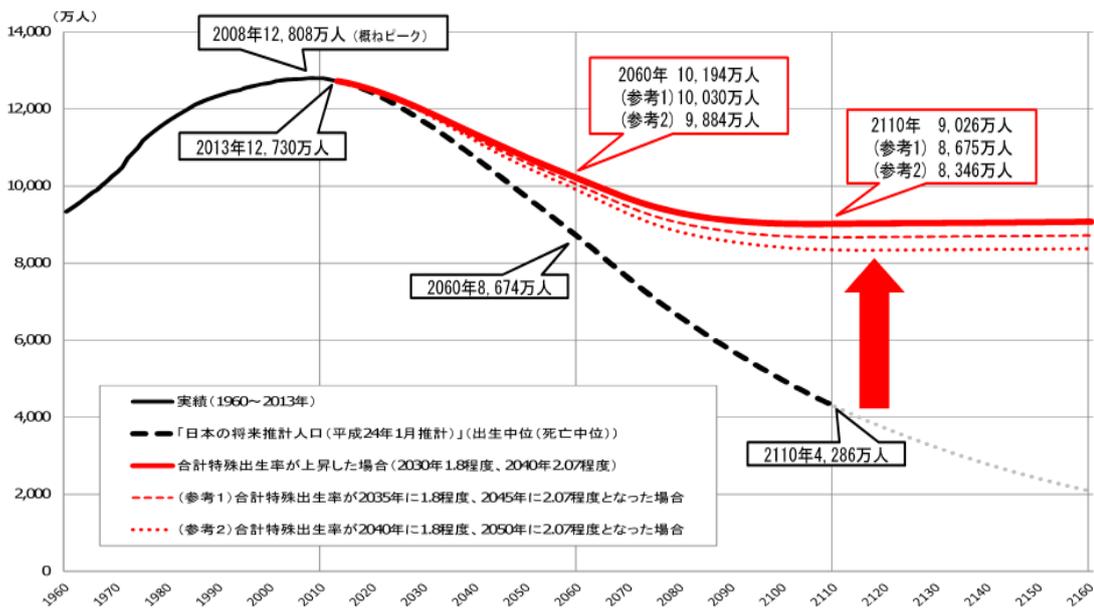
●将来にわたって「活力ある日本社会」の維持

- ・人口の規模・構造の安定には、出生率が人口置換水準（人口規模が長期的に維持される水準人口で、現在は2.07）まで回復することが必須。
- ・若い世代の希望が実現すると、出生率は1.8程度に向上する。
- ・2030～2040年頃に出生率が2.07まで回復し、人口減少に歯止めがかかると、2060年に1億人程度の人口の確保が予想され、人口の規模や構造が安定し、高齢化率が年々低下する。若返りにより、「働き手」の増加が経済成長を牽引するなど経済的に好環境となる。

●地方創生がもたらす日本社会の姿

- ・地方創生が目指すのは、地域に住む人々が自らの地域資源を活用した多様な地域社会の形成を目指し、外部との積極的なつながりにより、新たな視点から活性化を図ることである。
- ・地方創生が実現し、地方の人口減少に歯止めがかかるならば、地方の方が東京圏など大都市圏に比べ先行して若返ることとなる。

図 1-1 我が国の人口の推移と長期的な見通し



(注1) 実績は、総務省統計局「国勢調査」等による(各年10月1日現在の人口)。国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」は出生中位(死亡中位)の仮定による。2110～2160年の点線は2110年までの仮定等をもとに、まち・ひと・しごと創生本部事務局において機械的に延長したものである。
 (注2) 「合計特殊出生率が上昇した場合」は、経済財政諮問会議専門調査会「選択する未来」委員会における人口の将来推計を参考にしながら、合計特殊出生率が2030年に1.8程度、2040年に2.07程度(2020年には1.6程度)となった場合について、まち・ひと・しごと創生本部事務局において推計を行ったものである。

出典： まち・ひと・しごと創生長期ビジョン

※上記に示す国の長期ビジョンの考え方を踏まえ、将来にわたって活力ある白山市を維持するため、白山市人口ビジョンを策定する。

2. 白山市の人口の現状分析

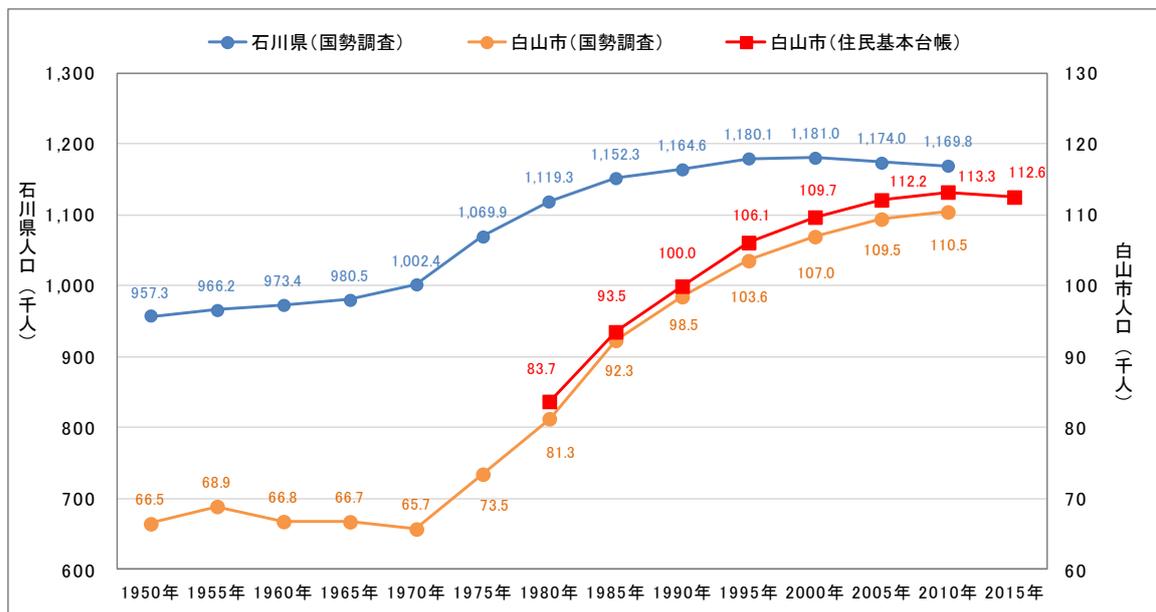
1) 人口の動向

(1) 総人口の推移

○1970年（S45）の約66,000人から急激に人口が増加し、2010年（H22）では110,000人（44,000人増、67%増）となったが、2010年（H22）から2015年（H27）にかけては人口減少に転換している。

- ・1950年（S25）から1970年（S45）にかけては横ばいであったが、1970年（S45）を境に急激に増加（1970年（S45）～1995年（H7）は年平均1,500人増）し、2000年（H12）以降は緩やかな増加傾向（2005年（H17）～2010年（H22）は年平均200人増）
- ・住民基本台帳の結果では、2010年（H22）から2015年（H27）にかけて減少に転換（113,264人⇒112,561人：703人減）
- ・石川県では2000年（H12）の1,181,000人をピークとしてすでに減少に転換

図 2-1 白山市及び石川県の人口推移



※国勢調査は各年10月1日時点、住民基本台帳は各年3月31日時点

出典：総務省「国勢調査」、白山市「住民基本台帳」

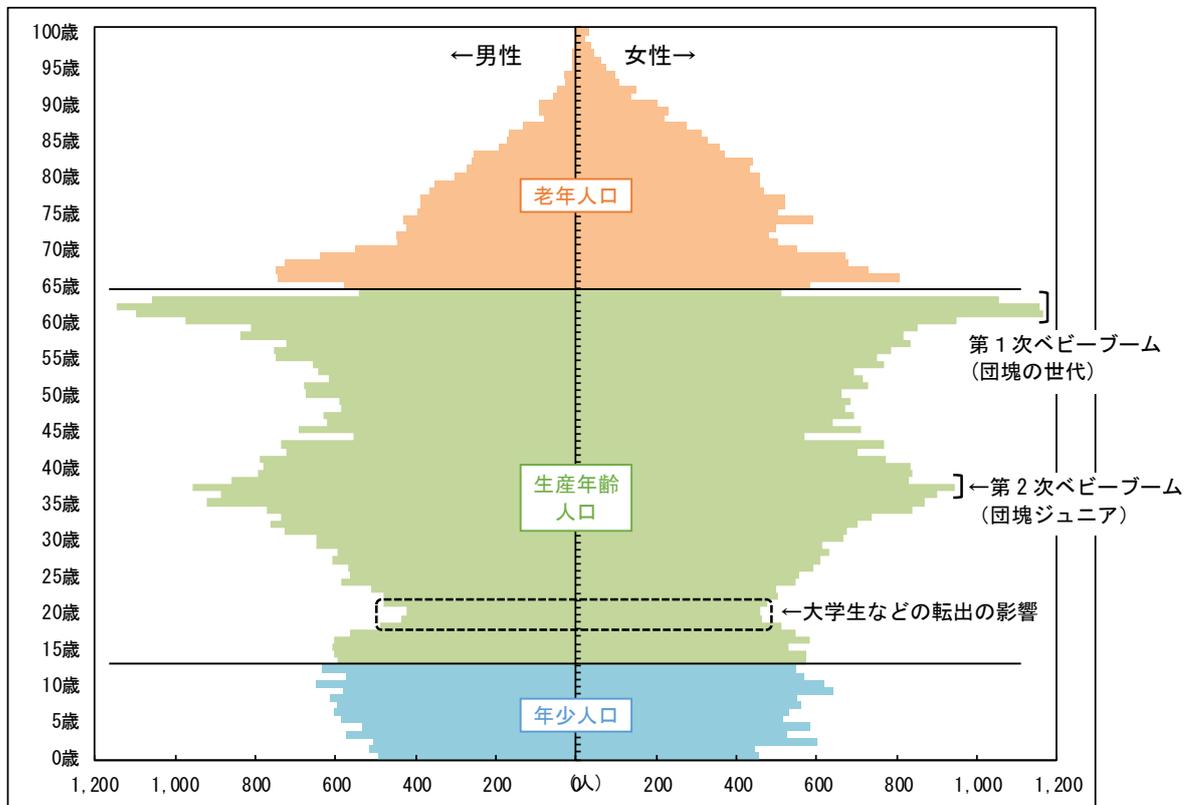
2-1. 人口の動向

(2) 年齢別人口

○大学進学などを契機とした転出などによる影響で 10 歳代後半～20 歳代前半の人口が極端に少なくなっている。

- ・本市の人口ピラミッドは“ひょうたん型”をしており、国全体の動向と類似
- ・人口が多い年代は、第1次ベビーブーム（団塊の世代）、第2次ベビーブーム（団塊ジュニア）であり、人口が少ない年代は10歳代後半～20歳代前半であり、大学進学等による転出による影響と想定

図 2-2 人口ピラミッド（2010 年）



出典：総務省「国勢調査」

(3) 年齢3区分別人口の推移

○生産年齢人口（15-64歳）は2005年（H17）、年少人口（0-14歳）は1985年（S60）をピークとして減少する一方、老年人口（65歳以上）は一貫して増加している。2005年には老年人口が年少人口を上回り少子高齢化が更に進行している。

- ・年少人口は1985年（S60）の2.3万人、生産年齢人口は2005年（H17）の7.3万人を境に減少に転じているが、老年人口は一貫して増加（2010年は2.3万人）し、2005年（H17）には年少人口を上回り、2010年（H22）の年齢構成割合では21%に上昇

図 2-3 年齢3区分別人口

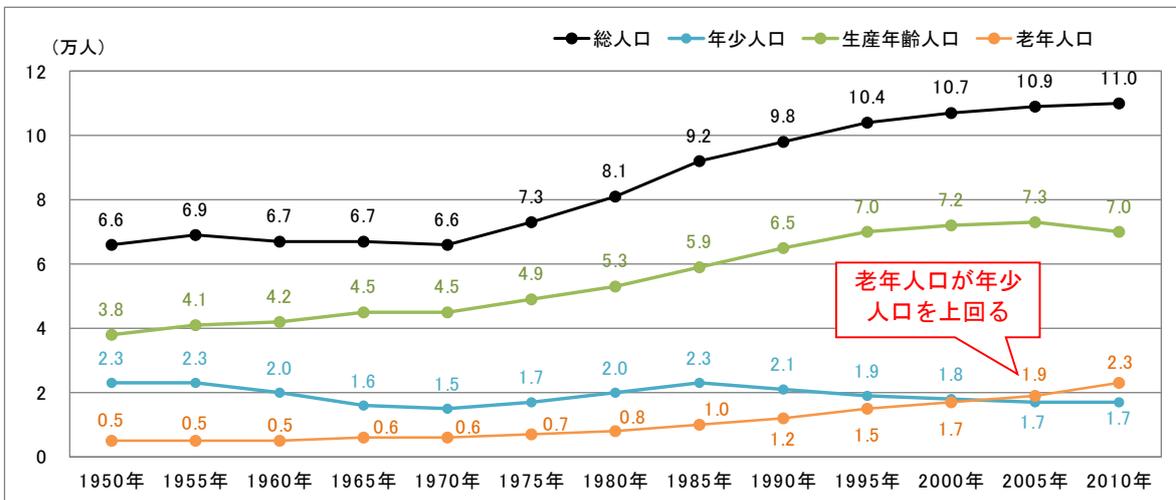
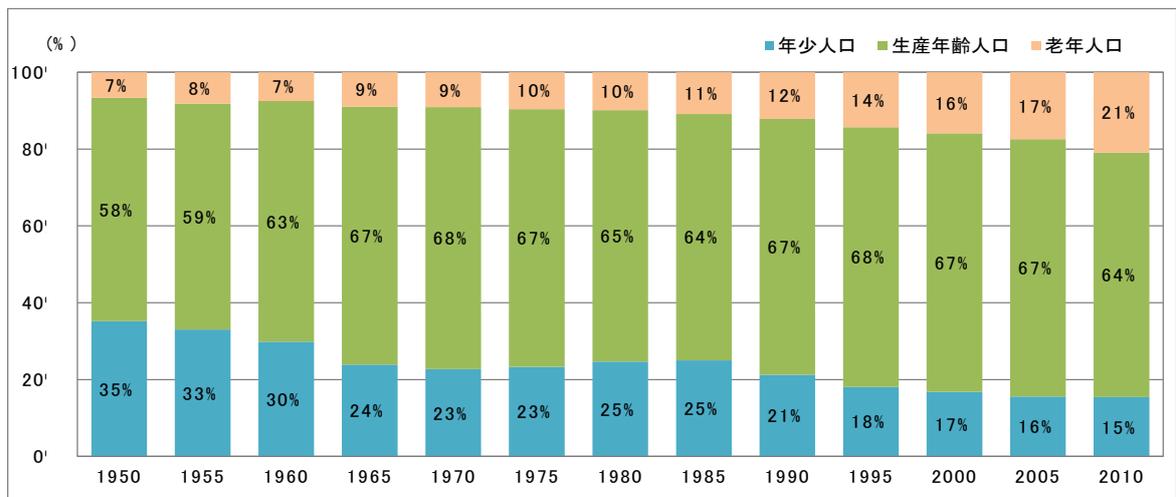


図 2-4 年齢3区分別人口構成割合



出典：総務省「国勢調査」

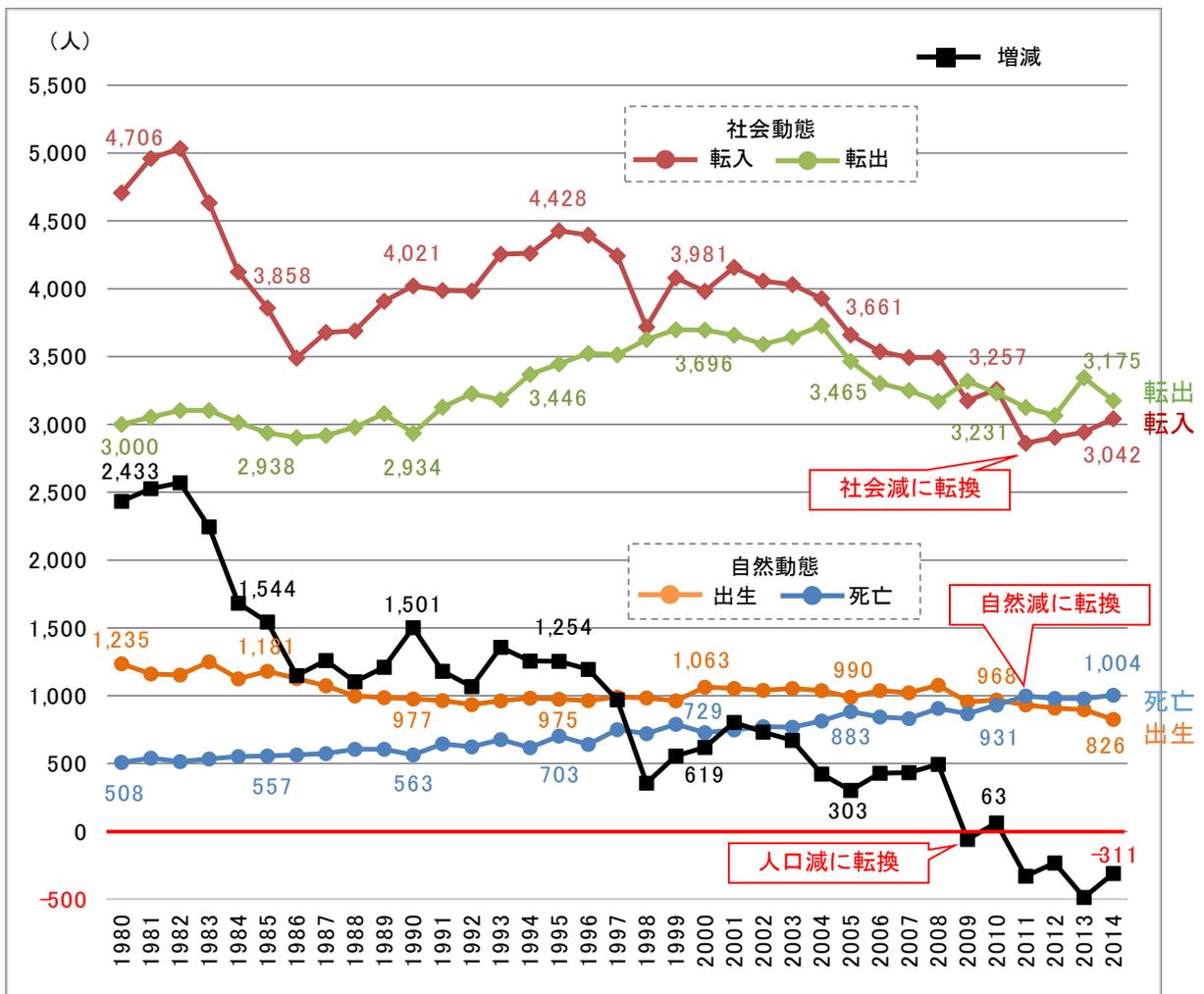
2-1. 人口の動向

(4) 人口動態の推移

○1980年（S55）以降これまでは自然動態、社会動態ともに増加していたが、2010年（H22）頃を境として、出生者数よりも死亡者数が多い自然減及び転入者数よりも転出者数が多い社会減に転換している。

- ・自然動態は、1980年（S55）では年間727人の自然増であったが、死亡者数の増加と出生数の減少により、2011年（H23）には自然減に転じ、2014年（H26）は178人の自然減
- ・社会動態は、1980年（S55）では年間1,706人の社会増であったが、転入者の減少により、2009年（H21）には社会減となり、2011年（H23）以降は社会減に転換（ただし近年は転入者は微増傾向）し、2014年（H26）は133人の社会減

図 2-5 人口動態の推移



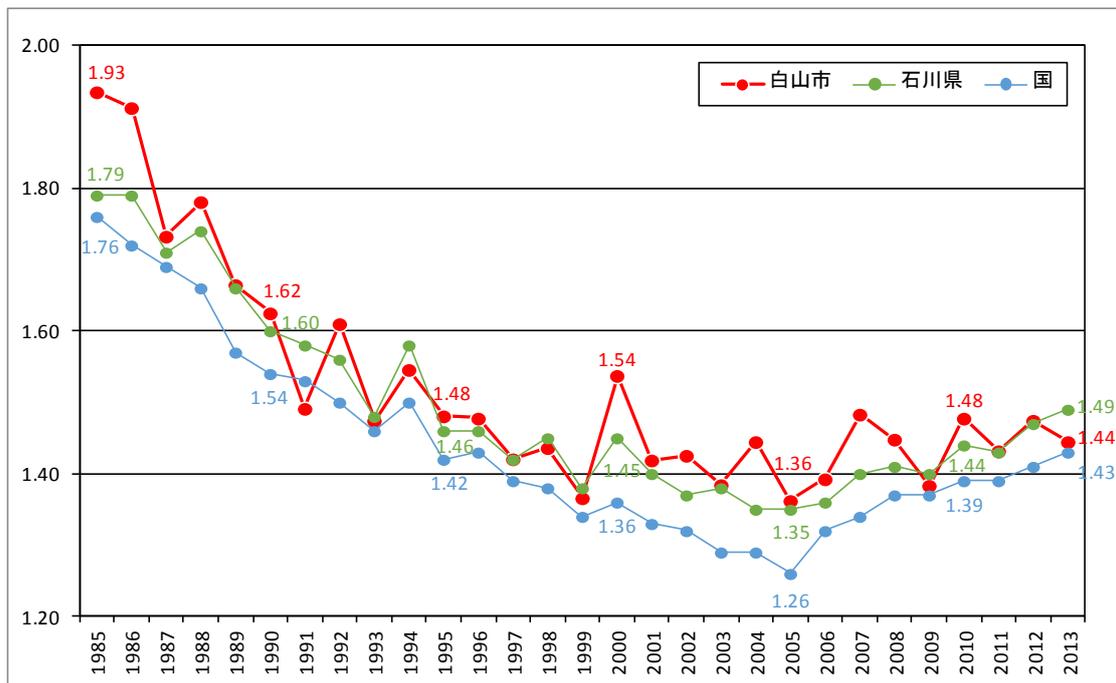
出典：石川県「石川県の人口と世帯」

(5) 合計特殊出生率の推移

○1999年（H11）にかけて大幅に低下し、2000年（H12）以降は1.4前後で推移している。

- ・合計特殊出生率は、1985年（S60）の1.93から1999年（H11）には1.37まで低下し、その後は1.4前後で横ばい傾向（2013年（H25）には1.44）
- ・国・県も同様な傾向であるが、国では2005年（H17）に1.26まで低下し、その後は上昇傾向（2013年（H25）では本市とほぼ同様な1.43）

図 2-6 合計特殊出生率の推移



出典：国・石川県のデータ 厚生労働省「人口動態調査」

白山市のデータ 石川県「衛生統計年報」、石川県「石川県の人口動態統計」

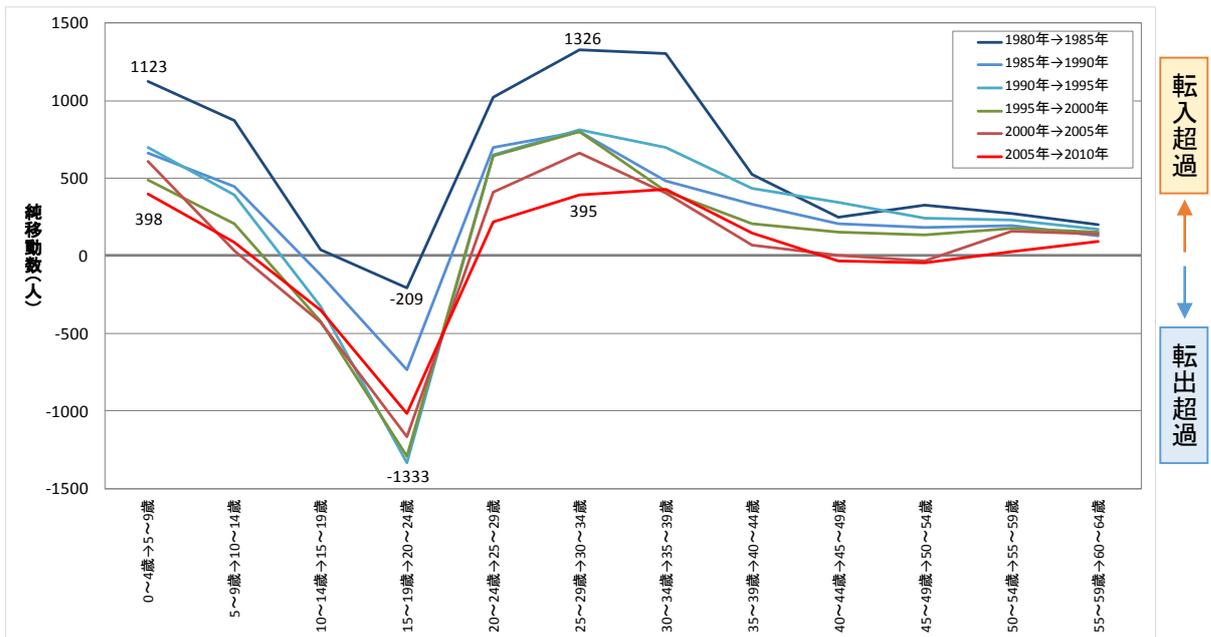
2-1. 人口の動向

(6) 年齢別の社会動態の推移

○大学進学等に伴い10歳代から20歳代前半の転出が大半を占める一方、10歳未満や20歳代後半、30歳代は転入が多い（近年は転出・転入ともに減少傾向）。

- ・1980年（S55）から1985年（S60）の移動に比べ、1990年代は10代後半から20歳前半の転出が増加する一方、10歳未満や20歳代後半、30歳代（ファミリー世帯と想定）の転出が多くなり、近年は転入・転出ともに減少傾向

図 2-7 年齢階級別の人口移動の状況の長期的動向



※純移動数は、国勢調査の人口と各期間の生存率を用いて推計した値であり、下記のように推定される。

例：2005年→2010年の0～4歳→5～9歳の純移動数
 = 【2010年の5～9歳人口】 - 【2005年の0～4歳人口】 × 【2005年→2010年の0～4歳→5～9歳の生存率】

出典：内閣官房まち・ひと・しごと創生本部「国勢調査等に基づく推計」

(7) 転入・転出先の推移

○2011年（H23）以降は県内移動が転入超から転出超に変化し、2010年（H22）以降全体として転出超に転換している（2014年（H26）は県内移動が概ね均衡し、全体としても概ね移動が均衡）。

- ・ 県外との移動では、東京圏に毎年転出超となっており、2011年（H23）以降は県内の移動も転出超に転換したが、2014年（H26）にはほぼ移動が均衡
- ・ 県内の移動では、金沢市は2010年（H22）、野々市市は2011年（H23）に転入超から転出超に転換したが、野々市市は2014年（H26）に転入超に再度転換

図 2-8 社会移動の主な内訳（地域ブロック別移動）

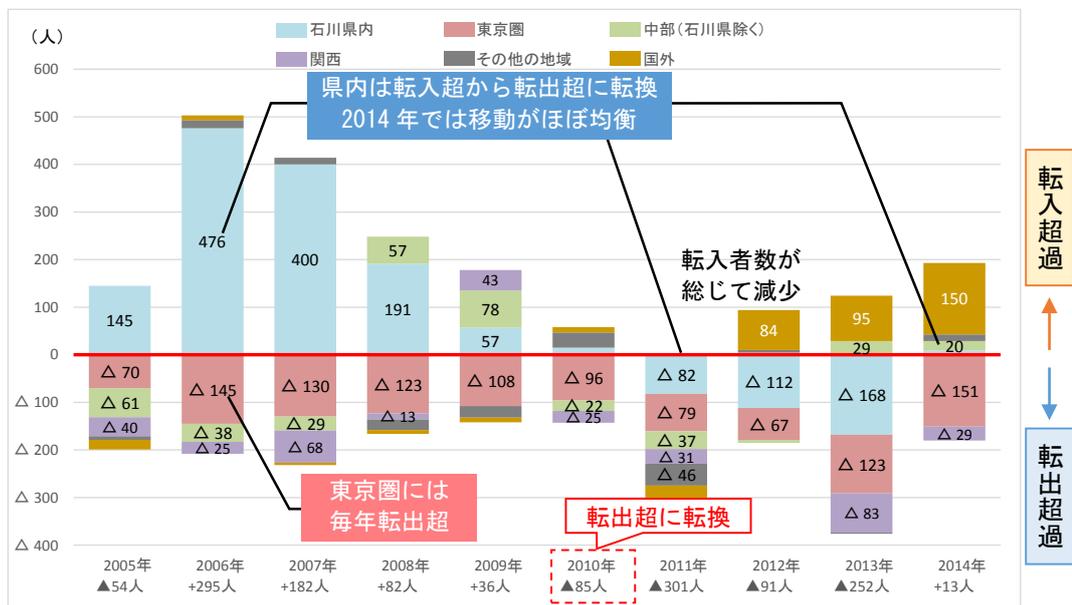
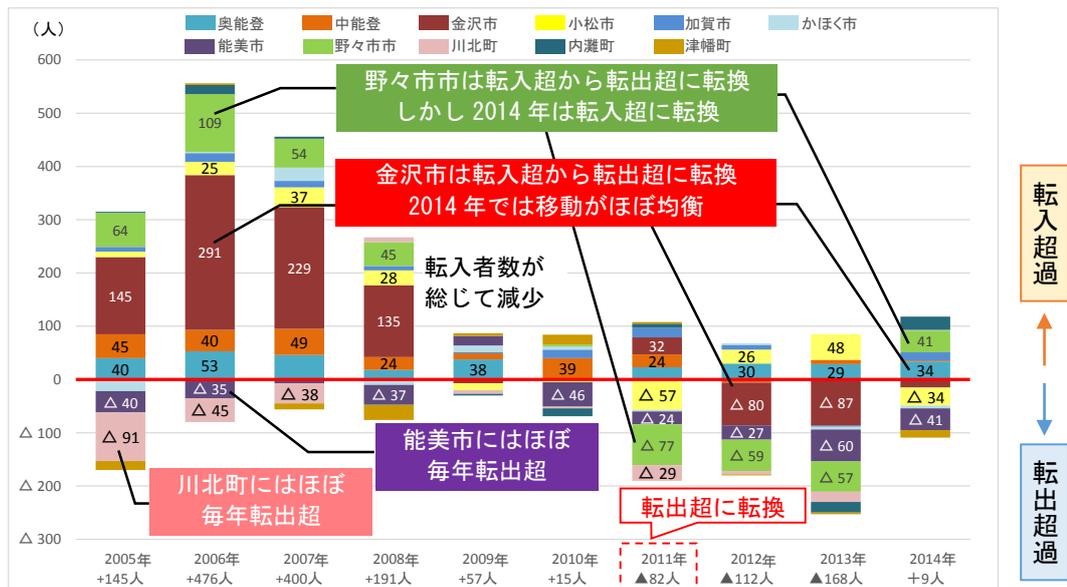


図 2-9 社会移動の主な内訳（県内移動）



出典：白山市「住民基本台帳」

※住民基本台帳法の一部改正により、2012年7月9日から外国人住民（法の条件を満たす日本国籍を有しないもの：上図の「国外」）を住民基本台帳に登録

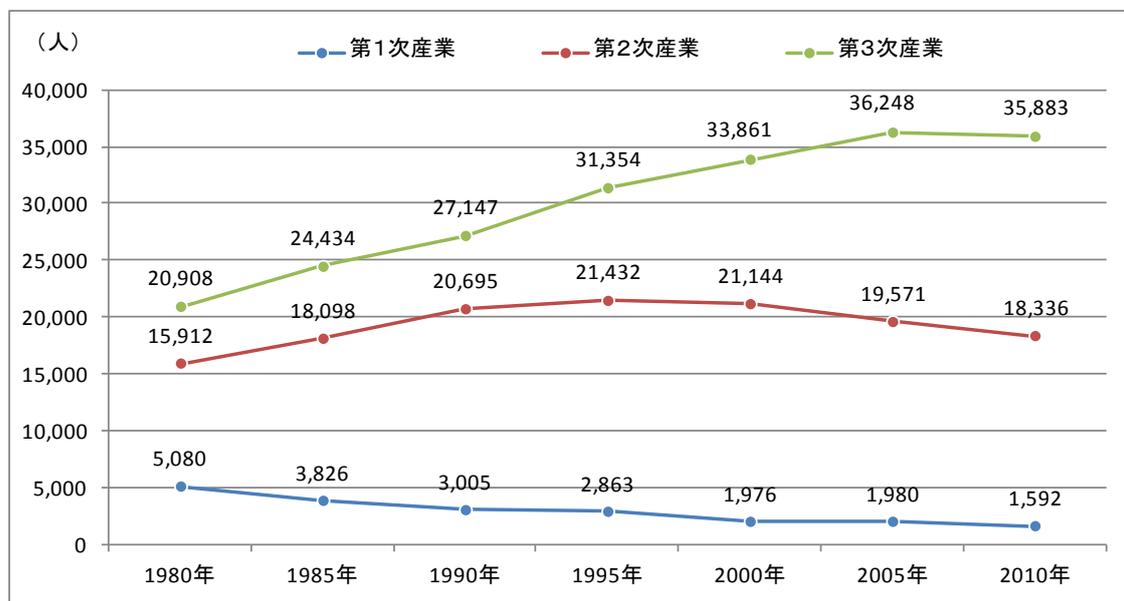
2) 産業別の人口動向

(1) 産業3区分別人口

○第1次産業は1980年（S55）から2010年（H22）にかけて69%減少したほか、第2次産業は1995年（H7）、第3次産業は2005年（H17）をピークとして、以降減少に転換している。

- ・1980年（S55）と2010年（H22）を比較すると、第1次産業は3,488人（69%）の減少、第2次産業は2,424人（15%）、第3次産業は14,975人（72%）の増加だが、第2次産業は1995年（H7）、第3次産業は2005年（H17）をピークとして、以降減少に転換

図 2-10 産業3区分別人口の推移



※分類不能の産業を除く

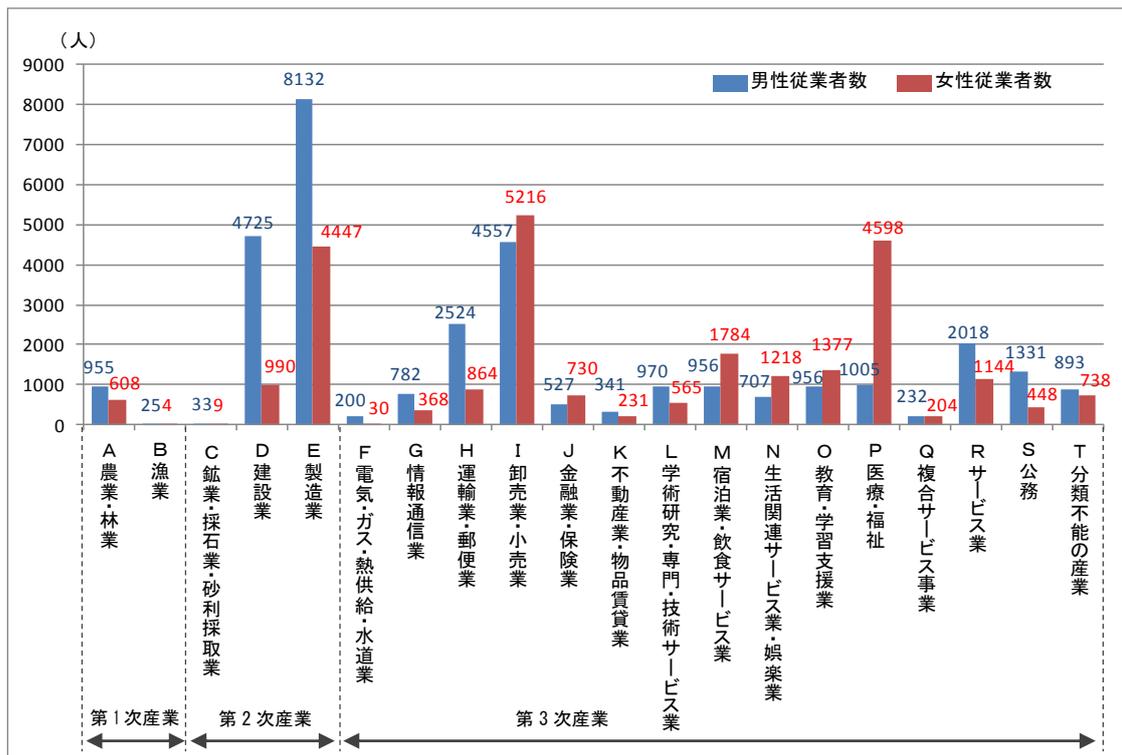
出典：総務省「国勢調査」

(2) 産業大分類別の従業者数

○従業者数は、男女ともに製造業、卸売業・小売業が多いほか、男性は建設業、女性は医療・福祉が多い。

- ・従業者数は、男性は製造業が全体の26%を占めるほか、建設業（15%）、卸売業・小売業（14%）が多く、女性は卸売業・小売業（20%）、医療・福祉（18%）、製造業（17%）が多い

図 2-11 男女別産業大分類別従業者数（2010年（H22））



出典：総務省「国勢調査」

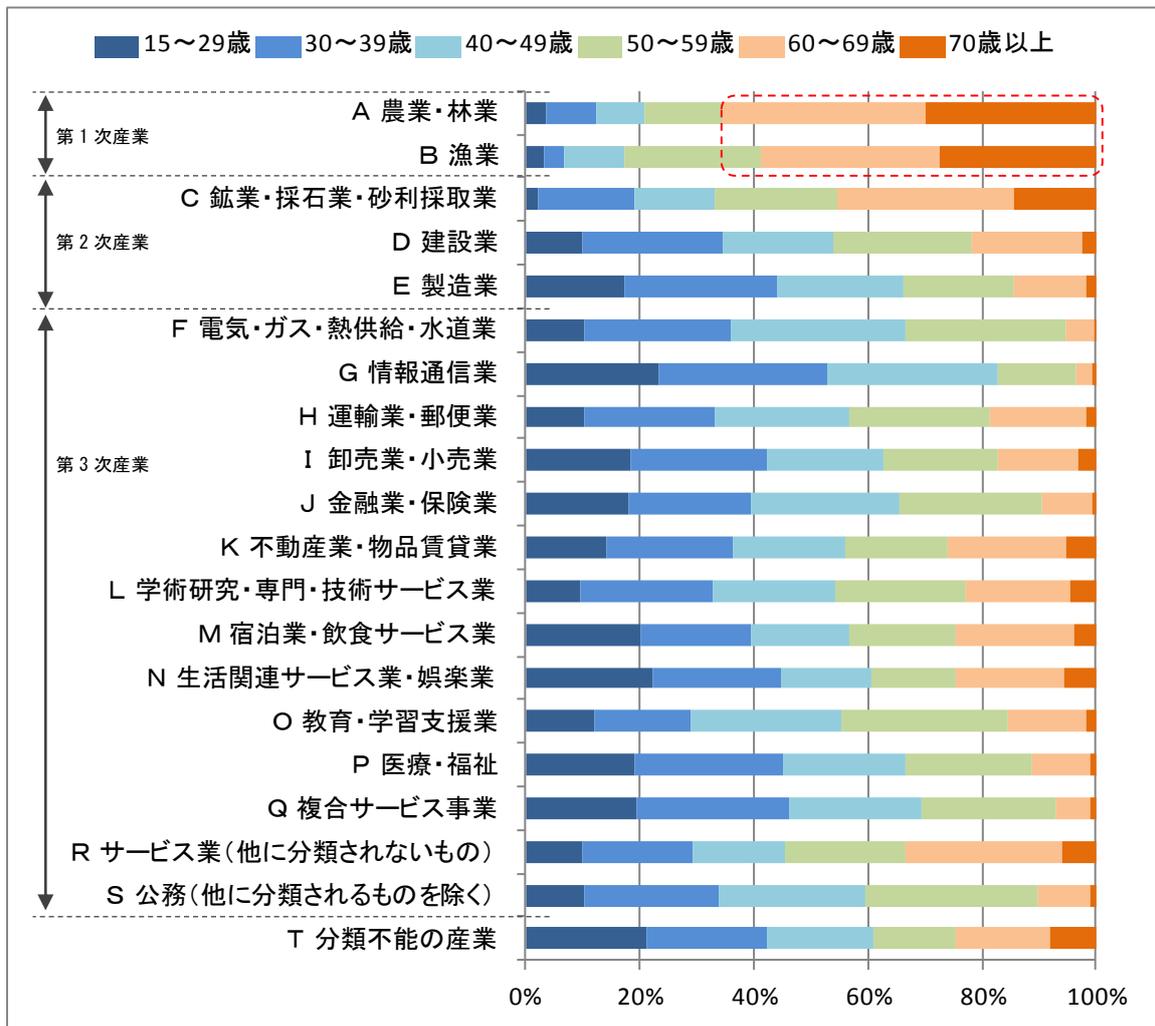
2-2. 産業別の人口動向

(3) 産業大分類別の年齢別従業者数

○従業者の多い製造業、卸売業・小売業は年齢構成のバランスがとれており幅広い年齢の雇用の受け皿となっているが、農林漁業は高齢層の割合が高い。

- ・従業者の多い製造業、卸売業・小売業は、60歳未満の各年齢階層の割合が概ね20%
- ・農林漁業は、60歳以上の割合が約60%を占めており、年齢構成が極端に高齢化

図 2-12 年齢別産業大分類別人口割合 (2010年 (H22))



出典：総務省「国勢調査」

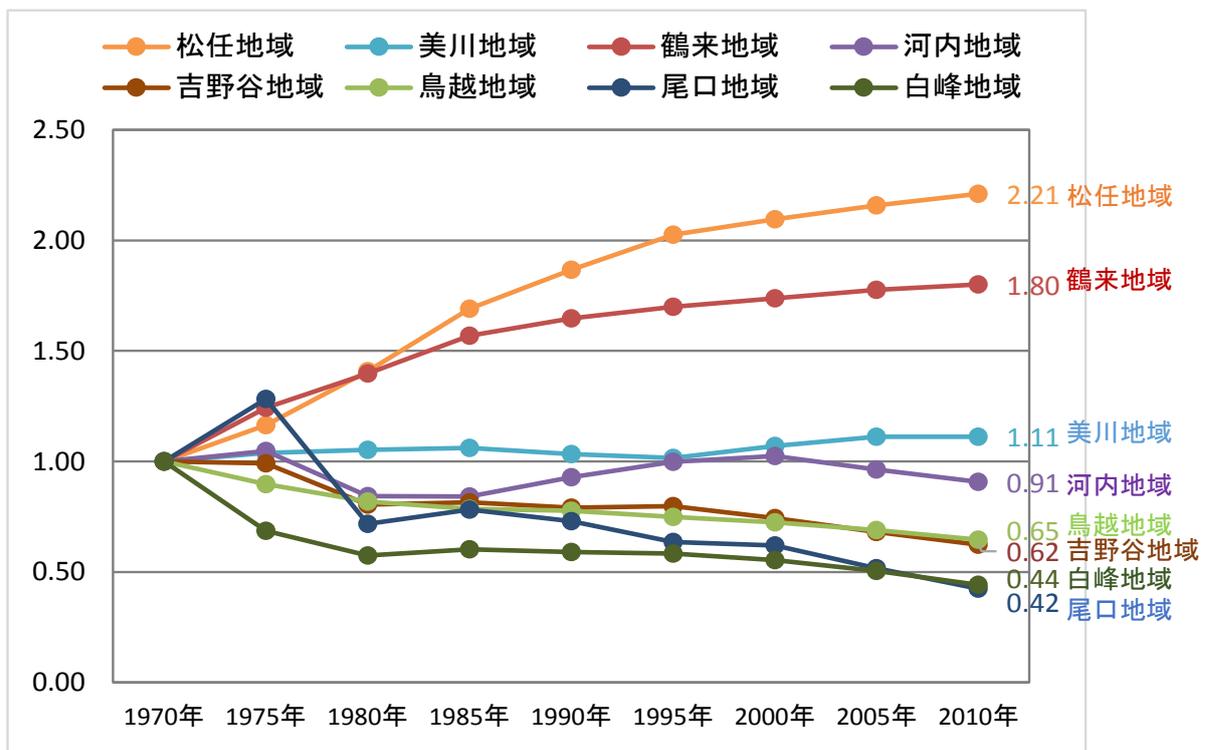
3) 地域別の人口動向

(1) 年齢別人口の推移

○これまでの人口の推移は、松任・鶴来地域は増加、美川・河内地域は横ばい、吉野谷・鳥越・尾口・白峰地域は減少している。

- ・松任・鶴来地域は一貫して増加しているものの、近年は増加が鈍化
- ・美川地域は多少の増減があるもののほぼ横ばい傾向
- ・河内地域は1990年（H2）から2000年（H12）まで増加傾向であったが、その後減少に転換
- ・吉野谷・鳥越・尾口・白峰地域は減少しているほか、老年人口割合も増加

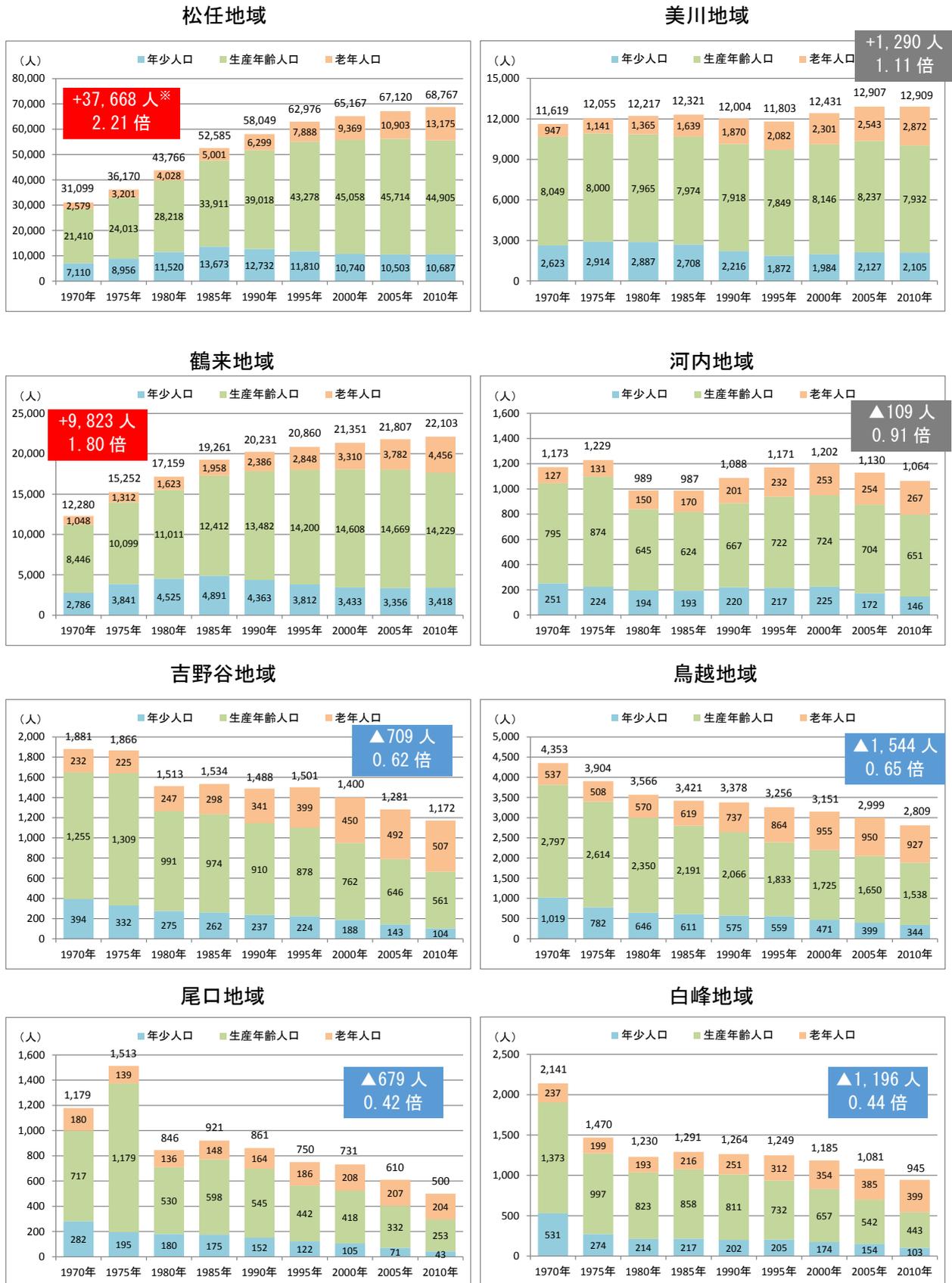
図 2-13 地域別の人口推移（1970=1.0 とした場合）



出典：総務省「国勢調査」

2-3. 地域別の人口動向

図 2-14 地域別の年齢 3 区分別人口



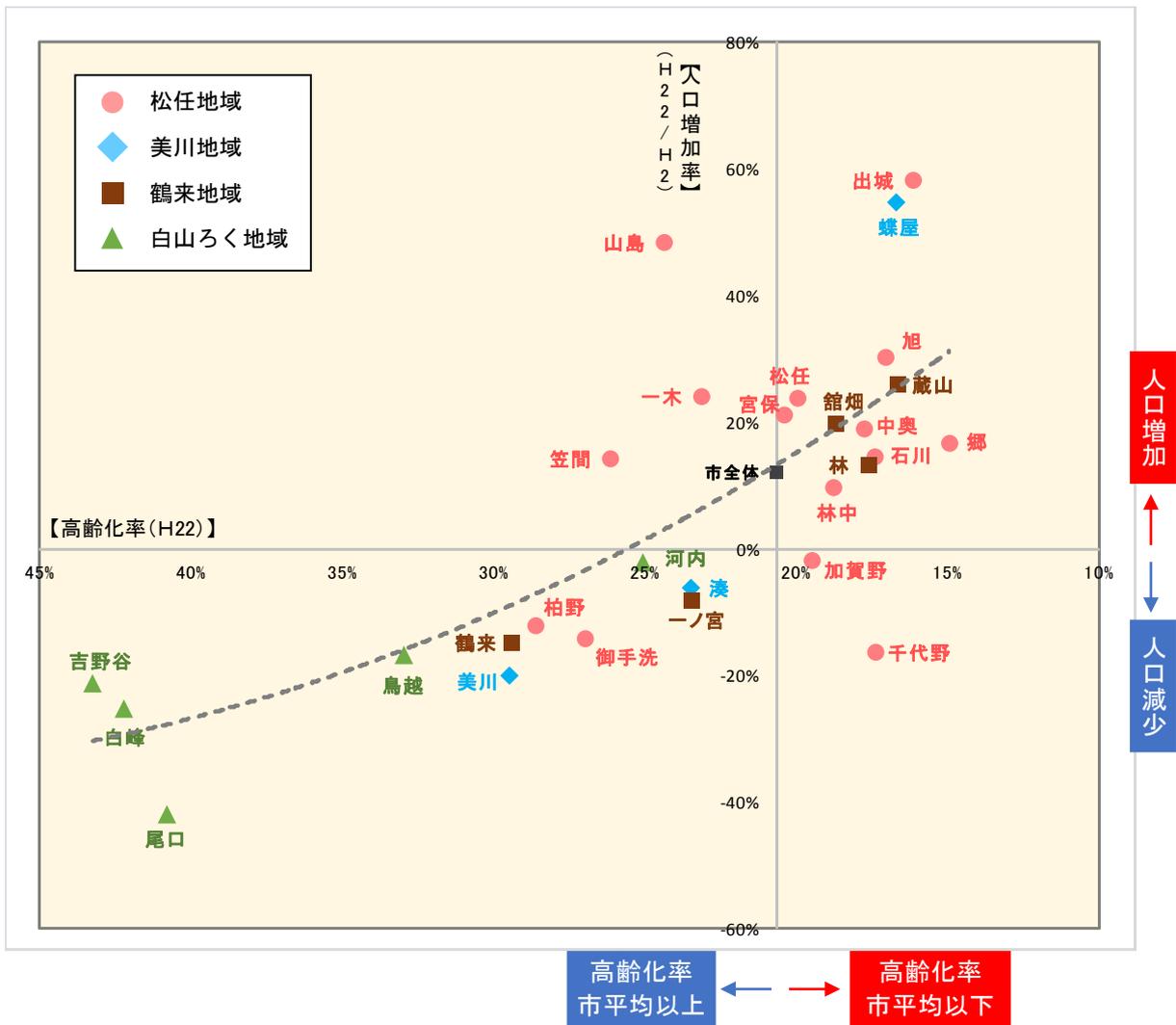
※1970年と2010年との比較（他地域も同様）

出典：総務省「国勢調査」

(2) 地区別の人口増加率・高齢化率の動向

- 地区別の人口の増加と高齢化の関係をみると、人口の増加が大きいほど高齢化率が低く、人口が減少するほど高齢化率が高くなる相関がみられる。
- 美川地域（美川・湊地区）、鶴来地域の中心部（鶴来・一ノ宮地区）や松任地域の一部（柏野、御手洗地区）では、人口が減少し、かつ高齢化率が市平均よりも高い。
- 白山ろく地域の各地区はいずれも人口減少かつ高齢化率が高く、特に吉野谷、尾口、白峰地区では高齢化率が40%を超えている。
- 新たに住宅地として整備した出城、蝶屋地区は大幅に人口が増加し、高齢化率も低いものの、整備後一定年数が経過した千代野地区では人口が減少しており、今後の高齢化の進行が懸念される。

図 2-15 地区別の人口増加率と高齢化率



4) 将来人口の推計と分析（社人研・内閣府手引より推計）

（1）人口推計の考え方

○将来の人口推計は、国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研）の推計を基本としたパターン、出生率が改善したパターン、人口移動が均衡したパターンの3つの手法から実施し、その効果を検証する。

①基本パターン（国立社会保障・人口問題研究所※（以下、社人研）準拠）

出生に関する仮定	原則として、2010年(H22)の全国の子ども女性比（15～49歳女性人口に対する0～4歳人口の比）と各市町村の子ども女性比との比をとり、その比が2015年(H27)以降2040年(H52)まで一定として市町村ごとに仮定
死亡に関する仮定	原則として、55～59歳→60～64歳以下では、全国と都道府県の2005年(H17)→2010年(H22)の生残率の比から算出される生残率を都道府県内市町村に対して一律に適用 60～64歳→65～69歳以上では、上述に加えて、都道府県と市町村の2000年(H12)→2005年(H17)の生残率の比から算出される生残率を市町村別に適用
移動に関する仮定	原則として、2005年(H17)～2010年(H22)の国勢調査（実績）に基づいて算出された純移動率が、2015年(H27)～2020年(H32)までに定率で0.5倍に縮小し、その後はその値を2035年(H47)～2040年(H52)まで一定と仮定

※人口や世帯の動向を捉えるとともに、内外の社会保障政策や制度について研究を行う厚生労働省に所属する国立の研究機関

②シミュレーション1（内閣府手引き：基本パターン＋出生率改善）

仮に、基本パターン（社人研推計準拠）に基づき、仮に合計特殊出生率が2030年(H42)には1.8（国民希望出生率）、2040年(H52)には2.07（人口置換水準：人口を長期的に一定に保てる水準）まで上昇した場合のシミュレーション。

③シミュレーション2（内閣府手引き：シミュレーション1＋人口移動均衡）

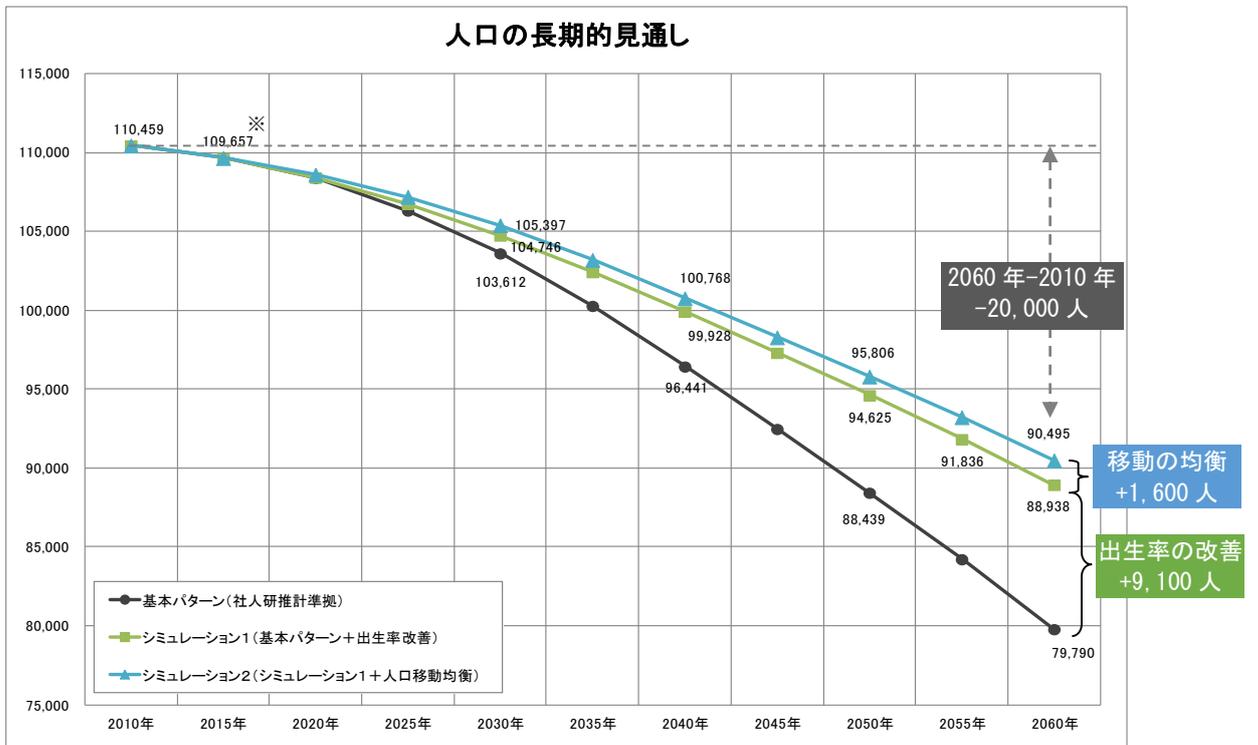
基本パターン（社人研推計準拠）に基づき、仮に、合計特殊出生率が人口置換水準（2.07）まで上昇（シミュレーション1と同様）し、かつ人口移動が均衡した場合（転入・転出数が同数となり、社会動態が均衡した場合）のシミュレーション。

(2) 将来人口の推計

○2060年（H72）の総人口は、現状のまま（基本パターン）では約79,800人となるが、出生率が改善した場合（シミュレーション1）は約88,900人、出生率が改善しかつ人口移動が均衡した場合は約90,500人（シミュレーション2）になると推計された。

- ・2060年（H72）の総人口を比較すると、基本パターンとシミュレーション1で約9,100人、シミュレーション1とシミュレーション2ではさらに約1,600人の人口増加
- ・なお、2060年（H72）の総人口が最も多いシミュレーション2においても90,495人（2010年比82%）であり、2010年（H22）よりも約20,000人減少

図 2-16 将来人口推計結果



※ 2015年の推計人口（国勢調査人口）については、住民基本台帳人口の減少傾向を踏まえ、補正を加えている。これに伴い、2020年以降の推計人口も影響を受けるため、社人研公表の推計人口とは異なる。

2-4. 将来人口の推計と分析

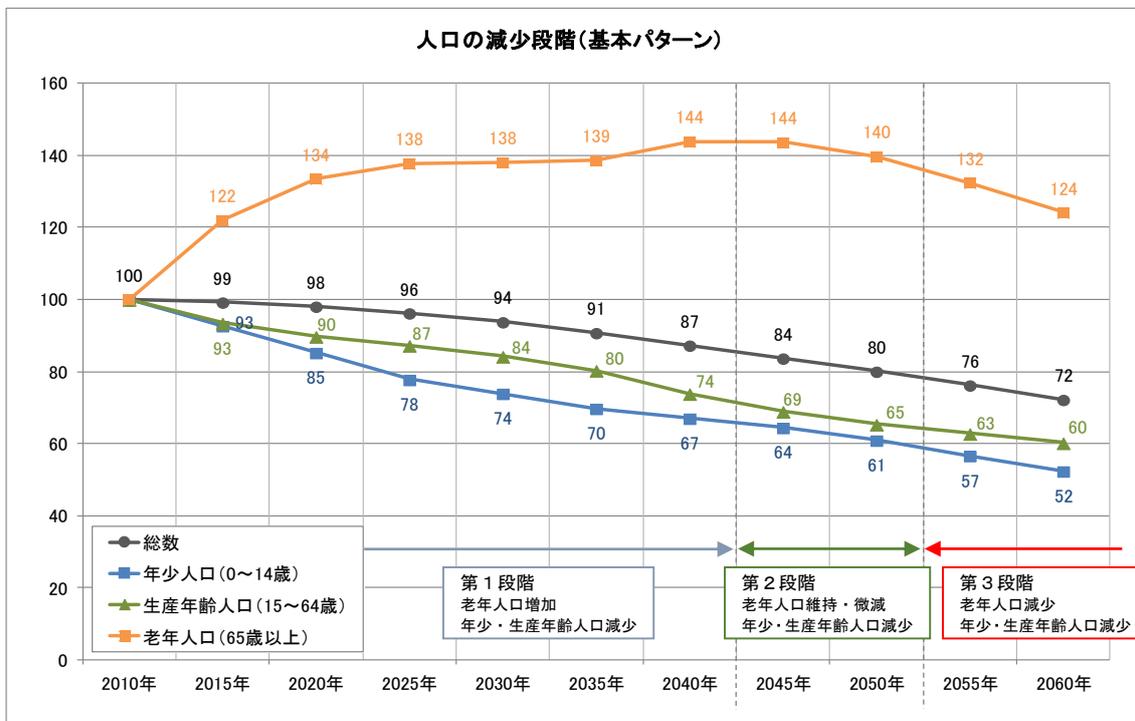
(3) 人口減少段階の分析

○基本パターンの推計結果によると、2040年（H52）まで第1段階^{*}、2050年（H62）まで第2段階^{*}であり、その後第3段階^{*}に移行すると想定される。

- ※第1段階：老年人口（65歳以上）の増加 年少人口・生産年齢人口の減少
- 第2段階：老年人口（65歳以上）の維持・微減 年少人口・生産年齢人口の減少
- 第3段階：老年人口（65歳以上）の減少 年少人口・生産年齢人口の減少

- ・基本パターンでは、白山市の人口減少段階は2040年（H52）までは老年人口が増加する「第1段階」が続くと想定される
- ・2050年（H62）以降は第3段階に移行し、本格的な人口減少に突入すると想定される

図 2-17 人口の減少段階（基本パターン（社人研準拠）、2010年=100とした場合）



(4) 地域別の将来人口

○基本パターンでは、松任・美川・鶴来・河内地域は 25～35%の減少、鳥越地域は約 40%の減少、吉野谷・白峰・尾口地域は約 60%の減少と推計された。

図 2-18 地域別の人口減少率（基本パターン（社人研推計準拠）2010年=100とした場合）

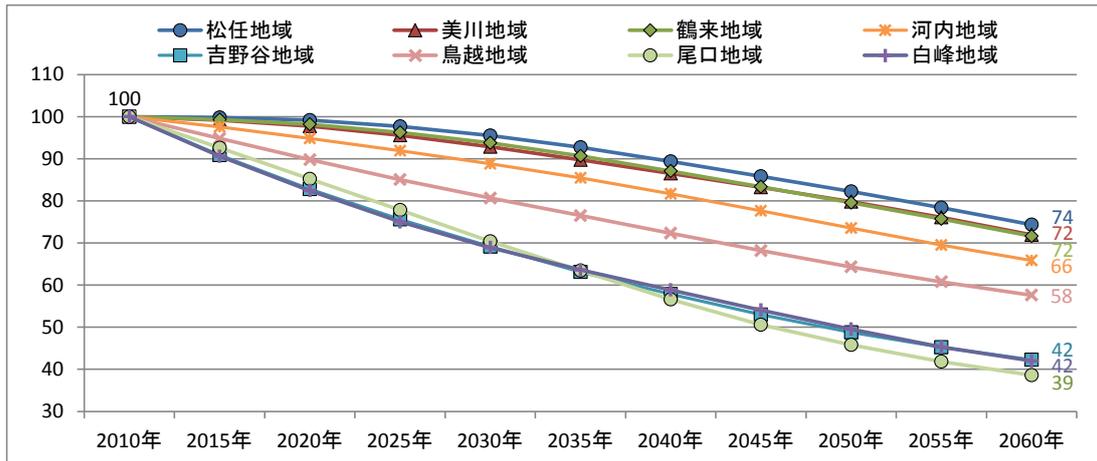
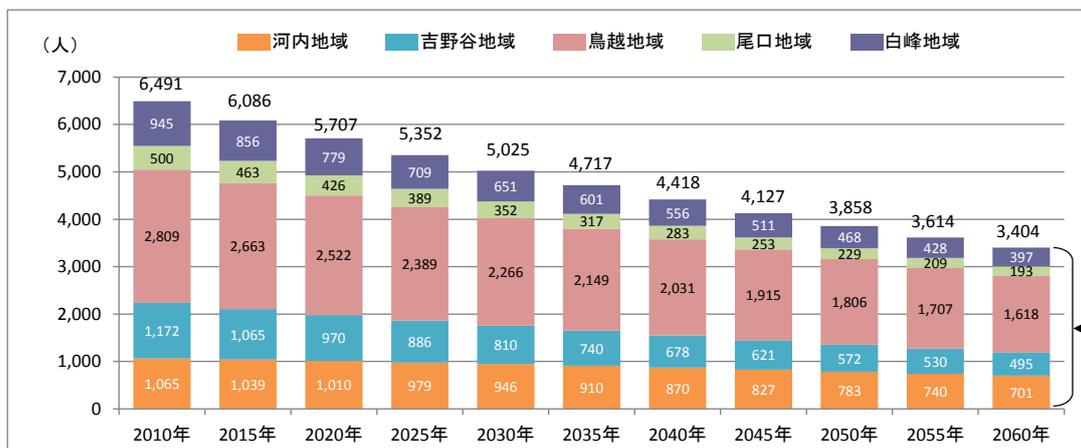


図 2-19 地域別の人口推計（基本パターン（社人研推計準拠）



図 2-20 白山ろく地域内の人口推計の内訳（基本パターン（社人研推計準拠）



5) 人口の変化が地域の将来に与える影響の分析・考察

(1) 人口の動向の整理

①市全体の人口の動向と将来予測

<総人口の推移と年齢構成>

○総人口は、1970年（S45）の6.6万人から急激に増加し、2010年（H22）には11.0万人となったが、2010年（H22）から2015年（H27）にかけて減少に転換している。

○年齢構成は、生産年齢人口は2005年（H17）、年少人口は1985年（S60）をピークとして減少に転じる一方、老年人口は一貫して増加（2010年で全体の21%）している。

<人口変化の現状と要因>

○人口動態は、これまでは自然動態、社会動態ともに増加していたが、2010年（H22）頃を境として自然減及び社会減に転換している。

自然動態の減少要因	<ul style="list-style-type: none"> ・出生数の低下及び死亡者数の増加（合計特殊出生率が低いまま推移）
社会動態の減少要因	<ul style="list-style-type: none"> ・東京圏へは一貫して転出超過 ・金沢市や野々市市などの県内移動が転入超過から転出超過に転換 ・大学進学等に伴い10歳代後半から20歳代前半は転出超過 ・就職・結婚等により20歳代後半や30歳代、10歳未満は転入超過

<産業別人口>

○産業別の従業者数は、男女ともに製造業、卸売業・小売業が多く、また年齢構成もバランスよく、広い年代の雇用の受け皿となっているが、農林漁業（第1次産業）は従業者数が減少し、かつ高年齢層の割合が高い。

<将来の人口予測>

○人口推計は、社人研の推計を基本としつつ、出生率が改善したパターン（国の人口ビジョンと同様の設定）、人口移動が均衡したパターンの3つの手法から実施した。

	2010年 (H22)	2060年 (H72)	2060年-2010年
①現状のまま推移した場合 (社人研推計準拠)	約110,500人	約79,800人	▲3.1万人 (▲28%)
②出生率が改善した場合		約88,900人	▲2.2万人 (▲20%)
③出生率が改善しかつ 人口移動が均衡した場合		約90,500人	▲2.0万人 (▲18%)

2-5. 人口の変化が地域の将来に与える影響の分析・考察

②地域別の人口の動向

＜地域別の人口＞

○地域別の人口推移では、松任・鶴来地域は増加、美川・河内地域は横ばい、吉野谷・鳥越・尾口・白峰地域は減少している。

＜将来の人口予測＞

○2010年（H22）から2060年（H72）にかけての人口減少の割合は、松任・美川・鶴来地域が約20～30%の減少、白山ろく地域は平均で約50%の減少（河内・鳥越地域が約30～40%の減少、吉野谷・白峰・尾口地域が50%以上の減少）と推計された。

	2010年（H22）	2060年（H72）	2060年-2010年
松任地域	68,928人	51,771人	▲17,157人（▲25%）
美川地域	12,918人	9,391人	▲3,527人（▲27%）
鶴来地域	22,122人	16,008人	▲6,114人（▲28%）
白山ろく地域	6,491人	3,438人	▲3,053人（▲47%）
河内地域	1,065人	708人	▲357人（▲34%）
吉野谷地域	1,172人	500人	▲672人（▲57%）
鳥越地域	2,809人	1,634人	▲1,175人（▲42%）
尾口地域	500人	195人	▲305人（▲61%）
白峰地域	945人	401人	▲544人（▲58%）

2-5. 人口の変化が地域の将来に与える影響の分析・考察

(2) 人口変化が将来に与える影響

現状のまま人口が推移した場合（社人研推計準拠）、本市においてどのような影響が生じる可能性があるか、次に整理する。

①安心・安全で文化的な暮らしへの影響

- 空き家の増加により、防災や防犯面のほか、景観、衛生上の問題が発生する恐れがある。
- スーパーマーケットや医療・福祉施設等が撤退し、車を自由に使えない高齢者などにとって日常生活に不便が生じ、さらなる人口の減少につながる恐れがある。
- 白山ろく地域を中心として、今後もさらなる人口減少と高齢化の進展が推測されており、コミュニティ機能の維持や、祭り・伝統芸能等の伝承が困難になる恐れがある。

②地域の産業や経済等における影響

- 生産年齢人口の減少により、これまでの産業集積や雇用環境の縮小による地域経済の規模縮小を招く恐れがあり、地域の活力低下が懸念される。
- 特に農林水産業において、高齢化の進展及び担い手不足が顕著であり、その結果耕作放棄地の増加や山林の荒廃などが進行し、本市の魅力である豊かな自然環境が損なわれる恐れがある。

③教育環境への影響

- 少子化による年少人口の減少により、小中学校の児童・生徒数が減少し、小規模校では授業科目や教員配置の制限により良好な教育環境の維持が困難となることが懸念される。その結果、より良い教育環境や通学環境を求めて転出者が増加する恐れがある。

④税収等の増減、社会保障等の財政需要などによる地方公共団体の財政への影響

- 老年人口の増加により、医療費や介護給付費等の社会保障費が増加し、財政の圧迫などにより住民負担及び行政負担の増加が懸念される。
- 生産年齢人口の減少により、住民税等の収入の減少が見込まれ、従来の行政サービスの維持が困難になる恐れがある。

⑤公共施設の維持管理・更新等への影響

- 人口減少に伴う税収の減少により、これまでに整備した公共施設や上下水道等のライフライン等の維持管理や補修等が困難になると見込まれる。

3. 白山市が目指す将来の姿と人口の将来展望

1) 市民などの意向

(1) 結婚・出産アンケート調査（20～39歳の市民を対象）

<結婚・出産・子育て>

- 未婚者の約7割は結婚を希望しているが、出会いの場がないことや十分な収入がないことなどが原因となり、その希望が実現していない。
- 将来的な理想の子どもの人数は平均で約2.4人であるが、現状では約1.8人と乖離が生じており、子育てや教育に関する経済的負担や、年齢・健康上の理由などが原因となり、その希望が実現していない。
- 女性の就業率は県内最高水準であるが、結婚や出産後に女性が仕事を継続しにくい状況にあり、企業において子育て費用の助成・手当や、家庭との両立を図るための勤務制度の導入が求められている。
- 約8割が白山市は子育てしやすい環境と評価しており、今後は結婚・出産・子育てにかかる経済的支援の充実や、保育所・学童保育などの預かりサービスの充実が求められている。

<仕事>

- 男性は9割以上、女性は約8割が就業しており、男性の約8割は正社員であるが、女性は約5割に留まり、非正規雇用の割合が高い。
- 女性の約1割は働く希望はあるものの、希望する時間や曜日、待遇で働けないことや、家の近くに働く場所が無いことなどが原因で、その希望が実現していない。

<定住>

- 約6割が白山市は住みやすいと評価し、親や親族との関係や、自然の豊かさ、通勤の利便性等の理由から、今後も定住する意向を持っている。
- 一方、約1割は市外への転出を考えており、交通や買い物・医療環境が十分でないことや、勤務地が遠いことなどが原因となっている。
- 人口の維持・増加に向けて、企業誘致による新たな雇用の創出や、空き家バンク等の住宅情報の提供体制の整備や移住者への住宅助成制度の充実などの取り組みを充実すべきとの意見が多い。

3-1. 市民などの意向

(2) 転入者・転出者アンケート調査（H25年4月以降に転入・転出した方を対象）

＜転入のきっかけと重視するポイント＞

- 転入のきっかけは、仕事の都合が最も多いほか、結婚、親や子ども・親族との同居・近居等を契機としている。
- 転入の際に重視した条件としては、20～30歳代は親や子ども・親族との家の近さ、40～50歳代は通勤の便利さ、60歳以上は住宅の価格・家賃をあげている。

＜転出のきっかけと重視するポイント＞

- 転出のきっかけは、仕事の都合が最も多いほか、結婚、親や子ども・親族との同居・近居等を契機としている。
- 転出の際に重視した条件としては、住宅の価格・家賃のほか、20～30歳代は通勤・通学の便利さ、60歳以上では高齢期の暮らしやすさをあげている。

＜白山市の満足度＞

- 転入者の約7割は満足と評価しており、その理由として自然環境、親や子どもの家の近さ、住宅価格・家賃をあげている一方、不満な点として交通の便、就労の場、医療環境があげられている。
- 転出者の約7割は満足と評価しており、その理由として自然環境や生活環境、治安の良さをあげている一方、不満な点として交通の便、就労の場、買い物の便があげられている。

2) 白山市が目指す将来の姿

これまでの人口の現状分析や市民等の意向に加え、国の長期ビジョンを踏まえ、白山市が目指す将来の姿を次に示す。

① 商工業の集積と農林水産資源を活かした「仕事・雇用」を目指す

大学進学等により、10代後半～20代前半の若い世代の転出が顕著であるが、就職を機にふるさと白山で豊かな生活を送りたい人々の希望を実現するために、安定した雇用の場の確保が必要である。

このため、本市の立地特性や資源を活かした戦略的な企業誘致を推進するとともに、食や伝統産業などを活かした地域内外での経済循環を生み出す仕組みを構築することで、市内での安定した雇用を創出する。

② 白山から日本海の豊かな自然と歴史・文化を活かした「観光・交流」を目指す

近年は、周辺の都市や大都市圏に転出超過の傾向となっていることから、その抑制を図るとともに、白山から日本海の豊かな自然や歴史・文化などを活かすことにより、本市で暮らしたい、訪れたいと希望する人材を積極的に招き入れ、新たな賑わいや活力を創出する必要がある。

このため、本市の魅力さをさらに磨き、積極的な情報発信や受け入れ態勢の強化などにより、市外からの移住や観光・交流人口の増加を図るとともに、市内での地域間の交流を促進することで、新しいひとの流れをつくりだす。

③ 安心して子どもを産み育てられる「子育て・教育」を目指す

本市の合計特殊出生率は1.44（2013年）であり、全国の1.43とほぼ同様であるものの、人口置換水準（2.07）を大きく下回る状況であり、市民の結婚や子育ての希望を実現するための総合的な取り組みが必要である。

このため、結婚・妊娠・出産・育児をしやすい環境整備に重点を置き、ワーク・ライフ・バランスの改善など、若い世代が仕事と子育ての両立を図ることができる労働環境の創出に向けた取り組みを進める。

3-2. 白山市が目指す将来の姿

④ 平野部と白山ろく地域の安全・安心な暮らしを守りつなぐ「都市・地域」を目指す

人口減少や少子高齢化により、集落コミュニティ機能や住民の生活に必要なサービス機能の低下等が予想され、平野部から白山ろくに広がる特色ある地域と地域の連携や、市民と行政の協働により、今後予測される人口減少や高齢化などの時代の変化に応じた地域づくりに取り組む必要がある。

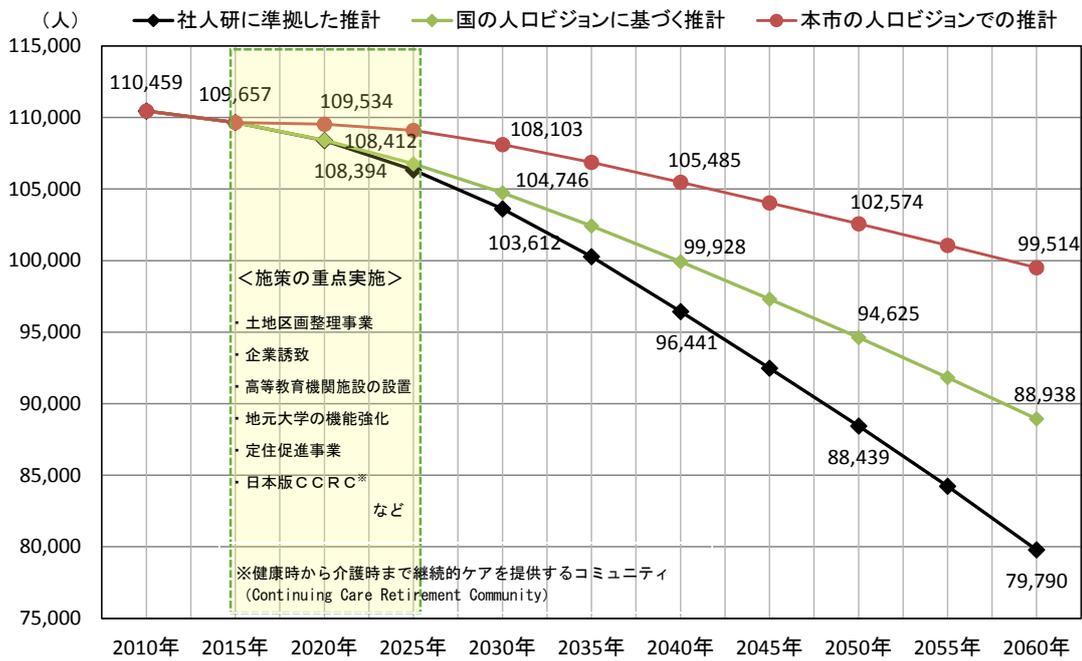
このため、地域間及び広域的なネットワークの強化により、市民がいきいきと暮らすことができる地域づくりとともに、豊かな自然と調和した生活環境の整備充実を進めることで、市民が地域に誇りを持ち、安全で、安心して暮らし続けることができる環境を創出する。

3) 人口の将来展望

(1) 市全体の人口

本市の人口の将来展望は、国全体の「出生率の向上」の取り組みや、「市外への転出抑制」「市外からの若年世帯を中心とした移住促進」を積極的に推進し、その効果を想定した推計を行った結果、2060年（H72）では99,514人となる。なお、白山市としては、10万人の確保を目指す。

【 図 3-1 白山市の人口の将来展望 】



【将来人口推計の仮定値】

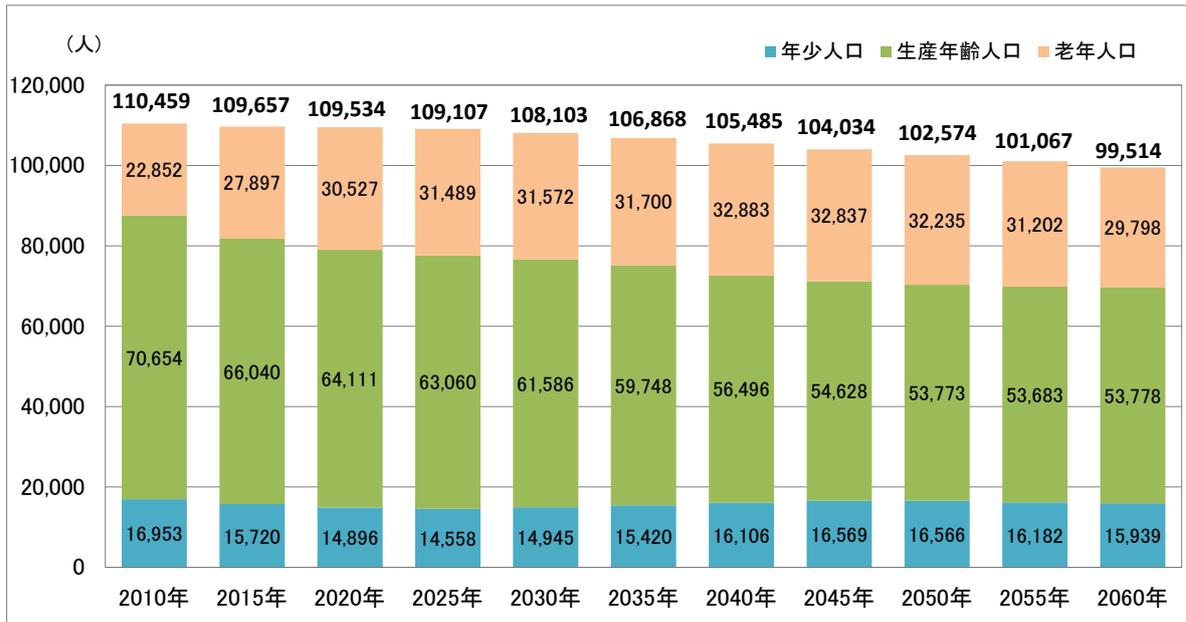
出生に関する 仮定	<ul style="list-style-type: none"> 合計特殊出生率が2030年(H42)に1.8^{※1}、2040年(H52)に2.07^{※2}に設定 ※1 国民希望出生率、※2 人口置換水準：人口を長期的に一定に保てる水準
死亡に関する 仮定	<ul style="list-style-type: none"> 社人研推計と同様^{※3}に設定 ※3 55～59歳→60～64歳以下では、全国と都道府県の2005年(H17)→2010年(H22)の生残率の比から算出される生残率を都道府県内市町村に対して一律に適用 60～64歳→65～69歳以上では、上述に加えて、都道府県と市町村の2000年(H12)→2005年(H17)の生残率の比から算出される生残率を市町村別に適用
移動に関する 仮定	<ul style="list-style-type: none"> 社人研推計を基本^{※4}としつつ、若年ファミリー世帯^{※5}の積極的な転出抑制及び転入促進施策により社会動態をプラス^{※6}に設定 ※4 2005年(H17)～2010年(H22)の国勢調査(実績)に基づいて算出された純移動率が、2015年(H27)～2020年(H32)までに定率で0.5倍に縮小し、その後はその値を2035年(H47)～2040年(H52)まで一定と仮定 ※5 30歳代の夫婦(2人)と10歳未満の子ども(1人)の3人世帯と仮定 ※6 2025年(H37)までは重点的に施策を推進し70世帯/年、210人/年の転入を見込み、その後は50世帯/年、150人/年の転入を見込む なお、重点的な施策とは土地区画整理事業(曾谷町、北安田南部など)、企業誘致(JDI、山島工業団地など)、高等教育機関施設の設置、地元大学の機能強化、各種定住促進事業、日本版CCRCなどを想定

3-3. 人口の将来展望

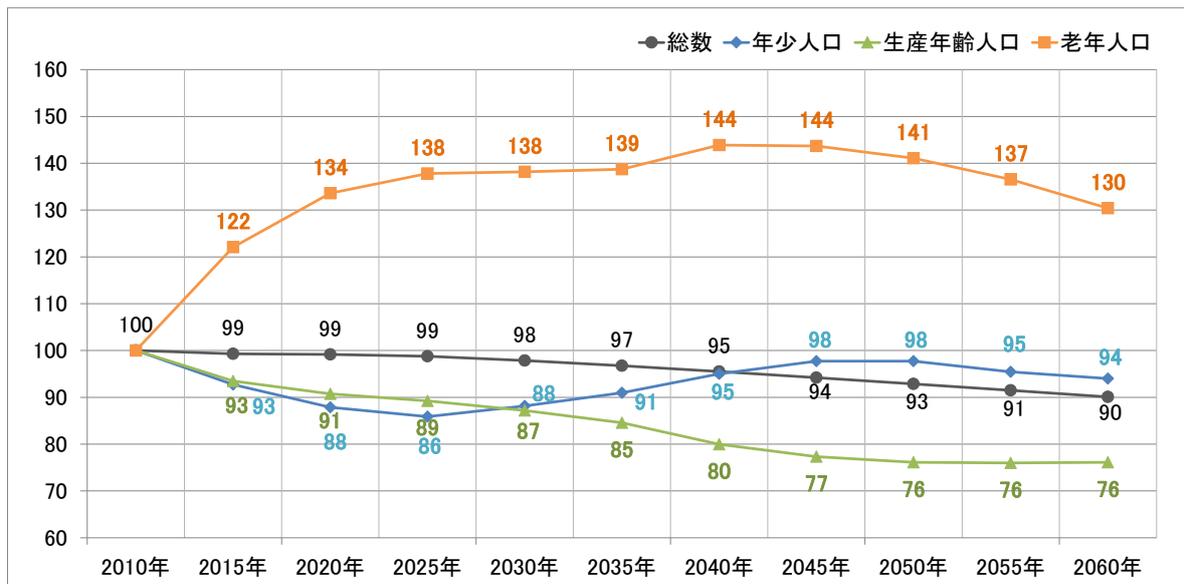
(2) 年齢別の人口構成

年齢構成は、出生率の改善及び転出抑制と転入促進により、年少人口（0-14歳）が2025年（H37）年ころから徐々に増加するとともに、2045年（H57）頃から生産年齢人口（15-64歳）も下げ止まり、人口構成が安定する。

【 図 3-2 年齢 3 区分別人口の推移 】



【 図 3-3 年齢 3 区分別人口の推移 2010年=100 とした場合 】



【 図 3-4 人口の推移と推計人口 】

	2010年 H22	2015年 H27	2020年 H32	2025年 H37	2030年 H42	2035年 H47	2040年 H52	2045年 H57	2050年 H62	2055年 H67	2060年 H72
合計	110,459	109,657	109,534	109,107	108,103	106,868	105,485	104,034	102,574	101,067	99,514
0～4歳	5,237	4,489	4,688	4,804	4,919	5,210	5,484	5,371	5,203	5,106	5,134
5～9歳	5,781	5,435	4,773	4,977	5,045	5,162	5,456	5,737	5,621	5,450	5,350
10～14歳	5,935	5,797	5,435	4,778	4,981	5,049	5,166	5,461	5,742	5,626	5,454
15～19歳	5,342	5,634	5,582	5,235	4,599	4,796	4,860	4,972	5,256	5,527	5,415
20～24歳	4,994	4,788	5,267	5,223	4,896	4,297	4,479	4,539	4,644	4,909	5,161
25～29歳	6,007	5,173	4,961	5,448	5,401	5,065	4,445	4,632	4,694	4,803	5,077
30～34歳	7,280	6,206	5,664	5,454	5,838	5,781	5,437	4,802	4,994	5,058	5,169
35～39歳	8,819	7,468	6,665	6,127	5,811	6,186	6,122	5,772	5,127	5,322	5,387
40～44歳	7,243	8,835	7,460	6,666	6,130	5,814	6,183	6,119	5,770	5,125	5,320
45～49歳	6,533	7,134	8,716	7,362	6,580	6,052	5,741	6,106	6,043	5,698	5,061
50～54歳	6,840	6,397	7,001	8,556	7,230	6,465	5,947	5,641	6,000	5,938	5,600
55～59歳	7,925	6,699	6,272	6,869	8,396	7,098	6,350	5,841	5,541	5,893	5,832
60～64歳	9,671	7,705	6,522	6,119	6,705	8,195	6,933	6,203	5,704	5,411	5,755
65～69歳	6,917	9,282	7,409	6,286	5,908	6,479	7,921	6,701	5,996	5,512	5,228
70～74歳	4,931	6,484	8,753	6,998	5,956	5,610	6,160	7,529	6,369	5,700	5,238
75～79歳	4,368	4,427	5,865	7,978	6,393	5,468	5,169	5,671	6,929	5,861	5,246
80～84歳	3,357	3,641	3,733	4,971	6,846	5,507	4,752	4,492	4,920	6,006	5,081
85～89歳	2,015	2,432	2,694	2,798	3,754	5,271	4,265	3,686	3,485	3,806	4,641
90歳以上	1,264	1,629	2,073	2,458	2,715	3,364	4,616	4,758	4,537	4,316	4,364
総人口指数 [※]	1.00	0.99	0.99	0.99	0.98	0.97	0.95	0.94	0.93	0.91	0.90
年少人口	16,953	15,720	14,896	14,558	14,945	15,421	16,107	16,569	16,566	16,181	15,938
生産年齢人口	70,654	66,040	64,111	63,060	61,586	59,748	56,496	54,628	53,773	53,683	53,778
老年人口	22,852	27,897	30,527	31,489	31,572	31,700	32,883	32,837	32,235	31,202	29,798
75歳以上人口	11,004	12,131	14,365	18,205	19,708	19,611	18,802	18,607	19,870	19,990	19,332
年少人口割合	15.3%	14.4%	13.6%	13.3%	13.8%	14.4%	15.3%	15.9%	16.2%	16.0%	16.0%
生産年齢人口割合	64.0%	60.2%	58.5%	57.8%	57.0%	55.9%	53.5%	52.5%	52.4%	53.1%	54.0%
老年人口割合	20.7%	25.4%	27.9%	28.9%	29.2%	29.7%	31.2%	31.6%	31.4%	30.9%	30.0%
75歳以上人口割合	10.0%	11.1%	13.1%	16.7%	18.2%	18.4%	17.8%	17.9%	19.4%	19.8%	19.4%

※H22=1.00をした値

参考. アンケート調査結果

1) アンケート調査の概要

(1) 調査概要

- ・調査目的 人口減少と地域経済縮小の克服に向け、これからの白山市のまち・ひと・しごとづくりに対する意見等を把握し、白山市人口ビジョン・総合戦略策定の基礎的資料とすることを目的として実施しました。
- ・調査対象
 - ①結婚・出産アンケート：白山市在住の20～39歳の方々から無作為抽出した2,000名
 - ②転入者アンケート：平成25年4月～平成27年3月の間に白山市に転入された20歳以上の方々から無作為抽出した1,000名
 - ③転出者アンケート：平成25年4月～平成27年3月の間に白山市から転出された20歳以上の方々から無作為抽出した1,000名
- ・調査方法：郵送による配布・回収（①～③同様）
- ・調査期間：平成27年5月27日～6月8日まで（6月19日回収分まで集計）

(2) 配布・回収状況

	配布数	回収数	回収率
①結婚・出産アンケート	2,000 通	539 通	27.0%
②転入者アンケート	1,000 通	337 通	33.7%
③転出者アンケート	1,000 通	307 通	30.7%
合 計	4,000 通	1,183 通	29.6%

(3) その他

- ・各設問の集計は、無回答を除いた合計を母数（100.0%）として各選択項目の回答数の割合を示しています。
- ・パーセンテージについては、小数点第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100.0%に一致しません。
- ・複数回答の設問は、回答者数を母数（100.0%）としているため、選択項目の回答数の割合は、合計すると100.0%を超えます。
- ・「n」は該当者数で、クロス集計によっては、グラフ中の1.0%未満、5.0%未満の数値の表記を省略しています。

2) 調査結果の概要

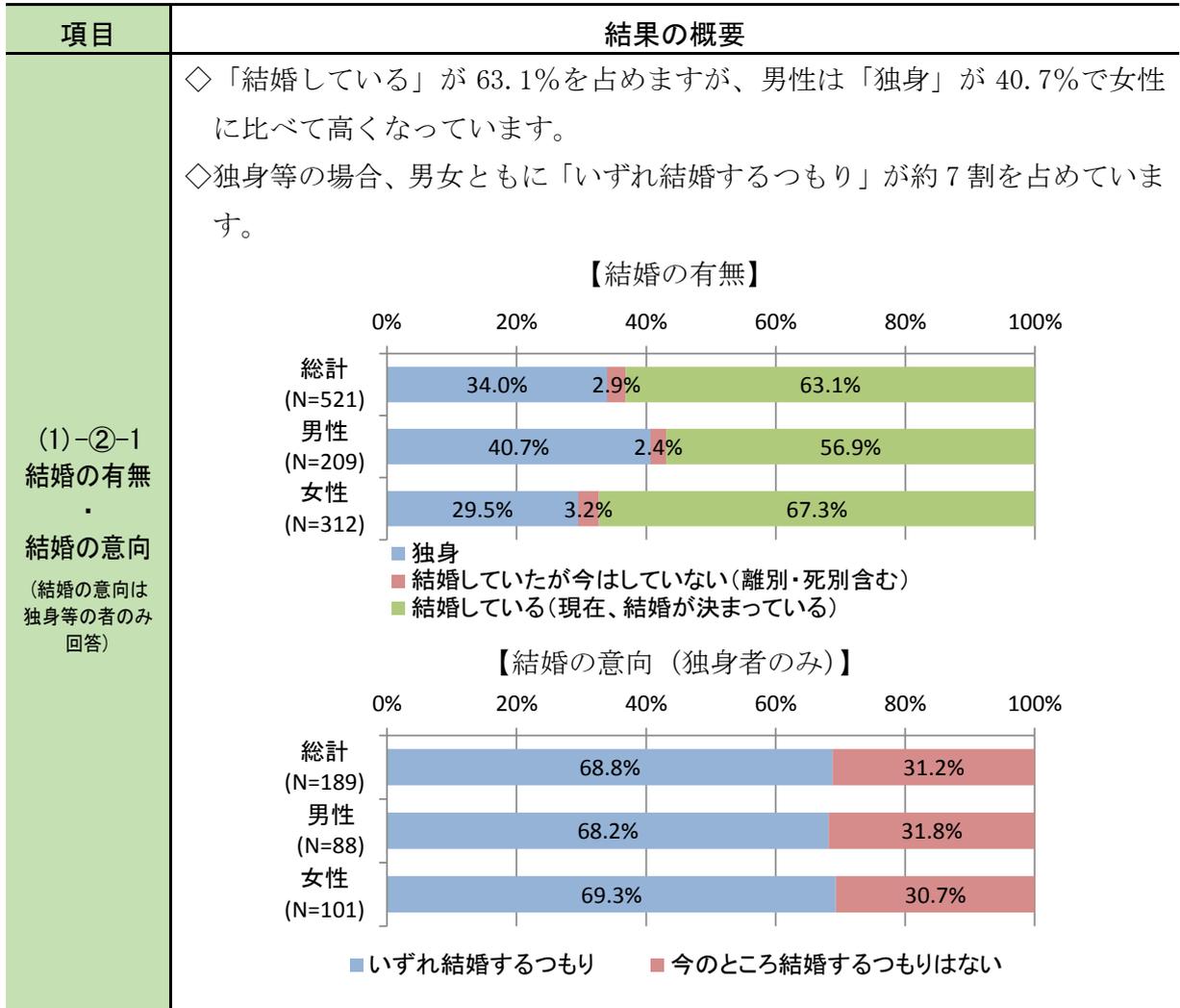
(1) 結婚・出産アンケート調査

①回答者自身のことについて

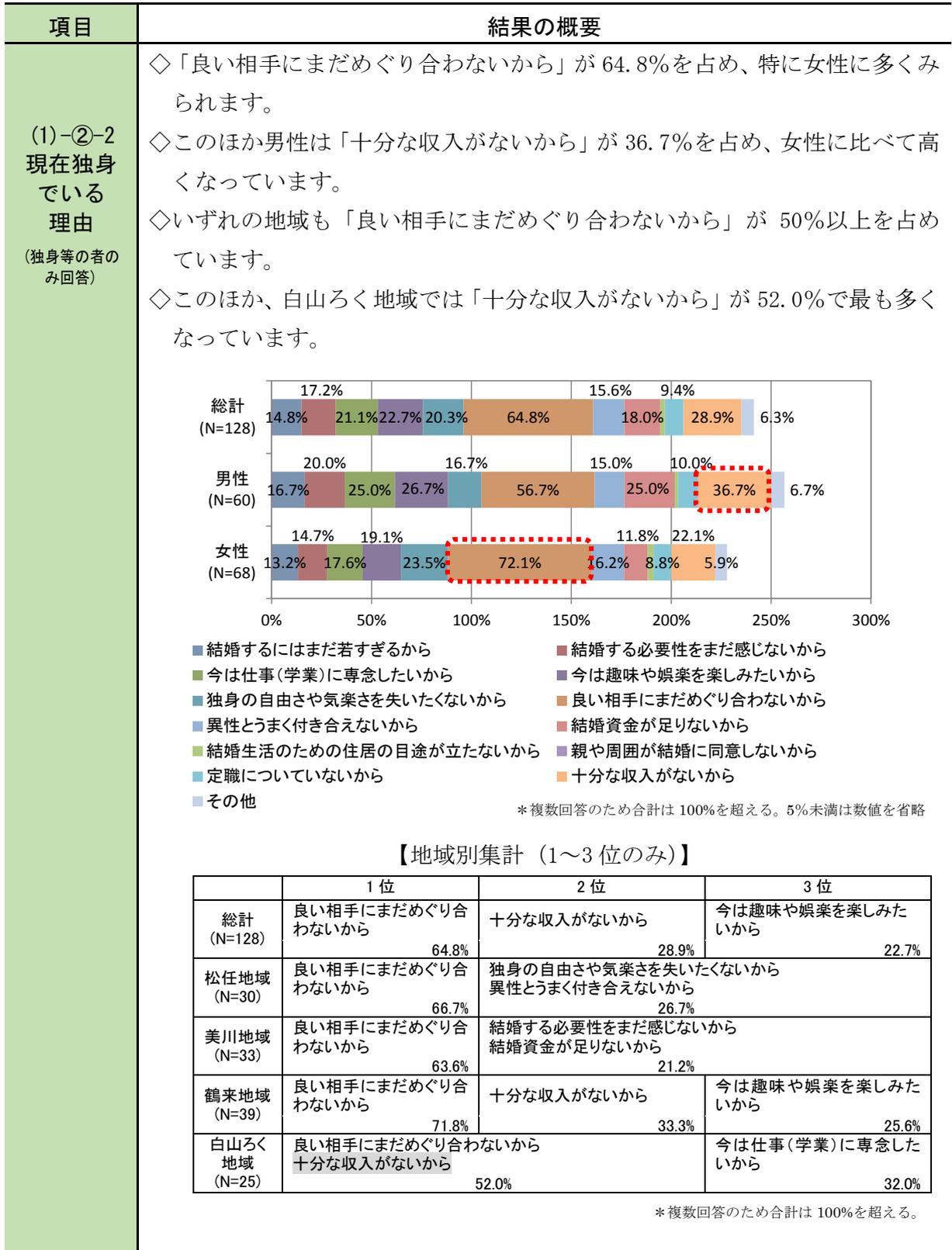
項目	結果の概要
(1)-①-1 性別 ・ 年齢 ・ 職業	<p>◇男女比は2：3となっています。</p> <p>◇「20歳代」が35.7%、「30歳代」が64.3%となっています。</p> <p>◇「会社員・会社役員」が49.8%、「パート・アルバイト」が18.2%、「公務員・団体職員」が10.2%となっています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="406 795 694 1176"> <p>【性別】</p> <p>(N=523)</p> </div> <div data-bbox="734 795 1021 1176"> <p>【年齢構成】</p> <p>(N=523)</p> </div> <div data-bbox="1061 795 1420 1176"> <p>【職業】</p> <p>(N=522)</p> </div> </div>
(1)-①-2 世帯構成 ・ お住まいの地域	<p>◇「2世代世帯」が62.8%、「3世代世帯」が19.0%、「自分と配偶者のみ」が11.7%で、「一人暮らし」は4.2%となっています。</p> <p>◇「美川地域」が28.2%、「鶴来地域」が28.0%、「松任地域」が26.6%で、白山ろく地域は合わせて17.3%となっています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="486 1467 853 1859"> <p>【世帯構成】</p> <p>(N=521)</p> </div> <div data-bbox="893 1467 1364 1859"> <p>【お住まいの地域】</p> <p>(N=522)</p> </div> </div>

参考: アンケート調査結果 (結婚・出産アンケート)

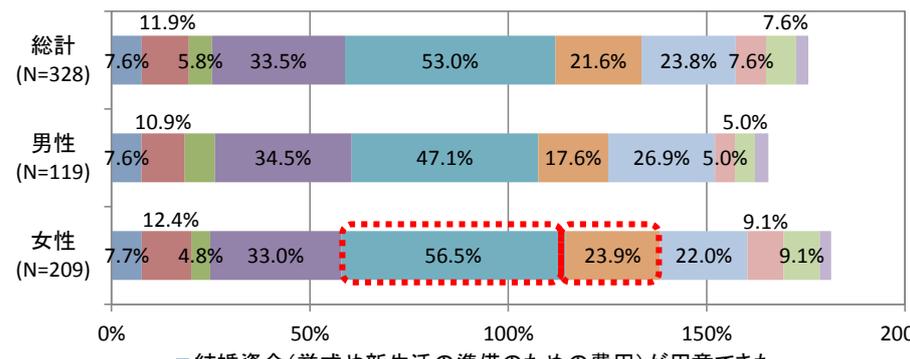
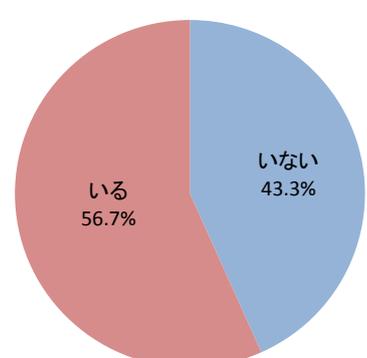
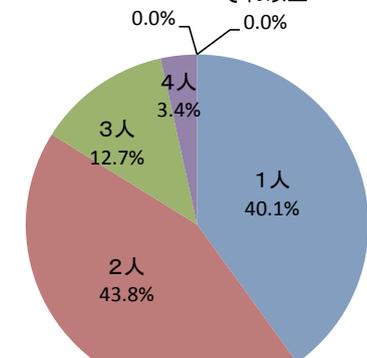
②結婚・出産・子育てについて



参考. アンケート調査結果（結婚・出産アンケート）



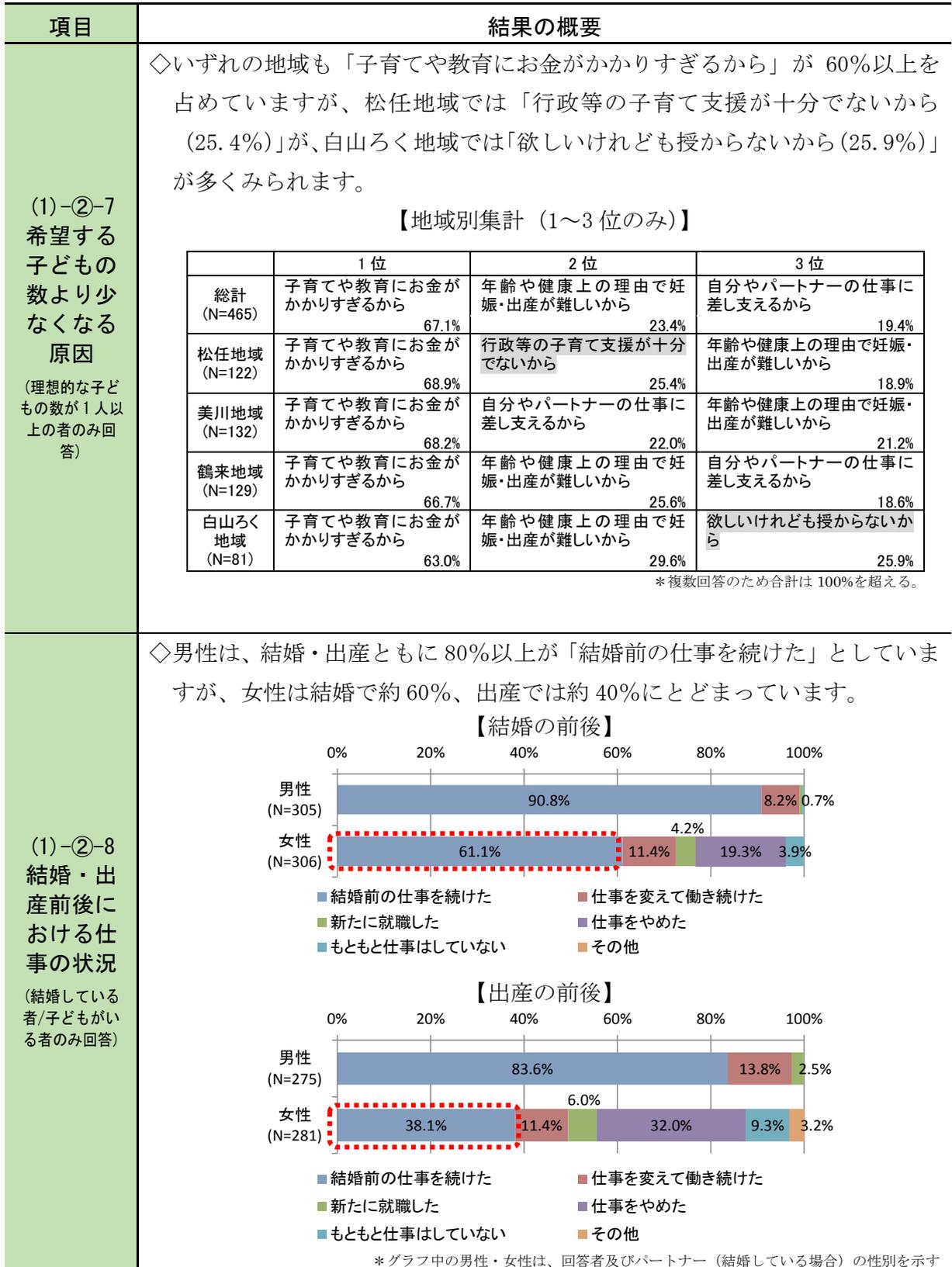
参考. アンケート調査結果 (結婚・出産アンケート)

項目	結果の概要																																									
<p>(1)-②-3 結婚を決めたきっかけ (結婚している者のみ回答)</p>	<p>◇「年齢的に妥当な時期だと感じた」が 53.0%を占め、特に女性に多くみられます。</p> <p>◇このほか女性は「できるだけ早く子どもが欲しかった」が 23.9%を占め、男性に比べて高くなっています。</p>  <table border="1" data-bbox="446 604 1356 963"> <caption>結婚を決めたきっかけ (結婚している者のみ回答)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>結婚資金(挙式や新生活の準備のための費用)が用意できた</th> <th>収入や住居など結婚生活のための経済的基盤ができた</th> <th>自分または相手の仕事の事情</th> <th>できるだけ早く一緒に暮らしたかった</th> <th>年齢的に妥当な時期だと感じた</th> <th>できるだけ早く子どもが欲しかった</th> <th>子どもができた</th> <th>友人や同年代の人たちの結婚</th> <th>親や周囲のすすめ</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総計 (N=328)</td> <td>7.6%</td> <td>5.8%</td> <td>33.5%</td> <td>53.0%</td> <td>21.6%</td> <td>23.8%</td> <td>7.6%</td> <td>7.6%</td> <td>11.9%</td> </tr> <tr> <td>男性 (N=119)</td> <td>7.6%</td> <td>10.9%</td> <td>34.5%</td> <td>47.1%</td> <td>17.6%</td> <td>26.9%</td> <td>5.0%</td> <td>5.0%</td> <td>7.6%</td> </tr> <tr> <td>女性 (N=209)</td> <td>7.7%</td> <td>12.4%</td> <td>4.8%</td> <td>33.0%</td> <td>56.5%</td> <td>23.9%</td> <td>22.0%</td> <td>9.1%</td> <td>9.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 結婚資金(挙式や新生活の準備のための費用)が用意できた ■ 収入や住居など結婚生活のための経済的基盤ができた ■ 自分または相手の仕事の事情 ■ できるだけ早く一緒に暮らしたかった ■ 年齢的に妥当な時期だと感じた ■ できるだけ早く子どもが欲しかった ■ 子どもができた ■ 友人や同年代の人たちの結婚 ■ 親や周囲のすすめ ■ その他</p> <p>*複数回答のため合計は100%を超える。5%未満は数値を省略</p>	項目	結婚資金(挙式や新生活の準備のための費用)が用意できた	収入や住居など結婚生活のための経済的基盤ができた	自分または相手の仕事の事情	できるだけ早く一緒に暮らしたかった	年齢的に妥当な時期だと感じた	できるだけ早く子どもが欲しかった	子どもができた	友人や同年代の人たちの結婚	親や周囲のすすめ	その他	総計 (N=328)	7.6%	5.8%	33.5%	53.0%	21.6%	23.8%	7.6%	7.6%	11.9%	男性 (N=119)	7.6%	10.9%	34.5%	47.1%	17.6%	26.9%	5.0%	5.0%	7.6%	女性 (N=209)	7.7%	12.4%	4.8%	33.0%	56.5%	23.9%	22.0%	9.1%	9.1%
項目	結婚資金(挙式や新生活の準備のための費用)が用意できた	収入や住居など結婚生活のための経済的基盤ができた	自分または相手の仕事の事情	できるだけ早く一緒に暮らしたかった	年齢的に妥当な時期だと感じた	できるだけ早く子どもが欲しかった	子どもができた	友人や同年代の人たちの結婚	親や周囲のすすめ	その他																																
総計 (N=328)	7.6%	5.8%	33.5%	53.0%	21.6%	23.8%	7.6%	7.6%	11.9%																																	
男性 (N=119)	7.6%	10.9%	34.5%	47.1%	17.6%	26.9%	5.0%	5.0%	7.6%																																	
女性 (N=209)	7.7%	12.4%	4.8%	33.0%	56.5%	23.9%	22.0%	9.1%	9.1%																																	
<p>(1)-②-4 子どもの有無 ・ 現在の子ども数 (子どもの数は子どもがいる者のみ回答)</p>	<p>◇子どもについては「いる」が 56.7%を占めています。</p> <p>◇子どもの数は「2人」が 43.8%、「1人」が 40.1%、「3人」が 12.7%で、1.8人/世帯となっています (平均 1.8人)。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="526 1433 893 1926"> <p>【子どもの有無】</p>  <p>(N=508)</p> </div> <div data-bbox="925 1433 1292 1926"> <p>【子どもの数】</p>  <p>(N=292)</p> </div> </div>																																									

参考. アンケート調査結果 (結婚・出産アンケート)

項目	結果の概要																																																								
<p>(1)-②-5 理想的な 子どもの 数</p>	<p>◇理想的な子どもの数としては、「2人」が47.0%、「3人」が38.6%、「子どもはほらない」が4.9%となっています (平均2.36人)。</p> <p>◇結婚しているもしくは将来的に結婚意向がある人の理想的な子どもの数は平均で2.49人となっています。</p> <p>◇子どもの数が2人未満の場合、理想的な子どもの数と乖離がみられます。</p> <table border="1"> <caption>理想的な子どもの数 (理想 vs 現在)</caption> <thead> <tr> <th>現在の子どもの数</th> <th>子どもはほらない</th> <th>1人</th> <th>2人</th> <th>3人</th> <th>4人</th> <th>5人</th> <th>それ以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総数 (N=513)</td> <td>4.9%</td> <td>4.5%</td> <td>47.0%</td> <td>38.6%</td> <td>4.1%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>1人 (N=116)</td> <td>5.2%</td> <td>0%</td> <td>52.6%</td> <td>39.7%</td> <td>2.6%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>2人 (N=128)</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>43.0%</td> <td>53.1%</td> <td>2.3%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>3人 (N=37)</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>8.1%</td> <td>73.0%</td> <td>16.2%</td> <td>2.7%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>4人 (N=10)</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>10.0%</td> <td>70.0%</td> <td>10.0%</td> <td>10.0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>いない (N=217)</td> <td>10.6%</td> <td>6.9%</td> <td>54.8%</td> <td>25.3%</td> <td>1.4%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 子どもはほらない ■ 1人 ■ 2人 ■ 3人 ■ 4人 ■ 5人 ■ それ以上 *1%未満は数値を省略</p>	現在の子どもの数	子どもはほらない	1人	2人	3人	4人	5人	それ以上	総数 (N=513)	4.9%	4.5%	47.0%	38.6%	4.1%	0%	0%	1人 (N=116)	5.2%	0%	52.6%	39.7%	2.6%	0%	0%	2人 (N=128)	0%	0%	43.0%	53.1%	2.3%	0%	0%	3人 (N=37)	0%	0%	8.1%	73.0%	16.2%	2.7%	0%	4人 (N=10)	0%	0%	10.0%	70.0%	10.0%	10.0%	0%	いない (N=217)	10.6%	6.9%	54.8%	25.3%	1.4%	0%	0%
現在の子どもの数	子どもはほらない	1人	2人	3人	4人	5人	それ以上																																																		
総数 (N=513)	4.9%	4.5%	47.0%	38.6%	4.1%	0%	0%																																																		
1人 (N=116)	5.2%	0%	52.6%	39.7%	2.6%	0%	0%																																																		
2人 (N=128)	0%	0%	43.0%	53.1%	2.3%	0%	0%																																																		
3人 (N=37)	0%	0%	8.1%	73.0%	16.2%	2.7%	0%																																																		
4人 (N=10)	0%	0%	10.0%	70.0%	10.0%	10.0%	0%																																																		
いない (N=217)	10.6%	6.9%	54.8%	25.3%	1.4%	0%	0%																																																		
<p>(1)-②-6 希望する 子どもの 数より少 なくなる 原因</p> <p>(理想的な子ども数が1人以上の者のみ回答)</p>	<p>◇「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が67.1%を占め、「すでに希望する数の子どもを授かっている」は14.8%にとどまっています。</p> <p>【全体集計】</p> <table border="1"> <caption>希望する子どもの数より少なくなる原因 (全体集計)</caption> <thead> <tr> <th>原因</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育てや教育にお金がかかりすぎるから</td> <td>67.1%</td> </tr> <tr> <td>年齢や健康上の理由で妊娠・出産が難しいから</td> <td>23.4%</td> </tr> <tr> <td>自分やパートナーの仕事に差し支えるから</td> <td>19.4%</td> </tr> <tr> <td>行政等の子育て支援が十分でないから</td> <td>18.7%</td> </tr> <tr> <td>欲しいけれども授からないから</td> <td>17.8%</td> </tr> <tr> <td>今いる子どもに手がかかるから</td> <td>11.0%</td> </tr> <tr> <td>家が狭いから</td> <td>8.0%</td> </tr> <tr> <td>家事・育児の協力者がいないから</td> <td>7.7%</td> </tr> <tr> <td>自分や夫婦の生活を大切にしたいから</td> <td>6.9%</td> </tr> <tr> <td>保育所などの子どもの預け先がないから</td> <td>6.9%</td> </tr> <tr> <td>パートナーが望まないから</td> <td>5.8%</td> </tr> <tr> <td>子どもがのびのび育つ環境ではないから</td> <td>4.3%</td> </tr> <tr> <td>末子が親の定年退職までに成人して欲しいから</td> <td>3.9%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3.2%</td> </tr> <tr> <td>すでに希望する数の子どもを授かっている</td> <td>14.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(N=465)</p> <p>*複数回答のため合計は100%を超える。</p>	原因	割合	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	67.1%	年齢や健康上の理由で妊娠・出産が難しいから	23.4%	自分やパートナーの仕事に差し支えるから	19.4%	行政等の子育て支援が十分でないから	18.7%	欲しいけれども授からないから	17.8%	今いる子どもに手がかかるから	11.0%	家が狭いから	8.0%	家事・育児の協力者がいないから	7.7%	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	6.9%	保育所などの子どもの預け先がないから	6.9%	パートナーが望まないから	5.8%	子どもがのびのび育つ環境ではないから	4.3%	末子が親の定年退職までに成人して欲しいから	3.9%	その他	3.2%	すでに希望する数の子どもを授かっている	14.8%																								
原因	割合																																																								
子育てや教育にお金がかかりすぎるから	67.1%																																																								
年齢や健康上の理由で妊娠・出産が難しいから	23.4%																																																								
自分やパートナーの仕事に差し支えるから	19.4%																																																								
行政等の子育て支援が十分でないから	18.7%																																																								
欲しいけれども授からないから	17.8%																																																								
今いる子どもに手がかかるから	11.0%																																																								
家が狭いから	8.0%																																																								
家事・育児の協力者がいないから	7.7%																																																								
自分や夫婦の生活を大切にしたいから	6.9%																																																								
保育所などの子どもの預け先がないから	6.9%																																																								
パートナーが望まないから	5.8%																																																								
子どもがのびのび育つ環境ではないから	4.3%																																																								
末子が親の定年退職までに成人して欲しいから	3.9%																																																								
その他	3.2%																																																								
すでに希望する数の子どもを授かっている	14.8%																																																								

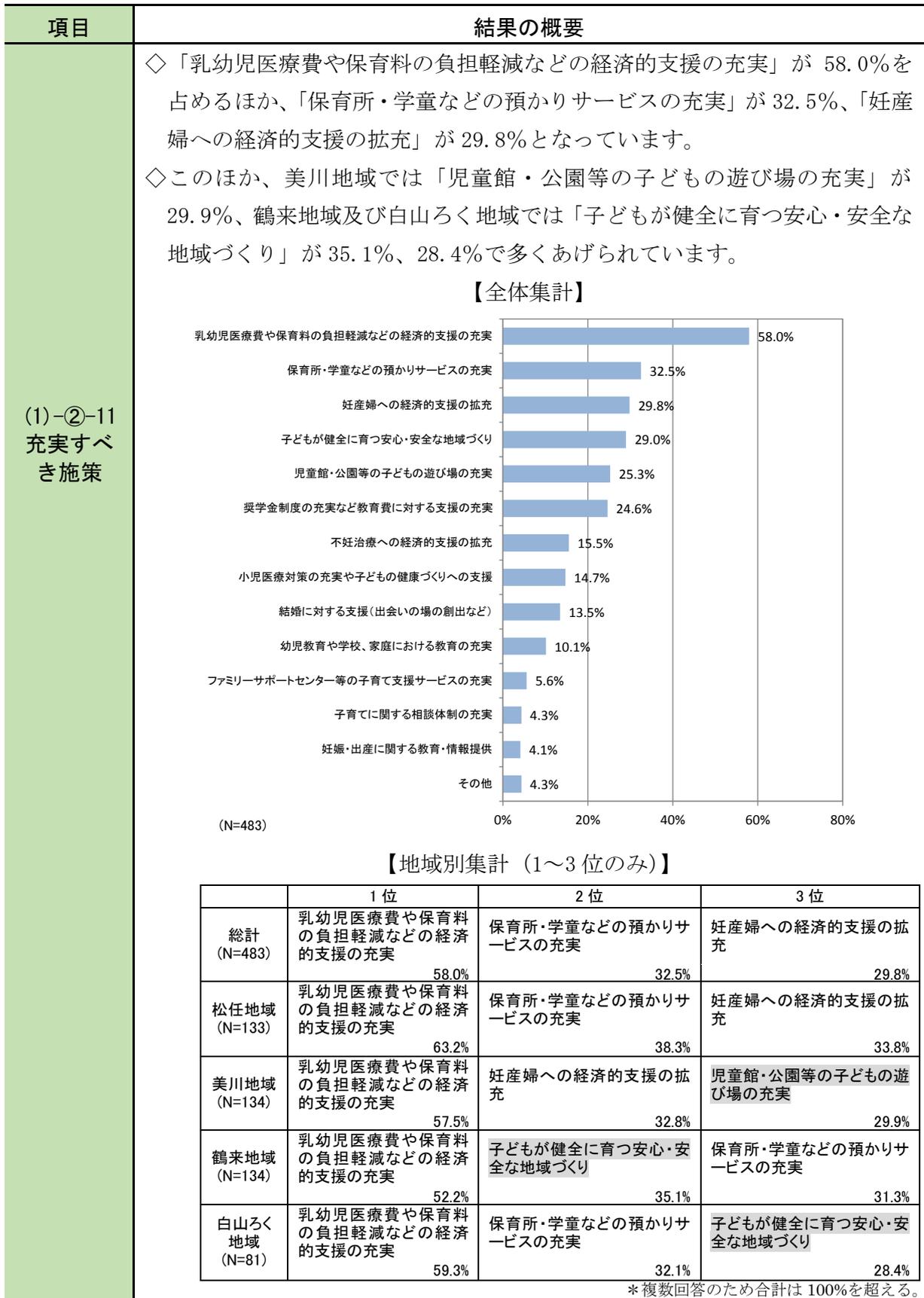
参考. アンケート調査結果 (結婚・出産アンケート)



参考. アンケート調査結果（結婚・出産アンケート）

項目	結果の概要																																																								
<p>(1)-②-9 職場で導入してほしい制度 (働いている、働く予定の者のみ回答)</p>	<p>◇「子育て費用の助成・手当」が56.3%を占めます。</p> <p>◇男性では「男性の育児休業取得の推奨」が34.5%、女性では「短時間勤務制度の導入」が38.6%でそれぞれ高くなっています。</p> <table border="1"> <caption>職場で導入してほしい制度の割合</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>総計 (N=407)</th> <th>男性 (N=171)</th> <th>女性 (N=236)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>妊娠中・出産後の相談窓口の設置</td><td>16.0%</td><td>15.8%</td><td>16.1%</td></tr> <tr><td>男性の育児休業取得の推奨</td><td>22.4%</td><td>34.5%</td><td>18.2%</td></tr> <tr><td>短時間勤務制度の導入</td><td>14.5%</td><td>9.4%</td><td>38.6%</td></tr> <tr><td>ノー残業デーの導入</td><td>13.5%</td><td>12.9%</td><td>14.0%</td></tr> <tr><td>勤務地などの限定制度の導入</td><td>12.8%</td><td>13.5%</td><td>12.3%</td></tr> <tr><td>在宅勤務の導入</td><td>7.9%</td><td>55.6%</td><td>56.8%</td></tr> <tr><td>特にない</td><td>6.6%</td><td>7.0%</td><td>6.4%</td></tr> <tr><td>独自の休暇制度の創設</td><td>7.9%</td><td>7.6%</td><td>8.1%</td></tr> <tr><td>育児休業期間中の代替要員の確保</td><td>6.6%</td><td>30.4%</td><td>32.2%</td></tr> <tr><td>フレックスタイム制度の導入</td><td>6.6%</td><td>5.3%</td><td>7.6%</td></tr> <tr><td>子育て費用の助成・手当</td><td>56.3%</td><td>56.3%</td><td>56.3%</td></tr> <tr><td>年次有給休暇取得の推奨</td><td>31.4%</td><td>31.4%</td><td>31.4%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>6.6%</td><td>6.6%</td><td>6.6%</td></tr> </tbody> </table> <p>*複数回答のため合計は100%を超える。5%未満は数値を省略</p>	項目	総計 (N=407)	男性 (N=171)	女性 (N=236)	妊娠中・出産後の相談窓口の設置	16.0%	15.8%	16.1%	男性の育児休業取得の推奨	22.4%	34.5%	18.2%	短時間勤務制度の導入	14.5%	9.4%	38.6%	ノー残業デーの導入	13.5%	12.9%	14.0%	勤務地などの限定制度の導入	12.8%	13.5%	12.3%	在宅勤務の導入	7.9%	55.6%	56.8%	特にない	6.6%	7.0%	6.4%	独自の休暇制度の創設	7.9%	7.6%	8.1%	育児休業期間中の代替要員の確保	6.6%	30.4%	32.2%	フレックスタイム制度の導入	6.6%	5.3%	7.6%	子育て費用の助成・手当	56.3%	56.3%	56.3%	年次有給休暇取得の推奨	31.4%	31.4%	31.4%	その他	6.6%	6.6%	6.6%
項目	総計 (N=407)	男性 (N=171)	女性 (N=236)																																																						
妊娠中・出産後の相談窓口の設置	16.0%	15.8%	16.1%																																																						
男性の育児休業取得の推奨	22.4%	34.5%	18.2%																																																						
短時間勤務制度の導入	14.5%	9.4%	38.6%																																																						
ノー残業デーの導入	13.5%	12.9%	14.0%																																																						
勤務地などの限定制度の導入	12.8%	13.5%	12.3%																																																						
在宅勤務の導入	7.9%	55.6%	56.8%																																																						
特にない	6.6%	7.0%	6.4%																																																						
独自の休暇制度の創設	7.9%	7.6%	8.1%																																																						
育児休業期間中の代替要員の確保	6.6%	30.4%	32.2%																																																						
フレックスタイム制度の導入	6.6%	5.3%	7.6%																																																						
子育て費用の助成・手当	56.3%	56.3%	56.3%																																																						
年次有給休暇取得の推奨	31.4%	31.4%	31.4%																																																						
その他	6.6%	6.6%	6.6%																																																						
<p>(1)-②-10 出産・子育て環境</p>	<p>◇「出産や子育てしやすい環境にある／どちらかといえば出産や子育てしやすい環境にある」が76.5%を占めています。</p> <table border="1"> <caption>出産・子育て環境の認識</caption> <thead> <tr> <th>環境</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>どちらかといえば出産や子育てしやすい環境にある</td><td>19.5%</td></tr> <tr><td>出産や子育てしやすい環境にある</td><td>62.4%</td></tr> <tr><td>どちらかといえば出産や子育てしやすい環境にある</td><td>14.1%</td></tr> <tr><td>出産や子育てしやすい環境にある</td><td>14.1%</td></tr> <tr><td>出産や子育てしにくい環境にある</td><td>3.9%</td></tr> </tbody> </table> <p>(N=482)</p>	環境	割合	どちらかといえば出産や子育てしやすい環境にある	19.5%	出産や子育てしやすい環境にある	62.4%	どちらかといえば出産や子育てしやすい環境にある	14.1%	出産や子育てしやすい環境にある	14.1%	出産や子育てしにくい環境にある	3.9%																																												
環境	割合																																																								
どちらかといえば出産や子育てしやすい環境にある	19.5%																																																								
出産や子育てしやすい環境にある	62.4%																																																								
どちらかといえば出産や子育てしやすい環境にある	14.1%																																																								
出産や子育てしやすい環境にある	14.1%																																																								
出産や子育てしにくい環境にある	3.9%																																																								

参考. アンケート調査結果（結婚・出産アンケート）

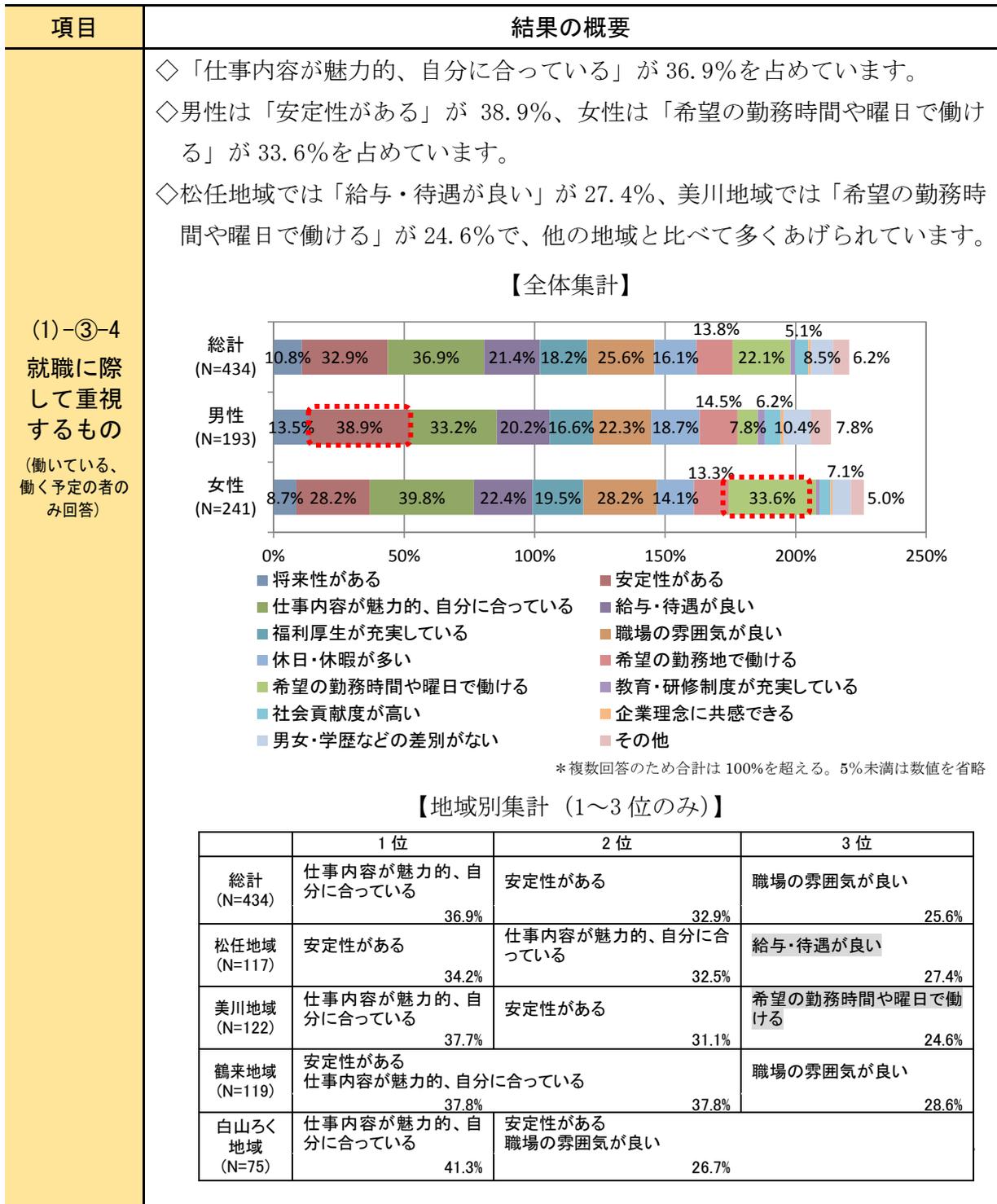


参考: アンケート調査結果 (結婚・出産アンケート)

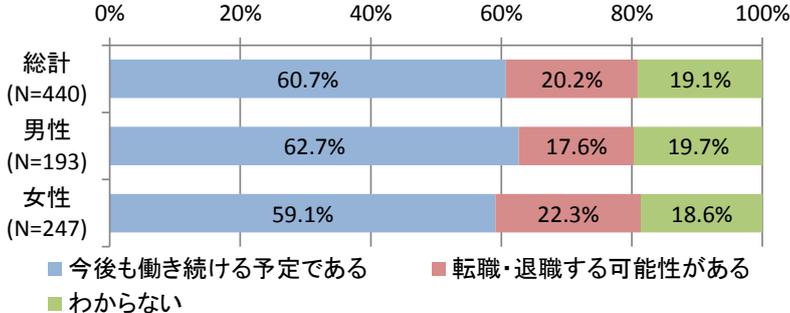
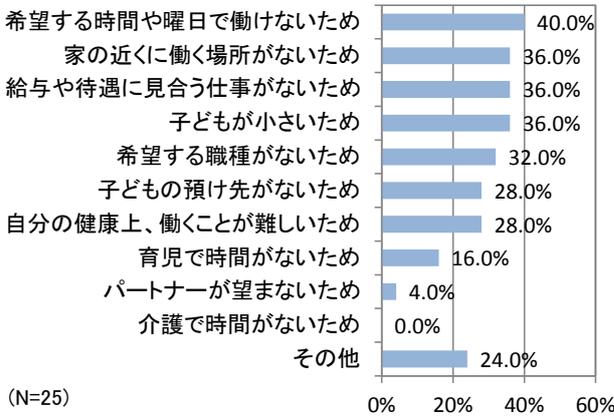
③仕事について

項目	結果の概要
<p>(1)-③-1 現在の就業状況</p>	<p>◇「働いているまたは今後働く予定である」が86.1%を占めています。 ◇女性の約2割が働いていない状況となっています。</p> <p>■ 働いているまたは 今後働く予定である ■ 働きたいが、事情により働いていない ■ 働いていない(専業主婦・主夫含む)</p>
<p>(1)-③-2 雇用形態 (働いている、働く予定の者のみ回答)</p>	<p>◇「正社員」が66.3%、「パート」が17.2%、「契約社員」が4.3%となっています。 ◇女性は「パート」が29.8%で男性より高くなっています。</p> <p>■ 自営 ■ 正社員 ■ 契約社員 ■ 嘱託社員・職員 ■ 派遣社員 ■ パート ■ アルバイト ■ その他</p> <p>*1%未満は数値を省略</p>
<p>(1)-③-3 勤務先 (働いている、働く予定の者のみ回答)</p>	<p>◇「県内の他市町」が52.5%を占め、金沢市(32.3%)や小松市(11.3%)が多くみられます。一方、白山ろく地域では「白山市内」が54.7%を占め、最も多くなっています。</p> <p>■ 白山市内 ■ 県内の他市町 ■ 県外の他市町村</p>

参考. アンケート調査結果 (結婚・出産アンケート)

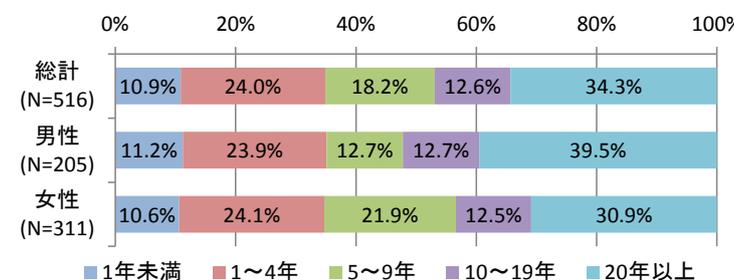
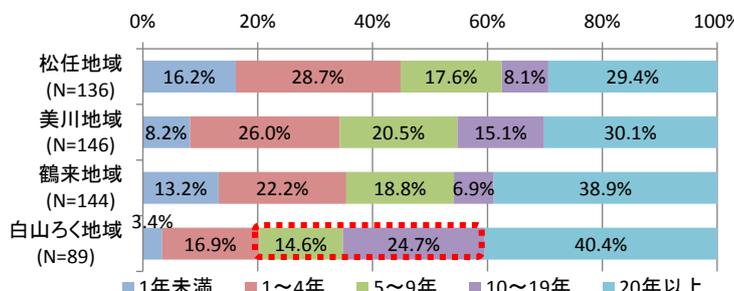
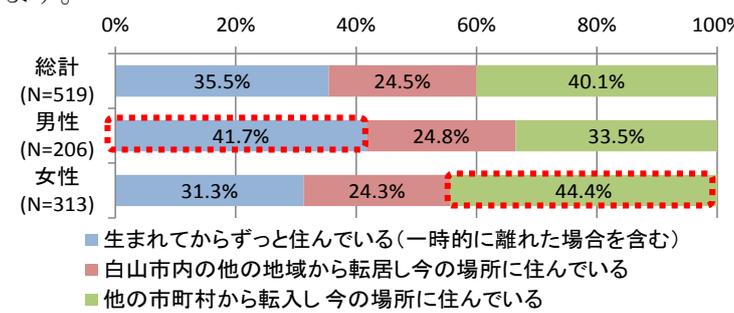
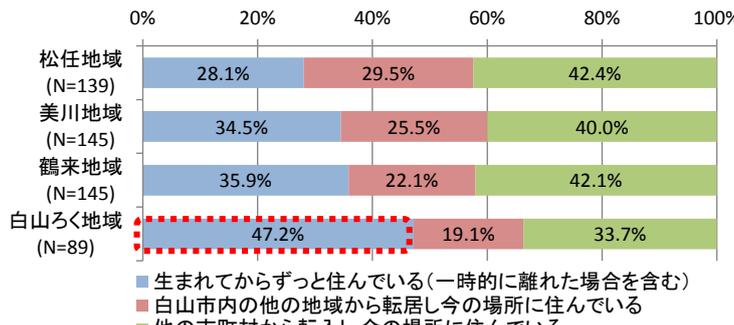


参考. アンケート調査結果 (結婚・出産アンケート)

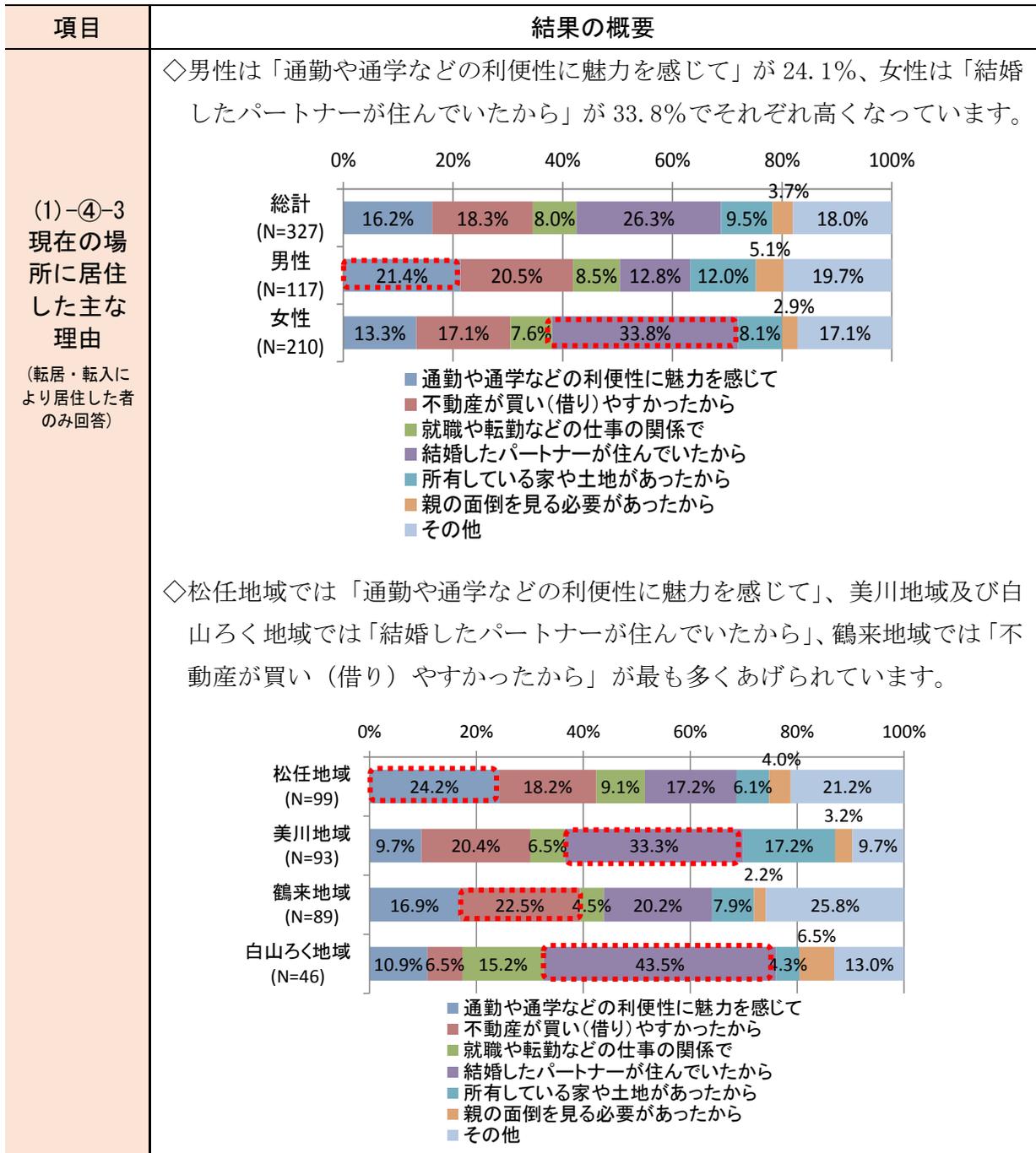
項目	結果の概要																																																
<p>(1)-③-5 就業意向 (働いている、働く予定の者のみ回答)</p>	<p>◇男女ともに「今後も働き続ける予定である」が約 60% 占め、「転職・退職する可能性がある」は約 20% となっています。</p>  <table border="1"> <caption>就業意向の割合</caption> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>今後も働き続ける予定である</th> <th>転職・退職する可能性がある</th> <th>わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総計 (N=440)</td> <td>60.7%</td> <td>20.2%</td> <td>19.1%</td> </tr> <tr> <td>男性 (N=193)</td> <td>62.7%</td> <td>17.6%</td> <td>19.7%</td> </tr> <tr> <td>女性 (N=247)</td> <td>59.1%</td> <td>22.3%</td> <td>18.6%</td> </tr> </tbody> </table>	性別	今後も働き続ける予定である	転職・退職する可能性がある	わからない	総計 (N=440)	60.7%	20.2%	19.1%	男性 (N=193)	62.7%	17.6%	19.7%	女性 (N=247)	59.1%	22.3%	18.6%																																
性別	今後も働き続ける予定である	転職・退職する可能性がある	わからない																																														
総計 (N=440)	60.7%	20.2%	19.1%																																														
男性 (N=193)	62.7%	17.6%	19.7%																																														
女性 (N=247)	59.1%	22.3%	18.6%																																														
<p>(1)-③-6 働いていない理由 (働きたいが働いていない者のみ回答)</p>	<p>◇「希望する時間や曜日で働けないため」が 40.0% を占めており、特に美川地域や白山ろく地域で多く挙げられています。</p> <p>◇このほか、「家の近くに働く場所がないため」、「給与や待遇に見合う仕事がないため」、「子どもが小さいため」が 36.0% となっています。</p> <p>【全体集計】</p>  <table border="1"> <caption>働いていない理由の割合 (全体集計)</caption> <thead> <tr> <th>理由</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>希望する時間や曜日で働けないため</td> <td>40.0%</td> </tr> <tr> <td>家の近くに働く場所がないため</td> <td>36.0%</td> </tr> <tr> <td>給与や待遇に見合う仕事がないため</td> <td>36.0%</td> </tr> <tr> <td>子どもが小さいため</td> <td>36.0%</td> </tr> <tr> <td>希望する職種がないため</td> <td>32.0%</td> </tr> <tr> <td>子どもの預け先がないため</td> <td>28.0%</td> </tr> <tr> <td>自分の健康上、働くことが難しいため</td> <td>28.0%</td> </tr> <tr> <td>育児で時間がないため</td> <td>16.0%</td> </tr> <tr> <td>パートナーが望まないため</td> <td>4.0%</td> </tr> <tr> <td>介護で時間がないため</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>24.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(N=25)</p> <p>【地域別集計 (1~3位のみ)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>3位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総計 (N=25)</td> <td>希望する時間や曜日で働けないため 40.0%</td> <td>家の近くに働く場所がないため 給与や待遇に見合う仕事がないため 子どもが小さいため 36.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>松任地域 (N=5)</td> <td>給与や待遇に見合う仕事がないため 育児で時間がないため 子どもが小さいため 40.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>美川地域 (N=10)</td> <td>希望する時間や曜日で働けないため 50.0%</td> <td>子どもの預け先がないため 子どもが小さいため 40.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鶴来地域 (N=7)</td> <td>希望する職種がないため 給与や待遇に見合う仕事がないため 57.1%</td> <td></td> <td>家の近くに働く場所がないため 42.9%</td> </tr> <tr> <td>白山ろく地域 (N=3)</td> <td>希望する時間や曜日で働けないため 家の近くに働く場所がないため 自分の健康上、働くことが難しいため 66.7%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>* 複数回答のため合計は 100% を超える。</p>	理由	割合	希望する時間や曜日で働けないため	40.0%	家の近くに働く場所がないため	36.0%	給与や待遇に見合う仕事がないため	36.0%	子どもが小さいため	36.0%	希望する職種がないため	32.0%	子どもの預け先がないため	28.0%	自分の健康上、働くことが難しいため	28.0%	育児で時間がないため	16.0%	パートナーが望まないため	4.0%	介護で時間がないため	0.0%	その他	24.0%		1位	2位	3位	総計 (N=25)	希望する時間や曜日で働けないため 40.0%	家の近くに働く場所がないため 給与や待遇に見合う仕事がないため 子どもが小さいため 36.0%		松任地域 (N=5)	給与や待遇に見合う仕事がないため 育児で時間がないため 子どもが小さいため 40.0%			美川地域 (N=10)	希望する時間や曜日で働けないため 50.0%	子どもの預け先がないため 子どもが小さいため 40.0%		鶴来地域 (N=7)	希望する職種がないため 給与や待遇に見合う仕事がないため 57.1%		家の近くに働く場所がないため 42.9%	白山ろく地域 (N=3)	希望する時間や曜日で働けないため 家の近くに働く場所がないため 自分の健康上、働くことが難しいため 66.7%		
理由	割合																																																
希望する時間や曜日で働けないため	40.0%																																																
家の近くに働く場所がないため	36.0%																																																
給与や待遇に見合う仕事がないため	36.0%																																																
子どもが小さいため	36.0%																																																
希望する職種がないため	32.0%																																																
子どもの預け先がないため	28.0%																																																
自分の健康上、働くことが難しいため	28.0%																																																
育児で時間がないため	16.0%																																																
パートナーが望まないため	4.0%																																																
介護で時間がないため	0.0%																																																
その他	24.0%																																																
	1位	2位	3位																																														
総計 (N=25)	希望する時間や曜日で働けないため 40.0%	家の近くに働く場所がないため 給与や待遇に見合う仕事がないため 子どもが小さいため 36.0%																																															
松任地域 (N=5)	給与や待遇に見合う仕事がないため 育児で時間がないため 子どもが小さいため 40.0%																																																
美川地域 (N=10)	希望する時間や曜日で働けないため 50.0%	子どもの預け先がないため 子どもが小さいため 40.0%																																															
鶴来地域 (N=7)	希望する職種がないため 給与や待遇に見合う仕事がないため 57.1%		家の近くに働く場所がないため 42.9%																																														
白山ろく地域 (N=3)	希望する時間や曜日で働けないため 家の近くに働く場所がないため 自分の健康上、働くことが難しいため 66.7%																																																

参考. アンケート調査結果（結婚・出産アンケート）

④定住について

項目	結果の概要
<p>(1)-④-1 居住年数</p>	<p>◇居住年数については「20年以上」が34.3%を占めています。</p>  <p>◇白山ろく地域は「10～19年」が24.7%で、他の地域と比べて高くなっています。また「10～19年」、「20年以上」が合わせて60%以上を占めています。</p> 
	<p>◇男性は「生まれてからずっと住んでいる」が41.7%を占めています。</p> <p>◇一方、女性は「他の市町村から転入し今の場所に住んでいる」が44.4%を占めています。</p>  <p>◇白山ろく地域では「生まれてからずっと住んでいる（一時的に離れた場合を含む）」が47.2%で最も多く、他の地域と比べて高くなっています。</p> 

参考. アンケート調査結果 (結婚・出産アンケート)



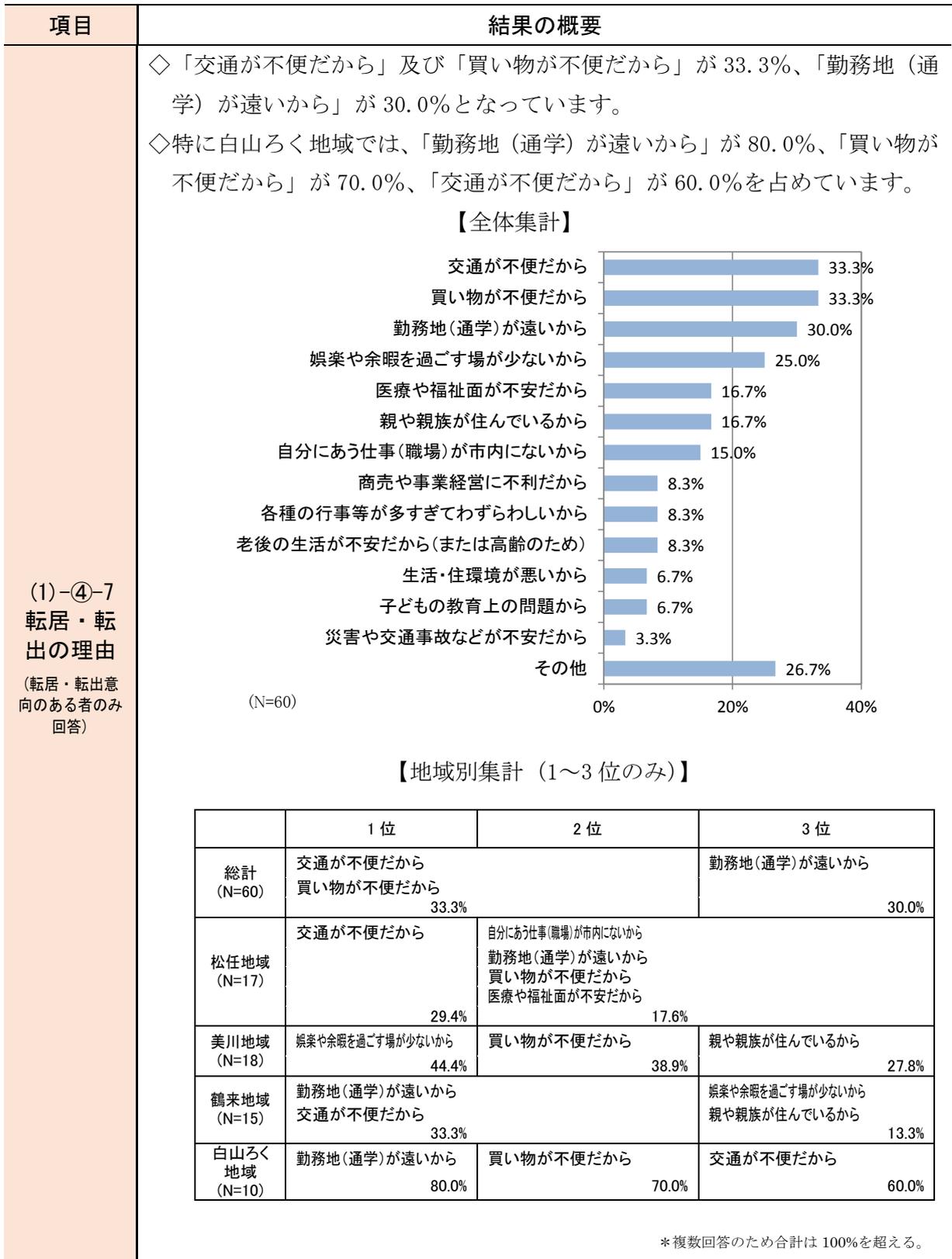
参考. アンケート調査結果（結婚・出産アンケート）

項目	結果の概要																																										
<p>(1)-④-4 白山市の 住みやす さ</p>	<p>◇「住み良い／まあまあ住み良い」が59.1%を占めています。 ◇一方、白山ろく地域では「若干住みにくい／住みにくい」が25.8%で他の地域より高くなっています。</p> <table border="1"> <caption>住みやすさの割合</caption> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>住み良い</th> <th>まあまあ住み良い</th> <th>普通</th> <th>若干住みにくい</th> <th>住みにくい</th> <th>わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総計 (N=516)</td> <td>22.3%</td> <td>36.8%</td> <td>22.7%</td> <td>11.0%</td> <td>4.1%</td> <td>3.1%</td> </tr> <tr> <td>松任地域 (N=139)</td> <td>25.9%</td> <td>41.0%</td> <td>23.7%</td> <td>4.3%</td> <td>3.6%</td> <td>1.4%</td> </tr> <tr> <td>美川地域 (N=144)</td> <td>18.1%</td> <td>33.3%</td> <td>27.1%</td> <td>13.2%</td> <td>4.2%</td> <td>4.2%</td> </tr> <tr> <td>鶴来地域 (N=143)</td> <td>24.5%</td> <td>38.5%</td> <td>21.0%</td> <td>9.8%</td> <td>3.5%</td> <td>2.8%</td> </tr> <tr> <td>白山ろく地域 (N=89)</td> <td>20.2%</td> <td>32.6%</td> <td>16.9%</td> <td>20.2%</td> <td>5.6%</td> <td>4.5%</td> </tr> </tbody> </table>	地域	住み良い	まあまあ住み良い	普通	若干住みにくい	住みにくい	わからない	総計 (N=516)	22.3%	36.8%	22.7%	11.0%	4.1%	3.1%	松任地域 (N=139)	25.9%	41.0%	23.7%	4.3%	3.6%	1.4%	美川地域 (N=144)	18.1%	33.3%	27.1%	13.2%	4.2%	4.2%	鶴来地域 (N=143)	24.5%	38.5%	21.0%	9.8%	3.5%	2.8%	白山ろく地域 (N=89)	20.2%	32.6%	16.9%	20.2%	5.6%	4.5%
地域	住み良い	まあまあ住み良い	普通	若干住みにくい	住みにくい	わからない																																					
総計 (N=516)	22.3%	36.8%	22.7%	11.0%	4.1%	3.1%																																					
松任地域 (N=139)	25.9%	41.0%	23.7%	4.3%	3.6%	1.4%																																					
美川地域 (N=144)	18.1%	33.3%	27.1%	13.2%	4.2%	4.2%																																					
鶴来地域 (N=143)	24.5%	38.5%	21.0%	9.8%	3.5%	2.8%																																					
白山ろく地域 (N=89)	20.2%	32.6%	16.9%	20.2%	5.6%	4.5%																																					
<p>(1)-④-5 白山市で の定住意 向</p>	<p>◇「住んでいると思う」が61.6%、「市内の便利な所へ転居していると思う」が2.7%で、地域に限らず60%以上が定住意向を示しています。</p> <table border="1"> <caption>定住意向の割合</caption> <thead> <tr> <th>意向</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住んでいると思う</td> <td>61.6%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>25.5%</td> </tr> <tr> <td>市外へ転出していると思う</td> <td>10.2%</td> </tr> <tr> <td>市内の便利な所へ転居していると思う</td> <td>2.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(N=518)</p>	意向	割合	住んでいると思う	61.6%	わからない	25.5%	市外へ転出していると思う	10.2%	市内の便利な所へ転居していると思う	2.7%																																
意向	割合																																										
住んでいると思う	61.6%																																										
わからない	25.5%																																										
市外へ転出していると思う	10.2%																																										
市内の便利な所へ転居していると思う	2.7%																																										

参考. アンケート調査結果 (結婚・出産アンケート)

項目	結果の概要																																						
(1)-④-6 住み続ける理由 (定住意向のある者のみ回答)	◇「親や親族が住んでいるから」が 55.4%を占めますが、白山ろく地域では「自然が豊かだから」が 66.0%で最も多く挙げられています。																																						
	【全体集計】																																						
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>【全体集計】理由別の割合</caption> <thead> <tr> <th>理由</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>親や親族が住んでいるから</td><td>55.4%</td></tr> <tr><td>自然が豊かだから</td><td>32.3%</td></tr> <tr><td>勤務地(通学)に近いから</td><td>30.1%</td></tr> <tr><td>生活・住環境が良いから</td><td>28.8%</td></tr> <tr><td>買い物が便利だから</td><td>18.4%</td></tr> <tr><td>住んでいる人が良いから</td><td>18.0%</td></tr> <tr><td>災害が少なく安全だから</td><td>16.8%</td></tr> <tr><td>自分にあう仕事(職場)があるから</td><td>14.9%</td></tr> <tr><td>交通が便利だから</td><td>14.9%</td></tr> <tr><td>家庭の事情等でやむを得ず住んでいる</td><td>6.6%</td></tr> <tr><td>医療や福祉面が充実しているから</td><td>4.1%</td></tr> <tr><td>楽しいイベントや行事が多いから</td><td>3.5%</td></tr> <tr><td>老後の生活に不安がないから</td><td>3.2%</td></tr> <tr><td>娯楽や余暇を過ごす場が充実しているから</td><td>2.5%</td></tr> <tr><td>商売や事業経営に便利だから</td><td>2.2%</td></tr> <tr><td>教育環境が充実しているから</td><td>0.9%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>14.6%</td></tr> </tbody> </table>			理由	割合	親や親族が住んでいるから	55.4%	自然が豊かだから	32.3%	勤務地(通学)に近いから	30.1%	生活・住環境が良いから	28.8%	買い物が便利だから	18.4%	住んでいる人が良いから	18.0%	災害が少なく安全だから	16.8%	自分にあう仕事(職場)があるから	14.9%	交通が便利だから	14.9%	家庭の事情等でやむを得ず住んでいる	6.6%	医療や福祉面が充実しているから	4.1%	楽しいイベントや行事が多いから	3.5%	老後の生活に不安がないから	3.2%	娯楽や余暇を過ごす場が充実しているから	2.5%	商売や事業経営に便利だから	2.2%	教育環境が充実しているから	0.9%	その他	14.6%
	理由	割合																																					
親や親族が住んでいるから	55.4%																																						
自然が豊かだから	32.3%																																						
勤務地(通学)に近いから	30.1%																																						
生活・住環境が良いから	28.8%																																						
買い物が便利だから	18.4%																																						
住んでいる人が良いから	18.0%																																						
災害が少なく安全だから	16.8%																																						
自分にあう仕事(職場)があるから	14.9%																																						
交通が便利だから	14.9%																																						
家庭の事情等でやむを得ず住んでいる	6.6%																																						
医療や福祉面が充実しているから	4.1%																																						
楽しいイベントや行事が多いから	3.5%																																						
老後の生活に不安がないから	3.2%																																						
娯楽や余暇を過ごす場が充実しているから	2.5%																																						
商売や事業経営に便利だから	2.2%																																						
教育環境が充実しているから	0.9%																																						
その他	14.6%																																						
(N=316)																																							
【地域別集計 (1~3位のみ)】																																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>3位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総計 (N=316)</td> <td>親や親族が住んでいるから 55.4%</td> <td>自然が豊かだから 32.3%</td> <td>勤務地(通学)に近いから 30.1%</td> </tr> <tr> <td>松任地域 (N=85)</td> <td>親や親族が住んでいるから 56.5%</td> <td>買い物が便利だから 35.3%</td> <td>生活・住環境が良いから 34.1%</td> </tr> <tr> <td>美川地域 (N=86)</td> <td>親や親族が住んでいるから 54.7%</td> <td>勤務地(通学)に近いから 32.6%</td> <td>住んでいる人が良いから 20.9%</td> </tr> <tr> <td>鶴来地域 (N=92)</td> <td>親や親族が住んでいるから 53.3%</td> <td>自然が豊かだから 44.6%</td> <td>生活・住環境が良いから 34.8%</td> </tr> <tr> <td>白山ろく地域 (N=53)</td> <td>自然が豊かだから 66.0%</td> <td>親や親族が住んでいるから 58.5%</td> <td>生活・住環境が良いから 24.5%</td> </tr> </tbody> </table>					1位	2位	3位	総計 (N=316)	親や親族が住んでいるから 55.4%	自然が豊かだから 32.3%	勤務地(通学)に近いから 30.1%	松任地域 (N=85)	親や親族が住んでいるから 56.5%	買い物が便利だから 35.3%	生活・住環境が良いから 34.1%	美川地域 (N=86)	親や親族が住んでいるから 54.7%	勤務地(通学)に近いから 32.6%	住んでいる人が良いから 20.9%	鶴来地域 (N=92)	親や親族が住んでいるから 53.3%	自然が豊かだから 44.6%	生活・住環境が良いから 34.8%	白山ろく地域 (N=53)	自然が豊かだから 66.0%	親や親族が住んでいるから 58.5%	生活・住環境が良いから 24.5%												
	1位	2位	3位																																				
総計 (N=316)	親や親族が住んでいるから 55.4%	自然が豊かだから 32.3%	勤務地(通学)に近いから 30.1%																																				
松任地域 (N=85)	親や親族が住んでいるから 56.5%	買い物が便利だから 35.3%	生活・住環境が良いから 34.1%																																				
美川地域 (N=86)	親や親族が住んでいるから 54.7%	勤務地(通学)に近いから 32.6%	住んでいる人が良いから 20.9%																																				
鶴来地域 (N=92)	親や親族が住んでいるから 53.3%	自然が豊かだから 44.6%	生活・住環境が良いから 34.8%																																				
白山ろく地域 (N=53)	自然が豊かだから 66.0%	親や親族が住んでいるから 58.5%	生活・住環境が良いから 24.5%																																				
*複数回答のため合計は100%を超える。																																							

参考. アンケート調査結果（結婚・出産アンケート）



(5) 人口を増やすためのアイデアについて

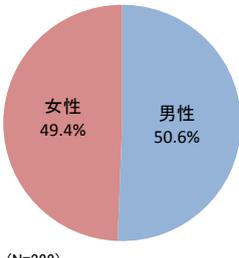
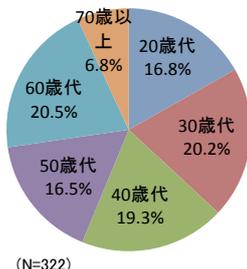
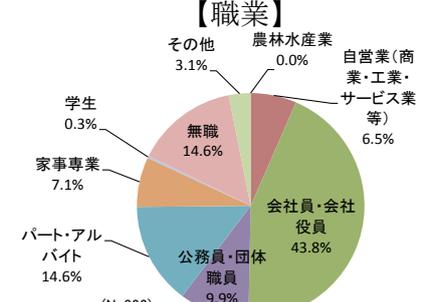
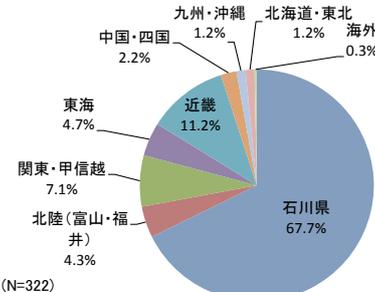
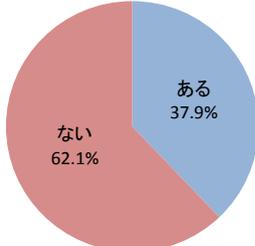
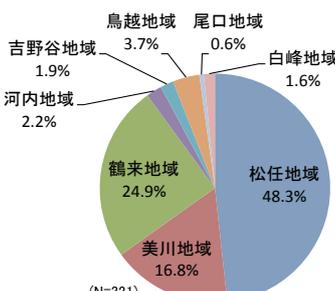
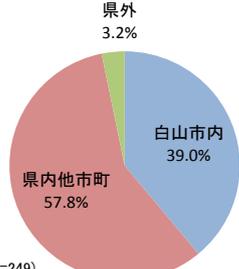
項目	結果の概要																											
<p>(1)-④-8 人口の維持・増加に向けて 充実すべき施策</p>	<p>◇「本社機能の企業誘致による新たな雇用の創出」が 34.8%、「空き家バンク等の住宅情報の提供体制の整備」が 30.9%、「お試し滞在住宅や移住者への住宅助成制度の充実」が 26.0%となっています。</p>																											
	<p>◇松任地域及び美川地域では「本社機能の企業誘致による新たな雇用の創出」、鶴来地域及び白山ろく地域では「空き家バンク等の住宅情報の提供体制の整備」が最も多くあげられています。</p>																											
	<p>【全体集計】</p>																											
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>【全体集計】</caption> <thead> <tr> <th>施策</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本社機能の企業誘致による新たな雇用の創出</td> <td>34.8%</td> </tr> <tr> <td>空き家バンク等の住宅情報の提供体制の整備</td> <td>30.9%</td> </tr> <tr> <td>お試し滞在住宅や移住者への住宅助成制度の充実</td> <td>26.0%</td> </tr> <tr> <td>温泉やスキー場などの観光資源を活かした観光イベントの充実</td> <td>23.8%</td> </tr> <tr> <td>UJIターン希望者と市内企業とのマッチング支援などによる雇用の確保</td> <td>23.6%</td> </tr> <tr> <td>国内外に向けた白山市の魅力のPR充実</td> <td>23.4%</td> </tr> <tr> <td>食をテーマとした各種イベントの充実</td> <td>22.6%</td> </tr> <tr> <td>新規高卒者や大卒者を対象とした市内企業説明会などの開催</td> <td>13.8%</td> </tr> <tr> <td>白山手取川ジオパークや豊かな自然を活かした各種ツーリズムの推進</td> <td>12.6%</td> </tr> <tr> <td>地元大学などへの進学促進</td> <td>10.2%</td> </tr> <tr> <td>移住や交流に関する専門相談窓口の整備</td> <td>9.6%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>10.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(N=492) 0% 20% 40%</p> <p>*複数回答のため合計は100%を超える。</p>			施策	割合	本社機能の企業誘致による新たな雇用の創出	34.8%	空き家バンク等の住宅情報の提供体制の整備	30.9%	お試し滞在住宅や移住者への住宅助成制度の充実	26.0%	温泉やスキー場などの観光資源を活かした観光イベントの充実	23.8%	UJIターン希望者と市内企業とのマッチング支援などによる雇用の確保	23.6%	国内外に向けた白山市の魅力のPR充実	23.4%	食をテーマとした各種イベントの充実	22.6%	新規高卒者や大卒者を対象とした市内企業説明会などの開催	13.8%	白山手取川ジオパークや豊かな自然を活かした各種ツーリズムの推進	12.6%	地元大学などへの進学促進	10.2%	移住や交流に関する専門相談窓口の整備	9.6%	その他
施策	割合																											
本社機能の企業誘致による新たな雇用の創出	34.8%																											
空き家バンク等の住宅情報の提供体制の整備	30.9%																											
お試し滞在住宅や移住者への住宅助成制度の充実	26.0%																											
温泉やスキー場などの観光資源を活かした観光イベントの充実	23.8%																											
UJIターン希望者と市内企業とのマッチング支援などによる雇用の確保	23.6%																											
国内外に向けた白山市の魅力のPR充実	23.4%																											
食をテーマとした各種イベントの充実	22.6%																											
新規高卒者や大卒者を対象とした市内企業説明会などの開催	13.8%																											
白山手取川ジオパークや豊かな自然を活かした各種ツーリズムの推進	12.6%																											
地元大学などへの進学促進	10.2%																											
移住や交流に関する専門相談窓口の整備	9.6%																											
その他	10.6%																											
<p>【地域別集計（1～3位のみ）】</p>																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>3位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総計 (N=492)</td> <td>本社機能の企業誘致による新たな雇用の創出 34.8%</td> <td>空き家バンク等の住宅情報の提供体制の整備 30.9%</td> <td>お試し滞在住宅や移住者への住宅助成制度の充実 26.0%</td> </tr> <tr> <td>松任地域 (N=131)</td> <td>本社機能の企業誘致による新たな雇用の創出 35.1%</td> <td>お試し滞在住宅や移住者への住宅助成制度の充実 30.5%</td> <td>空き家バンク等の住宅情報の提供体制の整備 26.0%</td> </tr> <tr> <td>美川地域 (N=139)</td> <td>本社機能の企業誘致による新たな雇用の創出 42.4%</td> <td>食をテーマとした各種イベントの充実 26.6%</td> <td>UJIターン希望者と市内企業とのマッチング支援などによる雇用の確保 23.7%</td> </tr> <tr> <td>鶴来地域 (N=137)</td> <td>空き家バンク等の住宅情報の提供体制の整備 34.3%</td> <td>温泉やスキー場などの観光資源を活かした観光イベントの充実 33.6%</td> <td>本社機能の企業誘致による新たな雇用の創出 32.1%</td> </tr> <tr> <td>山ろく地域 (N=84)</td> <td>空き家バンク等の住宅情報の提供体制の整備 47.6%</td> <td>お試し滞在住宅や移住者への住宅助成制度の充実 31.0%</td> <td>温泉やスキー場などの観光資源を活かした観光イベントの充実 29.8%</td> </tr> </tbody> </table>		1位	2位	3位	総計 (N=492)	本社機能の企業誘致による新たな雇用の創出 34.8%	空き家バンク等の住宅情報の提供体制の整備 30.9%	お試し滞在住宅や移住者への住宅助成制度の充実 26.0%	松任地域 (N=131)	本社機能の企業誘致による新たな雇用の創出 35.1%	お試し滞在住宅や移住者への住宅助成制度の充実 30.5%	空き家バンク等の住宅情報の提供体制の整備 26.0%	美川地域 (N=139)	本社機能の企業誘致による新たな雇用の創出 42.4%	食をテーマとした各種イベントの充実 26.6%	UJIターン希望者と市内企業とのマッチング支援などによる雇用の確保 23.7%	鶴来地域 (N=137)	空き家バンク等の住宅情報の提供体制の整備 34.3%	温泉やスキー場などの観光資源を活かした観光イベントの充実 33.6%	本社機能の企業誘致による新たな雇用の創出 32.1%	山ろく地域 (N=84)	空き家バンク等の住宅情報の提供体制の整備 47.6%	お試し滞在住宅や移住者への住宅助成制度の充実 31.0%	温泉やスキー場などの観光資源を活かした観光イベントの充実 29.8%	<p>*複数回答のため合計は100%を超える。</p>			
	1位	2位	3位																									
総計 (N=492)	本社機能の企業誘致による新たな雇用の創出 34.8%	空き家バンク等の住宅情報の提供体制の整備 30.9%	お試し滞在住宅や移住者への住宅助成制度の充実 26.0%																									
松任地域 (N=131)	本社機能の企業誘致による新たな雇用の創出 35.1%	お試し滞在住宅や移住者への住宅助成制度の充実 30.5%	空き家バンク等の住宅情報の提供体制の整備 26.0%																									
美川地域 (N=139)	本社機能の企業誘致による新たな雇用の創出 42.4%	食をテーマとした各種イベントの充実 26.6%	UJIターン希望者と市内企業とのマッチング支援などによる雇用の確保 23.7%																									
鶴来地域 (N=137)	空き家バンク等の住宅情報の提供体制の整備 34.3%	温泉やスキー場などの観光資源を活かした観光イベントの充実 33.6%	本社機能の企業誘致による新たな雇用の創出 32.1%																									
山ろく地域 (N=84)	空き家バンク等の住宅情報の提供体制の整備 47.6%	お試し滞在住宅や移住者への住宅助成制度の充実 31.0%	温泉やスキー場などの観光資源を活かした観光イベントの充実 29.8%																									

<自由回答の抜粋>

項目	結果の概要
1)-(5)-② 自由回答	<p>◇「子育て支援（経済的支援）」や「商業の活性化」、「公共交通の利便性向上」、「雇用の創出」、「土地・住宅取得支援」に関する意見が多くみられます。</p> <p><子育て支援（経済的支援）>（以下、一部抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子供の手当てをたくさんしてほしい。 ・ 子供が4人いるため、3人目から保育費が無料になるため、ありがたいです。 ・ 住宅、子育てに関する費用が安い方が暮らすうえで魅力を感じます ・ 予防接種の助成金を増やして欲しい。 ・ もっと子供のいる家庭の経済的負担を軽減してほしいです。 ・ 不妊治療の助成金 ・ 子供の出産・育児にあたり仕事をやめた場合の経済的サポート ・ 子供の住み良い町づくりをすることで将来性がある。子育てにもっと助成をすればいいと思う。 ・ 学童保育の親の負担軽減 <p><商業の活性化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 松任駅周辺施設のテナントを充実させるべきだと感じます。 ・ 人の流れを作ってください。夜の飲食店の閉店が早く、地元で呑みたくても呑めない。 ・ 鶴来、白山ろく地域にお店を増やしてほしい。 ・ 集客力の大きい商業施設を誘致して欲しいです。 <p><公共交通の利便性向上></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バスなどの交通の便がとても少なく不便。もっと増やして欲しいです。 ・ 車の無い人も快適に暮らせるようにすれば良いと思います。 ・ 電車やバス等の交通機関を遅い時間まで運行してほしい。 <p><雇用の創出></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業誘致。市内企業の県外での就職説明会。 ・ 他市に先駆けた企業誘致や企業支援が必要と感じます。 ・ 新幹線開通を契機に本社機能の一部移転等に取り組み、新規雇用の創出や転勤による家族を含めた移住に取り組むべきだと思います。 <p><土地・住宅取得支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新築や中古住宅の購入等に対する補助金を大きくすればよいのではないのでしょうか。 ・ 土地の情報配信を行ってはどうかでしょうか。 ・ 空き家の活用。

(2) 転入者アンケート調査

①回答者自身やご家族のことについて

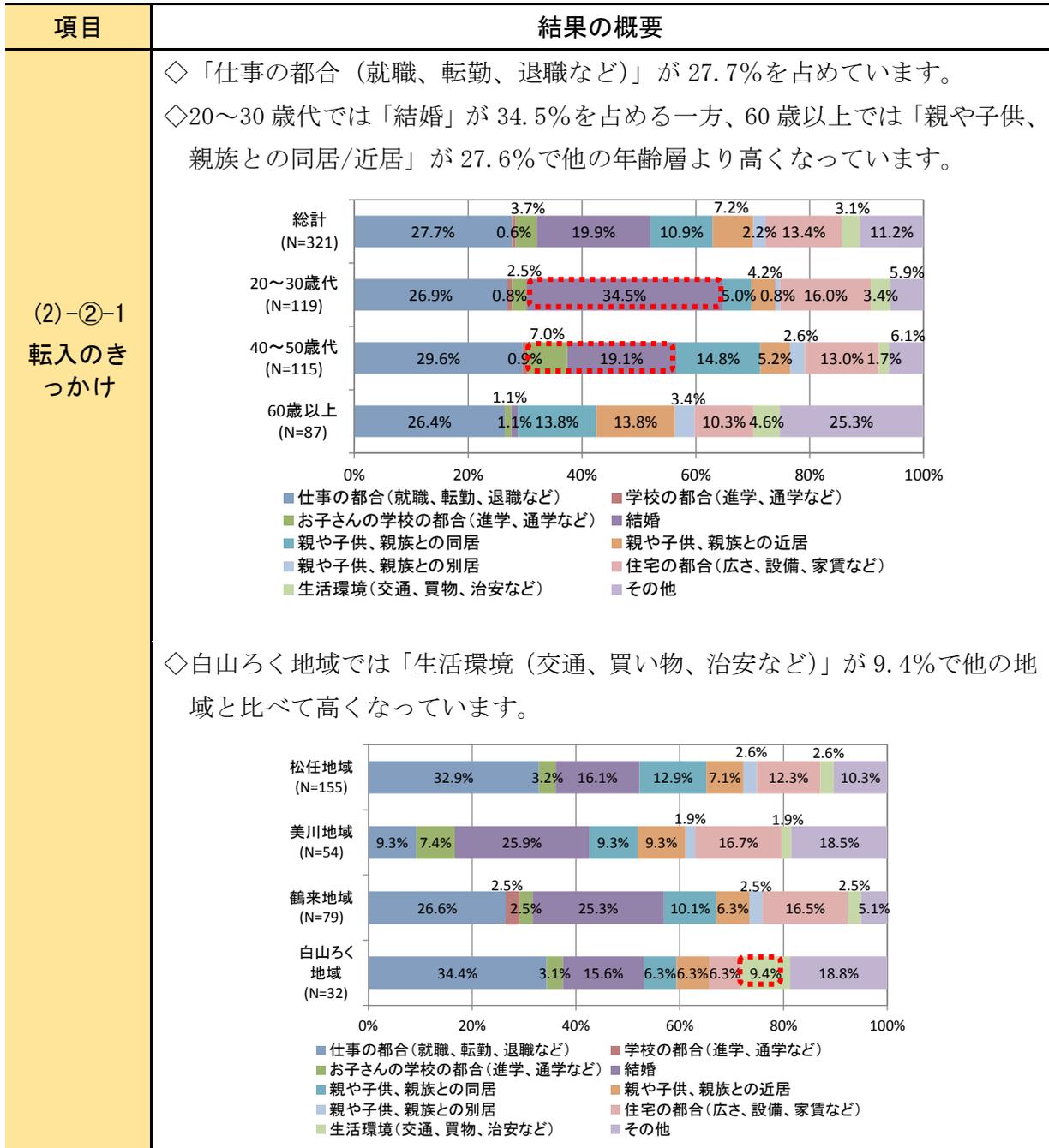
項目	結果の概要
(2)-①-1 性別 ・ 年齢 ・ 職業	<p>◇男女比は、ほぼ同数になっています。</p> <p>◇「20～30歳代」が37.0%、「40～50歳代」が35.8%、「60歳以上」が27.3%となっています。</p> <p>◇「会社員・会社役員」が43.8%、「パート・アルバイト」及び「無職」が14.6%となっています。</p> <p>【性別】</p>  <p>【年齢構成】</p>  <p>【職業】</p> 
(2)-①-2 転入前の 住まい ・ 転入前の 居住経験	<p>◇転入前の住まいは、「石川県」が67.7%を占め、金沢市(34.5%)や野々市市(11.2%)、能美市(6.2%)が多くみられます。県外は近畿が11.2%、関東・甲信越が7.1%を占め、他の地域よりも多くなっています。</p> <p>◇転入前の白山市での居住経験は「ある」が37.9%を占めています。</p> <p>【転入前の住まい】</p>  <p>【転入前の居住経験】</p> 
2)-(1)-③ お住まいの 地域 ・ 勤務(通 学)先	<p>◇現在のお住まいは、「松任地域」が48.3%、「鶴来地域」が24.9%、「美川地域」が16.8%で、「白山ろく地域」は合わせて10.0%となっています。</p> <p>◇通勤先は、「県内他市町」が57.8%、「白山市内」が39.0%であり、県内他市町では金沢市や野々市市、白山市内では松任地域が多くみられます。</p> <p>【お住まいの地域】</p>  <p>【通勤先】</p> 

参考: アンケート調査結果 (転入者アンケート)

項目	結果の概要																								
<p>(2)-①-4 転入前後 の世帯人 数</p>	<p>◇転入前は「1人(一人暮らし)」が28.9%、「3人」が25.5%となっています。 ◇一方、転入後は「2人」が32.2%、「3人」が23.0%と、転入前より世帯人数が増えています。</p> <table border="1"> <caption>世帯人数の割合</caption> <thead> <tr> <th>世帯人数</th> <th>転入前 (N=322)</th> <th>転入後 (N=317)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人(一人暮らし)</td> <td>28.9%</td> <td>16.1%</td> </tr> <tr> <td>2人</td> <td>23.3%</td> <td>32.2%</td> </tr> <tr> <td>3人</td> <td>25.5%</td> <td>23.0%</td> </tr> <tr> <td>4人</td> <td>13.4%</td> <td>17.4%</td> </tr> <tr> <td>5人</td> <td>6.5%</td> <td>6.0%</td> </tr> <tr> <td>6人以上</td> <td>2.5%</td> <td>5.4%</td> </tr> </tbody> </table>	世帯人数	転入前 (N=322)	転入後 (N=317)	1人(一人暮らし)	28.9%	16.1%	2人	23.3%	32.2%	3人	25.5%	23.0%	4人	13.4%	17.4%	5人	6.5%	6.0%	6人以上	2.5%	5.4%			
世帯人数	転入前 (N=322)	転入後 (N=317)																							
1人(一人暮らし)	28.9%	16.1%																							
2人	23.3%	32.2%																							
3人	25.5%	23.0%																							
4人	13.4%	17.4%																							
5人	6.5%	6.0%																							
6人以上	2.5%	5.4%																							
<p>(2)-①-5 転入前後 の家族構 成</p>	<p>◇転入前は「夫婦(本人)と子ども」が31.4%、「単身世帯」が29.6%となっています。 ◇一方、転入後は「本人と配偶者」が25.2%、「夫婦(本人)と子ども」が24.2%となっています。</p> <table border="1"> <caption>家族構成の割合</caption> <thead> <tr> <th>家族構成</th> <th>転入前 (N=318)</th> <th>転入後 (N=310)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単身世帯</td> <td>29.6%</td> <td>17.1%</td> </tr> <tr> <td>本人と配偶者</td> <td>17.6%</td> <td>25.2%</td> </tr> <tr> <td>夫婦(本人)と子ども</td> <td>31.4%</td> <td>24.2%</td> </tr> <tr> <td>夫婦(本人)と親</td> <td>8.2%</td> <td>10.6%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>11.9%</td> <td>9.4%</td> </tr> </tbody> </table>	家族構成	転入前 (N=318)	転入後 (N=310)	単身世帯	29.6%	17.1%	本人と配偶者	17.6%	25.2%	夫婦(本人)と子ども	31.4%	24.2%	夫婦(本人)と親	8.2%	10.6%	その他	11.9%	9.4%						
家族構成	転入前 (N=318)	転入後 (N=310)																							
単身世帯	29.6%	17.1%																							
本人と配偶者	17.6%	25.2%																							
夫婦(本人)と子ども	31.4%	24.2%																							
夫婦(本人)と親	8.2%	10.6%																							
その他	11.9%	9.4%																							
<p>(2)-①-6 転入前後 の住宅の 所有形態</p>	<p>◇転入前は「賃貸のアパート・マンション」が43.0%、「持ち家の一戸建て」が32.7%となっています。 ◇一方、転入後は「持ち家の一戸建て」が65.1%を占めるほか、「賃貸のアパート・マンション」が17.6%となっています。</p> <table border="1"> <caption>住宅所有形態の割合</caption> <thead> <tr> <th>住宅所有形態</th> <th>転入前 (N=321)</th> <th>転入後 (N=318)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>持ち家の一戸建て</td> <td>32.7%</td> <td>65.1%</td> </tr> <tr> <td>持ち家の集合住宅(マンション)</td> <td>3.4%</td> <td>0.9%</td> </tr> <tr> <td>賃貸の一戸建て</td> <td>8.1%</td> <td>5.0%</td> </tr> <tr> <td>賃貸のアパート・マンション</td> <td>43.0%</td> <td>17.6%</td> </tr> <tr> <td>公営住宅(県営市営など)</td> <td>3.7%</td> <td>3.5%</td> </tr> <tr> <td>給与住宅(社宅・官舎など)</td> <td>0.9%</td> <td>2.5%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0.9%</td> <td>4.4%</td> </tr> </tbody> </table>	住宅所有形態	転入前 (N=321)	転入後 (N=318)	持ち家の一戸建て	32.7%	65.1%	持ち家の集合住宅(マンション)	3.4%	0.9%	賃貸の一戸建て	8.1%	5.0%	賃貸のアパート・マンション	43.0%	17.6%	公営住宅(県営市営など)	3.7%	3.5%	給与住宅(社宅・官舎など)	0.9%	2.5%	その他	0.9%	4.4%
住宅所有形態	転入前 (N=321)	転入後 (N=318)																							
持ち家の一戸建て	32.7%	65.1%																							
持ち家の集合住宅(マンション)	3.4%	0.9%																							
賃貸の一戸建て	8.1%	5.0%																							
賃貸のアパート・マンション	43.0%	17.6%																							
公営住宅(県営市営など)	3.7%	3.5%																							
給与住宅(社宅・官舎など)	0.9%	2.5%																							
その他	0.9%	4.4%																							

参考. アンケート調査結果 (転入者アンケート)

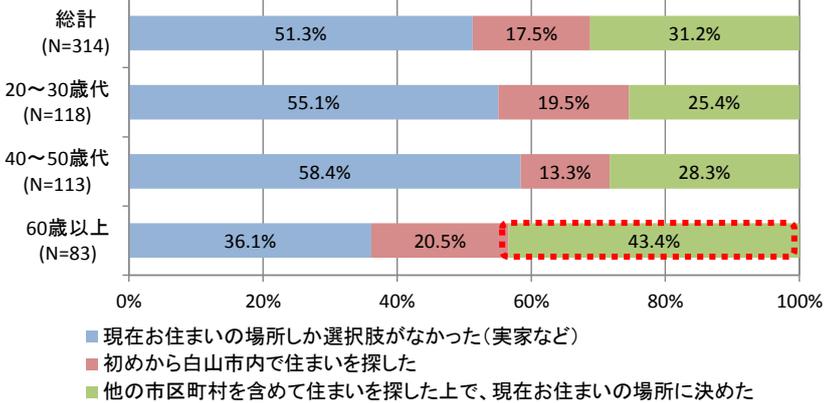
②転入の理由などについて

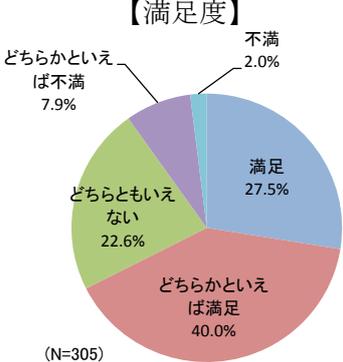
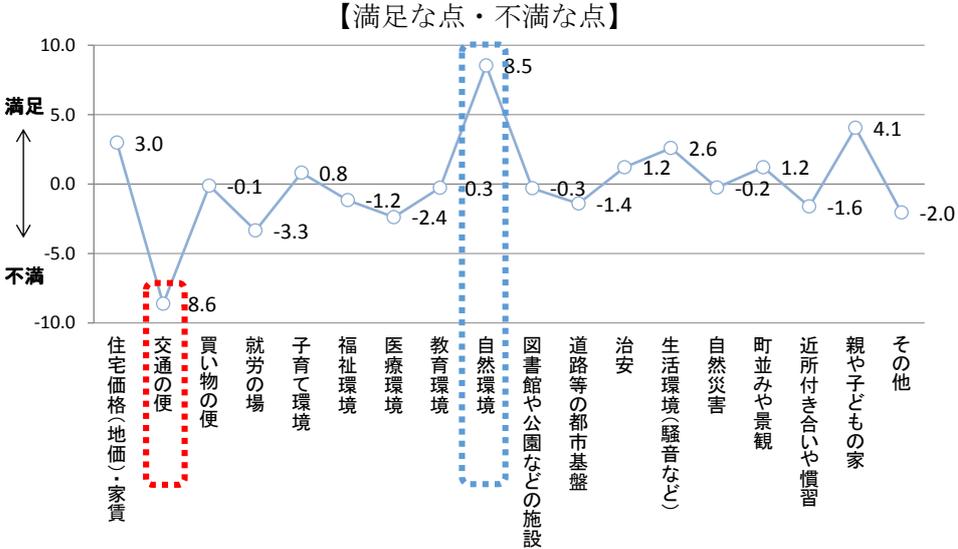


参考. アンケート調査結果（転入者アンケート）



参考: アンケート調査結果 (転入者アンケート)

項目	結果の概要																				
<p>(2)-②-3 白山市以外での住まい探し</p>	<p>◇「現在お住まいの場所しか選択肢がなかった(実家など)」が51.3%を占めています。</p> <p>◇一方、60歳以上では、「他の市区町村を含めて住まいを探した上で、現在お住まいの場所に決めた」が43.4%となっています。</p>  <table border="1" data-bbox="502 607 1326 1010"> <caption>住まい探し結果の概要</caption> <thead> <tr> <th>年齢層</th> <th>現在お住まいの場所しか選択肢がなかった(実家など)</th> <th>初めから白山市内で住まいを探した</th> <th>他の市区町村を含めて住まいを探した上で、現在お住まいの場所に決めた</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総計 (N=314)</td> <td>51.3%</td> <td>17.5%</td> <td>31.2%</td> </tr> <tr> <td>20~30歳代 (N=118)</td> <td>55.1%</td> <td>19.5%</td> <td>25.4%</td> </tr> <tr> <td>40~50歳代 (N=113)</td> <td>58.4%</td> <td>13.3%</td> <td>28.3%</td> </tr> <tr> <td>60歳以上 (N=83)</td> <td>36.1%</td> <td>20.5%</td> <td>43.4%</td> </tr> </tbody> </table>	年齢層	現在お住まいの場所しか選択肢がなかった(実家など)	初めから白山市内で住まいを探した	他の市区町村を含めて住まいを探した上で、現在お住まいの場所に決めた	総計 (N=314)	51.3%	17.5%	31.2%	20~30歳代 (N=118)	55.1%	19.5%	25.4%	40~50歳代 (N=113)	58.4%	13.3%	28.3%	60歳以上 (N=83)	36.1%	20.5%	43.4%
年齢層	現在お住まいの場所しか選択肢がなかった(実家など)	初めから白山市内で住まいを探した	他の市区町村を含めて住まいを探した上で、現在お住まいの場所に決めた																		
総計 (N=314)	51.3%	17.5%	31.2%																		
20~30歳代 (N=118)	55.1%	19.5%	25.4%																		
40~50歳代 (N=113)	58.4%	13.3%	28.3%																		
60歳以上 (N=83)	36.1%	20.5%	43.4%																		

<p>(2)-②-4 白山市の満足度等</p>	<p>◇「満足/どちらかといえば満足」が合わせて67.5%を占めています。</p> <p>◇満足な点は「自然環境」「親や子どもの家」「住宅価格・家賃」、不満な点は「交通の便」「就労の場」「医療環境」があげられています。</p>   <table border="1" data-bbox="438 1440 1396 1989"> <caption>【満足な点・不満な点】</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>住宅価格(地価・家賃)</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>交通の便</td><td>-8.6</td></tr> <tr><td>買い物</td><td>-0.1</td></tr> <tr><td>就労の場</td><td>-3.3</td></tr> <tr><td>子育て環境</td><td>0.8</td></tr> <tr><td>福祉環境</td><td>-1.2</td></tr> <tr><td>医療環境</td><td>-2.4</td></tr> <tr><td>教育環境</td><td>0.3</td></tr> <tr><td>自然環境</td><td>8.5</td></tr> <tr><td>図書館や公園などの施設</td><td>-0.3</td></tr> <tr><td>道路等の都市基盤</td><td>-1.4</td></tr> <tr><td>治安</td><td>1.2</td></tr> <tr><td>生活環境(騒音など)</td><td>2.6</td></tr> <tr><td>自然災害</td><td>-0.2</td></tr> <tr><td>町並みや景観</td><td>1.2</td></tr> <tr><td>近所付き合いや慣習</td><td>-1.6</td></tr> <tr><td>親や子どもの家</td><td>4.1</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-2.0</td></tr> </tbody> </table> <p>*加重平均値 (1位: ±30点、2位: ±20点、3位: ±10点)</p>	項目	満足度	住宅価格(地価・家賃)	3.0	交通の便	-8.6	買い物	-0.1	就労の場	-3.3	子育て環境	0.8	福祉環境	-1.2	医療環境	-2.4	教育環境	0.3	自然環境	8.5	図書館や公園などの施設	-0.3	道路等の都市基盤	-1.4	治安	1.2	生活環境(騒音など)	2.6	自然災害	-0.2	町並みや景観	1.2	近所付き合いや慣習	-1.6	親や子どもの家	4.1	その他	-2.0
項目	満足度																																						
住宅価格(地価・家賃)	3.0																																						
交通の便	-8.6																																						
買い物	-0.1																																						
就労の場	-3.3																																						
子育て環境	0.8																																						
福祉環境	-1.2																																						
医療環境	-2.4																																						
教育環境	0.3																																						
自然環境	8.5																																						
図書館や公園などの施設	-0.3																																						
道路等の都市基盤	-1.4																																						
治安	1.2																																						
生活環境(騒音など)	2.6																																						
自然災害	-0.2																																						
町並みや景観	1.2																																						
近所付き合いや慣習	-1.6																																						
親や子どもの家	4.1																																						
その他	-2.0																																						

参考: アンケート調査結果 (転入者アンケート)

項目	結果の概要																																																																																																																												
(2)-②-5 白山市の 満足度等	<p>◇松任地域及び鶴来地域では「満足／どちらかといえば満足」が約 70%を占め、他の地域と比べて高くなっています。</p> <p>◇全ての地域で「交通の便」「就労の場」については、不満（マイナス）の評価となっています。</p> <p>◇白山ろく地域では、「自然環境 (24.4)」が他の地域に比べ高い一方、「買い物の便 (-16.6)」や「医療環境 (-9.7)」は他の地域に比べ低くなっています。</p> <p>◇松任地域では、「買い物の便 (7.3)」や「医療環境 (1.3)」はやや満足（プラス）の評価となっています。</p>																																																																																																																												
	<p style="text-align: center;">【地域別の満足度】</p> <table border="1"> <caption>【地域別の満足度】</caption> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>満足</th> <th>どちらかといえば満足</th> <th>どちらともいえない</th> <th>どちらかといえば不満</th> <th>不満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松任地域 (N=146)</td> <td>34.9%</td> <td>34.9%</td> <td>20.5%</td> <td>7.5%</td> <td>2.1%</td> </tr> <tr> <td>美川地域 (N=51)</td> <td>17.6%</td> <td>41.2%</td> <td>31.4%</td> <td>7.8%</td> <td>2.0%</td> </tr> <tr> <td>鶴来地域 (N=76)</td> <td>19.7%</td> <td>51.3%</td> <td>19.7%</td> <td>9.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>白山ろく地域 (N=31)</td> <td>29.0%</td> <td>32.3%</td> <td>25.8%</td> <td>6.5%</td> <td>6.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">【地域別の満足な点・不満な点】</p> <table border="1"> <caption>【地域別の満足な点・不満な点】</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>松任地域 (N=132)</th> <th>美川地域 (N=48)</th> <th>鶴来地域 (N=74)</th> <th>白山ろく地域 (N=31)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住宅価格(地価)・家賃</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>交通の便</td> <td>-6.5</td> <td>-6.5</td> <td>-6.5</td> <td>-6.5</td> </tr> <tr> <td>買い物の便</td> <td>7.3</td> <td>-9.4</td> <td>-0.3</td> <td>-16.6</td> </tr> <tr> <td>就労の場</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>子育て環境</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>福祉環境</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>医療環境</td> <td>1.3</td> <td>-9.7</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>教育環境</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>自然環境</td> <td>3.4</td> <td>10.7</td> <td>9.8</td> <td>24.4</td> </tr> <tr> <td>図書館や公園などの施設</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>道路等の都市基盤</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>治安</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>生活環境(騒音など)</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>自然災害</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>町並みや景観</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>近所付き合いや慣習</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>親や子どもの家</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>	地域	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	松任地域 (N=146)	34.9%	34.9%	20.5%	7.5%	2.1%	美川地域 (N=51)	17.6%	41.2%	31.4%	7.8%	2.0%	鶴来地域 (N=76)	19.7%	51.3%	19.7%	9.2%		白山ろく地域 (N=31)	29.0%	32.3%	25.8%	6.5%	6.5%	項目	松任地域 (N=132)	美川地域 (N=48)	鶴来地域 (N=74)	白山ろく地域 (N=31)	住宅価格(地価)・家賃	0.0	0.0	0.0	0.0	交通の便	-6.5	-6.5	-6.5	-6.5	買い物の便	7.3	-9.4	-0.3	-16.6	就労の場	0.0	0.0	0.0	0.0	子育て環境	0.0	0.0	0.0	0.0	福祉環境	0.0	0.0	0.0	0.0	医療環境	1.3	-9.7	0.0	0.0	教育環境	0.0	0.0	0.0	0.0	自然環境	3.4	10.7	9.8	24.4	図書館や公園などの施設	0.0	0.0	0.0	0.0	道路等の都市基盤	0.0	0.0	0.0	0.0	治安	0.0	0.0	0.0	0.0	生活環境(騒音など)	0.0	0.0	0.0	0.0	自然災害	0.0	0.0	0.0	0.0	町並みや景観	0.0	0.0	0.0	0.0	近所付き合いや慣習	0.0	0.0	0.0	0.0	親や子どもの家	0.0	0.0	0.0	0.0	その他	0.0	0.0	0.0
地域	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満																																																																																																																								
松任地域 (N=146)	34.9%	34.9%	20.5%	7.5%	2.1%																																																																																																																								
美川地域 (N=51)	17.6%	41.2%	31.4%	7.8%	2.0%																																																																																																																								
鶴来地域 (N=76)	19.7%	51.3%	19.7%	9.2%																																																																																																																									
白山ろく地域 (N=31)	29.0%	32.3%	25.8%	6.5%	6.5%																																																																																																																								
項目	松任地域 (N=132)	美川地域 (N=48)	鶴来地域 (N=74)	白山ろく地域 (N=31)																																																																																																																									
住宅価格(地価)・家賃	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
交通の便	-6.5	-6.5	-6.5	-6.5																																																																																																																									
買い物の便	7.3	-9.4	-0.3	-16.6																																																																																																																									
就労の場	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
子育て環境	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
福祉環境	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
医療環境	1.3	-9.7	0.0	0.0																																																																																																																									
教育環境	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
自然環境	3.4	10.7	9.8	24.4																																																																																																																									
図書館や公園などの施設	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
道路等の都市基盤	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
治安	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
生活環境(騒音など)	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
自然災害	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
町並みや景観	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
近所付き合いや慣習	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
親や子どもの家	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
その他	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									

参考: アンケート調査結果 (転入者アンケート)

項目	結果の概要																				
(2)-②-6 白山市 での 定住意向	◇「今後も住みたい」が48.0%、「将来は市外に引っ越したい」が10.8%となっています。																				
	<table border="1"> <caption>年齢別定住意向</caption> <thead> <tr> <th>年齢層</th> <th>今後も住みたい</th> <th>将来は市外に引っ越したい</th> <th>特に考えていない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総計 (N=306)</td> <td>48.0%</td> <td>10.8%</td> <td>41.2%</td> </tr> <tr> <td>20~30歳代 (N=114)</td> <td>50.0%</td> <td>7.9%</td> <td>42.1%</td> </tr> <tr> <td>40~50歳代 (N=108)</td> <td>43.5%</td> <td>12.0%</td> <td>44.4%</td> </tr> <tr> <td>60歳以上 (N=84)</td> <td>51.2%</td> <td>13.1%</td> <td>35.7%</td> </tr> </tbody> </table>	年齢層	今後も住みたい	将来は市外に引っ越したい	特に考えていない	総計 (N=306)	48.0%	10.8%	41.2%	20~30歳代 (N=114)	50.0%	7.9%	42.1%	40~50歳代 (N=108)	43.5%	12.0%	44.4%	60歳以上 (N=84)	51.2%	13.1%	35.7%
年齢層	今後も住みたい	将来は市外に引っ越したい	特に考えていない																		
総計 (N=306)	48.0%	10.8%	41.2%																		
20~30歳代 (N=114)	50.0%	7.9%	42.1%																		
40~50歳代 (N=108)	43.5%	12.0%	44.4%																		
60歳以上 (N=84)	51.2%	13.1%	35.7%																		
	◇白山ろく地域では「今後も住みたい」が58.1%で他の地域と比べて高くなっています。また「将来は市外に引っ越したい」の回答はみられません。																				
	<table border="1"> <caption>地域別定住意向</caption> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>今後も住みたい</th> <th>将来は市外に引っ越したい</th> <th>特に考えていない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松任地域 (N=143)</td> <td>49.0%</td> <td>12.6%</td> <td>38.5%</td> </tr> <tr> <td>美川地域 (N=52)</td> <td>40.4%</td> <td>11.5%</td> <td>48.1%</td> </tr> <tr> <td>鶴来地域 (N=79)</td> <td>48.1%</td> <td>11.4%</td> <td>40.5%</td> </tr> <tr> <td>白山ろく地域 (N=31)</td> <td>58.1%</td> <td>0.0%</td> <td>41.9%</td> </tr> </tbody> </table>	地域	今後も住みたい	将来は市外に引っ越したい	特に考えていない	松任地域 (N=143)	49.0%	12.6%	38.5%	美川地域 (N=52)	40.4%	11.5%	48.1%	鶴来地域 (N=79)	48.1%	11.4%	40.5%	白山ろく地域 (N=31)	58.1%	0.0%	41.9%
地域	今後も住みたい	将来は市外に引っ越したい	特に考えていない																		
松任地域 (N=143)	49.0%	12.6%	38.5%																		
美川地域 (N=52)	40.4%	11.5%	48.1%																		
鶴来地域 (N=79)	48.1%	11.4%	40.5%																		
白山ろく地域 (N=31)	58.1%	0.0%	41.9%																		

参考. アンケート調査結果（転入者アンケート）

<自由回答の抜粋>

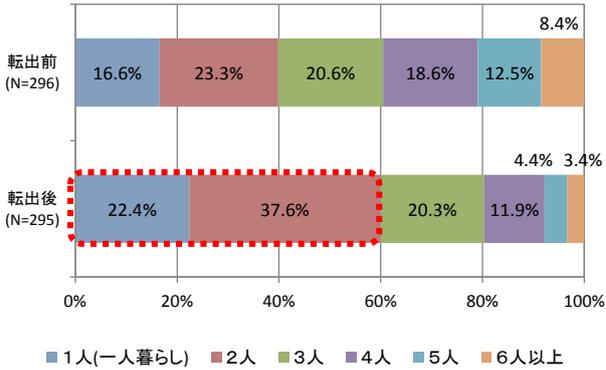
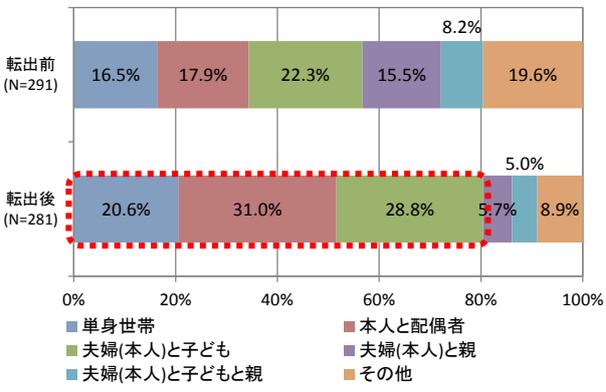
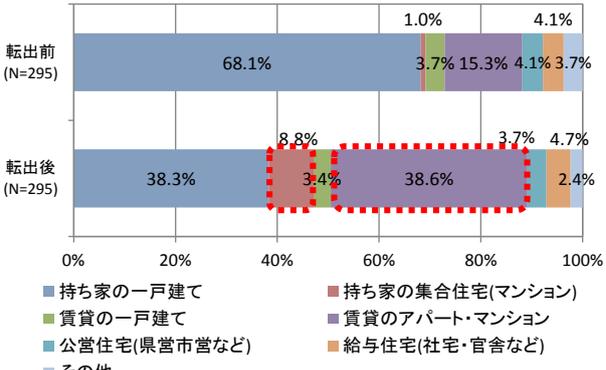
項目	結果の概要
<p>(2)-②-7 自由回答</p>	<p>◇「交通の便」に関する意見が最も多く、次いで「買い物の便」、「行政サービス」となっています。</p> <p><交通の便>（以下、一部抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終バスの時間が早すぎる。せめて21時ごろまでほしい。 ・公共交通機関、バス路線が少ない。 ・コミュニティバスの便数を増やし、土日祝も運行して欲しいです。マイカーがないと移動もままならない町ですが、いつでも運転できる年令ではありません。 ・居住した地域かもしれませんが、交通機関の不便さを感じます。 ・終電が遅いと良い。 ・今は車の運転ができますが、さらに年を取ったら車では動けなくなります。妻は車の運転ができない状況ですが、公共交通の便が悪く利用しにくい状況です。 ・新幹線の停車駅があると良いと思います。 <p><買物の便></p> <ul style="list-style-type: none"> ・松任周辺が寂しいのでもう少しにぎわいがあれば良いと思います。 ・笠間エリアにもっと飲食店があると良いと思います。学生も多いのでにぎわうのではないかと思います。 ・徒歩圏内での買い物が不便。 ・金沢から転入したため、ショッピングセンターなどが少なく感じ、また松任や野々市市までに行かないといけないため、買い物が不便に感じます。 ・旧町内の店屋が減少し、日用品の購入にも車で郊外のスーパーに出かける必要がある点が不便。 <p><行政サービス></p> <ul style="list-style-type: none"> ・非課税世帯の援助（医療費を含めて）が少ないこと。 ・都会並みにきめ細やかな条例を作って市民にサービスをして頂きたいと思っています。 ・水道代の見直し（少し高い）。 ・税金が高い。

(3) 転出者アンケート調査

①回答者自身やご家族のことについて

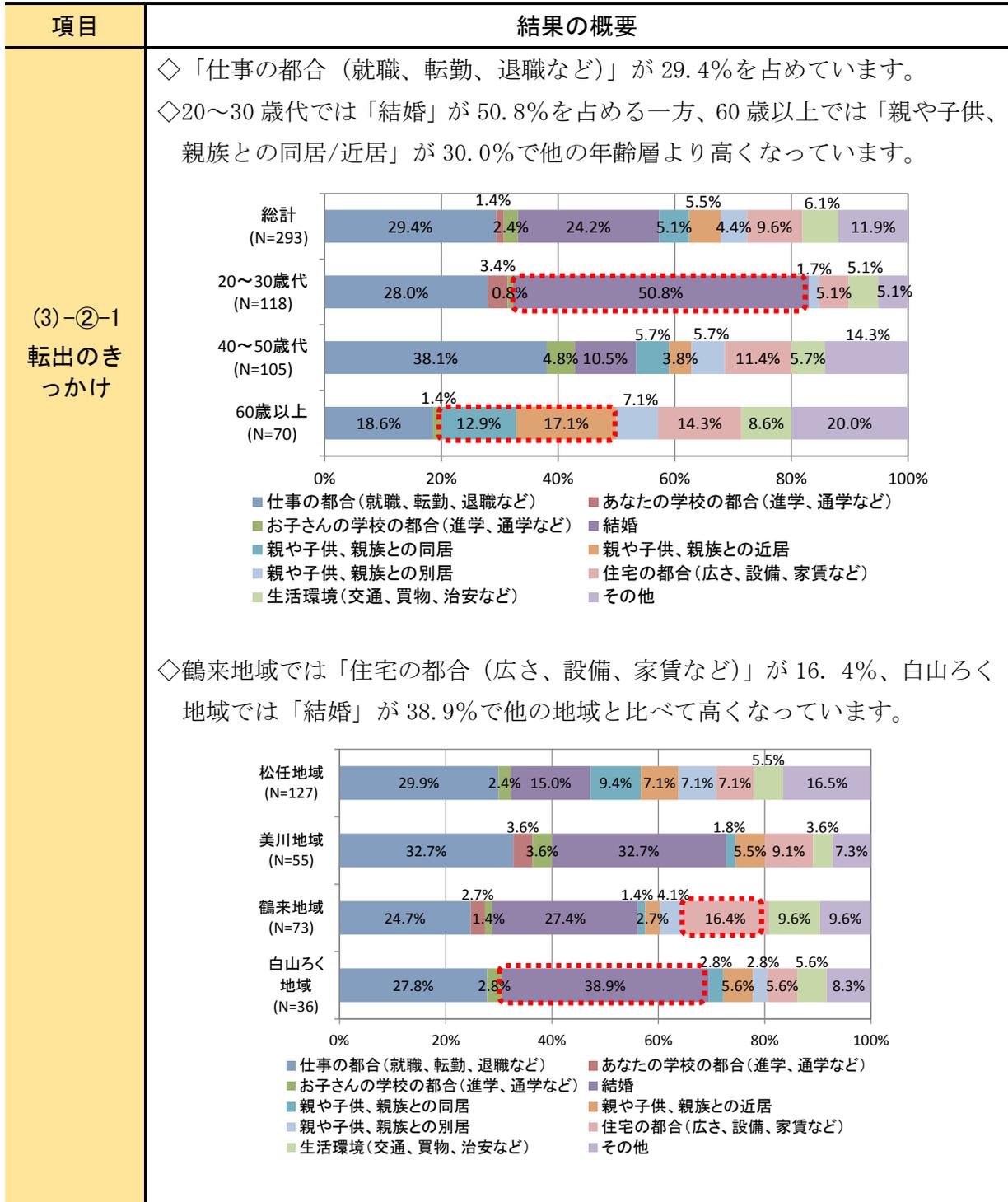
項目	結果の概要
<p>(3)-①-1 性別 ・ 年齢 ・ 職業</p>	<p>◇「女性」が53.7%、「男性」が46.3%とほぼ同数になっています。 ◇「20～30歳代」が40.2%、「40～50歳代」が35.5%、「60歳以上」が24.3%となっています。 ◇「会社員・会社役員」が42.3%、「パート・アルバイト」が16.0%、「無職」が13.0%となっています。</p> <p style="text-align: center;">【性別】 【年齢構成】 【職業】</p> <p>(N=296) (N=296) (N=293)</p>
<p>(3)-①-2 白山市での居住年数 ・ 白山市でのお住まいの地域</p>	<p>◇「20年以上」が52.2%、「10～19年」が17.6%、「1～4年」が14.2%となっています。 ◇「松任地域」が43.5%、「鶴来地域」が24.8%、「美川地域」が19.4%となっています。白山ろく地域は合わせて12.2%となっています。</p> <p style="text-align: center;">【白山市での居住年数】 【白山市でのお住まいの地域】</p> <p>(N=295) (N=294)</p>
<p>(3)-①-3 転出後のお住まい ・ 勤務(通学)先</p>	<p>◇「石川県」が70.5%を占め、金沢市(31.1%)や野々市市(11.5%)、能美市(6.5%)が多くみられます。「県外」は関東・甲信越が10.5%、近畿が7.1%を占め、他地域より多くなっています。 ◇通勤先は「県内各市町」が48.9%、「県外」が30.4%、「白山市内」が20.7%で、県内各市町では金沢市や野々市市、白山市内では松任地域が多くみられます。</p> <p style="text-align: center;">【転出後のお住まい】 【通勤先】</p> <p>(N=295) (N=227)</p>

参考. アンケート調査結果 (転出者アンケート)

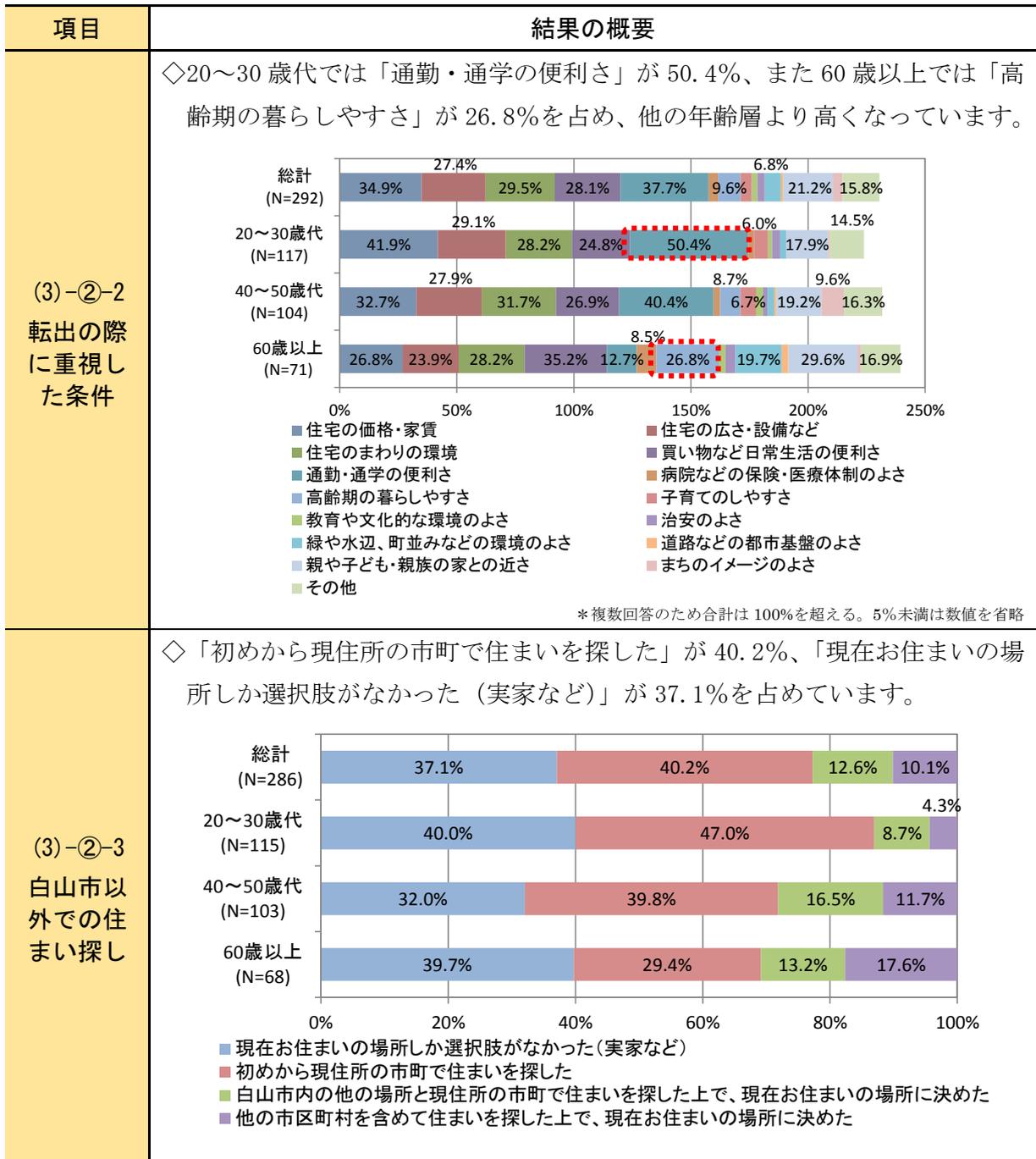
項目	結果の概要																								
<p>(3)-①-4 転出前後 の世帯人 数</p>	<p>◇転出前は「2人」が23.3%、「3人」が20.6%となっています。 ◇一方、転出後は「2人」が37.6%、「1人(一人暮らし)」が22.4%となっており、転出前より世帯人員が少なくなっています。</p>  <table border="1"> <caption>世帯人数の割合</caption> <thead> <tr> <th>世帯人数</th> <th>転出前 (N=296)</th> <th>転出後 (N=295)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人(一人暮らし)</td> <td>16.6%</td> <td>22.4%</td> </tr> <tr> <td>2人</td> <td>23.3%</td> <td>37.6%</td> </tr> <tr> <td>3人</td> <td>20.6%</td> <td>20.3%</td> </tr> <tr> <td>4人</td> <td>18.6%</td> <td>11.9%</td> </tr> <tr> <td>5人</td> <td>12.5%</td> <td>4.4%</td> </tr> <tr> <td>6人以上</td> <td>8.4%</td> <td>3.4%</td> </tr> </tbody> </table>	世帯人数	転出前 (N=296)	転出後 (N=295)	1人(一人暮らし)	16.6%	22.4%	2人	23.3%	37.6%	3人	20.6%	20.3%	4人	18.6%	11.9%	5人	12.5%	4.4%	6人以上	8.4%	3.4%			
世帯人数	転出前 (N=296)	転出後 (N=295)																							
1人(一人暮らし)	16.6%	22.4%																							
2人	23.3%	37.6%																							
3人	20.6%	20.3%																							
4人	18.6%	11.9%																							
5人	12.5%	4.4%																							
6人以上	8.4%	3.4%																							
<p>(3)-①-5 転出前後 の家族構 成</p>	<p>◇転出前は「夫婦(本人)と子ども」が22.3%、「本人と配偶者」が17.9%となっています。 ◇一方、転出後は「本人と配偶者」が31.0%、「夫婦(本人)と子ども」が28.8%となっています。</p>  <table border="1"> <caption>家族構成の割合</caption> <thead> <tr> <th>家族構成</th> <th>転出前 (N=291)</th> <th>転出後 (N=281)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単身世帯</td> <td>16.5%</td> <td>20.6%</td> </tr> <tr> <td>本人と配偶者</td> <td>17.9%</td> <td>31.0%</td> </tr> <tr> <td>夫婦(本人)と子ども</td> <td>22.3%</td> <td>28.8%</td> </tr> <tr> <td>夫婦(本人)と親</td> <td>15.5%</td> <td>5.7%</td> </tr> <tr> <td>夫婦(本人)と子どもと親</td> <td>8.2%</td> <td>5.0%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>19.6%</td> <td>8.9%</td> </tr> </tbody> </table>	家族構成	転出前 (N=291)	転出後 (N=281)	単身世帯	16.5%	20.6%	本人と配偶者	17.9%	31.0%	夫婦(本人)と子ども	22.3%	28.8%	夫婦(本人)と親	15.5%	5.7%	夫婦(本人)と子どもと親	8.2%	5.0%	その他	19.6%	8.9%			
家族構成	転出前 (N=291)	転出後 (N=281)																							
単身世帯	16.5%	20.6%																							
本人と配偶者	17.9%	31.0%																							
夫婦(本人)と子ども	22.3%	28.8%																							
夫婦(本人)と親	15.5%	5.7%																							
夫婦(本人)と子どもと親	8.2%	5.0%																							
その他	19.6%	8.9%																							
<p>(3)-①-6 転出前後 の住宅の 所有形態</p>	<p>◇転出前は「持ち家の一戸建て」が68.1%、「賃貸のアパート・マンション」が15.3%となっています。 ◇一方、転出後は「賃貸のアパート・マンション」が38.6%、「持ち家の一戸建て」が38.3%のほか、「持ち家の集合住宅」が8.8%となっています。</p>  <table border="1"> <caption>住宅所有形態の割合</caption> <thead> <tr> <th>住宅所有形態</th> <th>転出前 (N=295)</th> <th>転出後 (N=295)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>持ち家の一戸建て</td> <td>68.1%</td> <td>38.3%</td> </tr> <tr> <td>持ち家の集合住宅(マンション)</td> <td>1.0%</td> <td>8.8%</td> </tr> <tr> <td>賃貸の一戸建て</td> <td>3.7%</td> <td>3.4%</td> </tr> <tr> <td>賃貸のアパート・マンション</td> <td>15.3%</td> <td>38.6%</td> </tr> <tr> <td>公営住宅(県営市営など)</td> <td>4.1%</td> <td>3.7%</td> </tr> <tr> <td>給与住宅(社宅・官舎など)</td> <td>3.7%</td> <td>4.7%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3.7%</td> <td>2.4%</td> </tr> </tbody> </table>	住宅所有形態	転出前 (N=295)	転出後 (N=295)	持ち家の一戸建て	68.1%	38.3%	持ち家の集合住宅(マンション)	1.0%	8.8%	賃貸の一戸建て	3.7%	3.4%	賃貸のアパート・マンション	15.3%	38.6%	公営住宅(県営市営など)	4.1%	3.7%	給与住宅(社宅・官舎など)	3.7%	4.7%	その他	3.7%	2.4%
住宅所有形態	転出前 (N=295)	転出後 (N=295)																							
持ち家の一戸建て	68.1%	38.3%																							
持ち家の集合住宅(マンション)	1.0%	8.8%																							
賃貸の一戸建て	3.7%	3.4%																							
賃貸のアパート・マンション	15.3%	38.6%																							
公営住宅(県営市営など)	4.1%	3.7%																							
給与住宅(社宅・官舎など)	3.7%	4.7%																							
その他	3.7%	2.4%																							

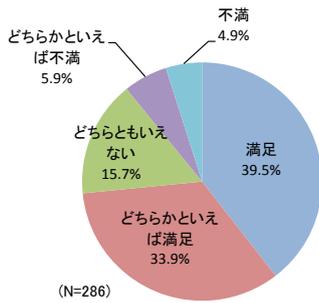
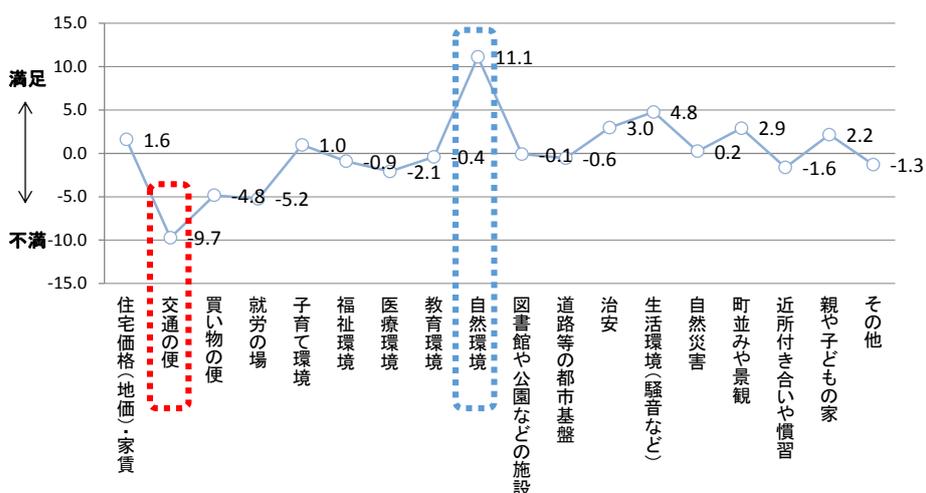
参考: アンケート調査結果 (転出者アンケート)

②転出の理由などについて



参考: アンケート調査結果 (転出者アンケート)



項目	結果の概要																																					
<p>(3)-②-4 白山市の満足度等</p>	<p>◇「満足/どちらかといえば満足」が合わせて73.4%を占めています。 ◇満足な点は「自然環境」「生活環境（騒音など）」「治安」、不満な点は「交通の便」「就労の場」「買い物の便」があげられています。</p>																																					
	<p style="text-align: center;">【満足度】</p>  <p style="text-align: center;">【満足な点・不満な点】</p>  <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>【満足な点・不満な点】の加重平均値</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>加重平均値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>住宅価格(地価)・家賃</td><td>1.6</td></tr> <tr><td>交通の便</td><td>-9.7</td></tr> <tr><td>買い物の便</td><td>-4.8</td></tr> <tr><td>就労の場</td><td>-5.2</td></tr> <tr><td>子育て環境</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>福祉環境</td><td>-0.9</td></tr> <tr><td>医療環境</td><td>-2.1</td></tr> <tr><td>教育環境</td><td>-0.4</td></tr> <tr><td>自然環境</td><td>11.1</td></tr> <tr><td>図書館や公園などの施設</td><td>-0.1</td></tr> <tr><td>道路等の都市基盤</td><td>-0.6</td></tr> <tr><td>治安</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>生活環境(騒音など)</td><td>4.8</td></tr> <tr><td>自然災害</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>町並みや景観</td><td>2.9</td></tr> <tr><td>近所付き合いや慣習</td><td>-1.6</td></tr> <tr><td>親や子どもの家</td><td>2.2</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-1.3</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">*加重平均値 (1位: ±30点、2位: ±20点、3位: ±10点)</p>	項目	加重平均値	住宅価格(地価)・家賃	1.6	交通の便	-9.7	買い物の便	-4.8	就労の場	-5.2	子育て環境	1.0	福祉環境	-0.9	医療環境	-2.1	教育環境	-0.4	自然環境	11.1	図書館や公園などの施設	-0.1	道路等の都市基盤	-0.6	治安	3.0	生活環境(騒音など)	4.8	自然災害	0.2	町並みや景観	2.9	近所付き合いや慣習	-1.6	親や子どもの家	2.2	その他
項目	加重平均値																																					
住宅価格(地価)・家賃	1.6																																					
交通の便	-9.7																																					
買い物の便	-4.8																																					
就労の場	-5.2																																					
子育て環境	1.0																																					
福祉環境	-0.9																																					
医療環境	-2.1																																					
教育環境	-0.4																																					
自然環境	11.1																																					
図書館や公園などの施設	-0.1																																					
道路等の都市基盤	-0.6																																					
治安	3.0																																					
生活環境(騒音など)	4.8																																					
自然災害	0.2																																					
町並みや景観	2.9																																					
近所付き合いや慣習	-1.6																																					
親や子どもの家	2.2																																					
その他	-1.3																																					

参考. アンケート調査結果 (転出者アンケート)

項目	結果の概要																																																																																																																												
(3)-②-5 白山市の 満足度等	<p>◇いずれの地域も「満足/どちらかといえば満足」が70%以上を占めています。</p> <p>◇全ての地域で「交通の便」「就労の場」については、不満(マイナス)の評価となっています。</p> <p>◇白山ろく地域では、「自然環境(22.7)」が他の地域に比べ高い一方、「交通の便(-21.2)」は他の地域に比べ低くなっています。</p> <p>◇松任地域では、「買い物の便(4.0)」がやや満足(プラス)の評価となっています。</p>																																																																																																																												
	<p style="text-align: center;">【地域別の満足度】</p> <table border="1"> <caption>【地域別の満足度】</caption> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>満足</th> <th>どちらかといえば満足</th> <th>どちらともいえない</th> <th>どちらかといえば不満</th> <th>不満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松任地域 (N=127)</td> <td>42.5%</td> <td>33.9%</td> <td>13.4%</td> <td>5.5%</td> <td>4.7%</td> </tr> <tr> <td>美川地域 (N=54)</td> <td>33.3%</td> <td>37.0%</td> <td>18.5%</td> <td>7.4%</td> <td>3.7%</td> </tr> <tr> <td>鶴来地域 (N=70)</td> <td>38.6%</td> <td>32.9%</td> <td>17.1%</td> <td>4.3%</td> <td>7.1%</td> </tr> <tr> <td>白山ろく地域 (N=33)</td> <td>39.4%</td> <td>33.3%</td> <td>15.2%</td> <td>9.1%</td> <td>3.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">【地域別の満足な点・不満な点】</p> <table border="1"> <caption>【地域別の満足な点・不満な点】</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>松任地域 (N=110)</th> <th>美川地域 (N=48)</th> <th>鶴来地域 (N=62)</th> <th>白山ろく地域 (N=33)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住宅価格(地価)・家賃</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>交通の便</td> <td>-4.3</td> <td>-9.6</td> <td>-12.8</td> <td>-21.2</td> </tr> <tr> <td>買い物の便</td> <td>4.0</td> <td>-8.7</td> <td>-11.9</td> <td>-15.5</td> </tr> <tr> <td>就労の場</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>子育て環境</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>福祉環境</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>医療環境</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>教育環境</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>自然環境</td> <td>6.7</td> <td>10.7</td> <td>12.8</td> <td>22.7</td> </tr> <tr> <td>図書館や公園などの施設</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>道路等の都市基盤</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>治安</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>生活環境(騒音など)</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>自然災害</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>町並みや景観</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>近所付き合いや慣習</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>親や子どもの家</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">*加重平均値 (1位: ±30点、2位: ±20点、3位: ±10点)</p>	地域	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	松任地域 (N=127)	42.5%	33.9%	13.4%	5.5%	4.7%	美川地域 (N=54)	33.3%	37.0%	18.5%	7.4%	3.7%	鶴来地域 (N=70)	38.6%	32.9%	17.1%	4.3%	7.1%	白山ろく地域 (N=33)	39.4%	33.3%	15.2%	9.1%	3.0%	項目	松任地域 (N=110)	美川地域 (N=48)	鶴来地域 (N=62)	白山ろく地域 (N=33)	住宅価格(地価)・家賃	0.0	0.0	0.0	0.0	交通の便	-4.3	-9.6	-12.8	-21.2	買い物の便	4.0	-8.7	-11.9	-15.5	就労の場	0.0	0.0	0.0	0.0	子育て環境	0.0	0.0	0.0	0.0	福祉環境	0.0	0.0	0.0	0.0	医療環境	0.0	0.0	0.0	0.0	教育環境	0.0	0.0	0.0	0.0	自然環境	6.7	10.7	12.8	22.7	図書館や公園などの施設	0.0	0.0	0.0	0.0	道路等の都市基盤	0.0	0.0	0.0	0.0	治安	0.0	0.0	0.0	0.0	生活環境(騒音など)	0.0	0.0	0.0	0.0	自然災害	0.0	0.0	0.0	0.0	町並みや景観	0.0	0.0	0.0	0.0	近所付き合いや慣習	0.0	0.0	0.0	0.0	親や子どもの家	0.0	0.0	0.0	0.0	その他	0.0	0.0	0.0
地域	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満																																																																																																																								
松任地域 (N=127)	42.5%	33.9%	13.4%	5.5%	4.7%																																																																																																																								
美川地域 (N=54)	33.3%	37.0%	18.5%	7.4%	3.7%																																																																																																																								
鶴来地域 (N=70)	38.6%	32.9%	17.1%	4.3%	7.1%																																																																																																																								
白山ろく地域 (N=33)	39.4%	33.3%	15.2%	9.1%	3.0%																																																																																																																								
項目	松任地域 (N=110)	美川地域 (N=48)	鶴来地域 (N=62)	白山ろく地域 (N=33)																																																																																																																									
住宅価格(地価)・家賃	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
交通の便	-4.3	-9.6	-12.8	-21.2																																																																																																																									
買い物の便	4.0	-8.7	-11.9	-15.5																																																																																																																									
就労の場	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
子育て環境	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
福祉環境	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
医療環境	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
教育環境	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
自然環境	6.7	10.7	12.8	22.7																																																																																																																									
図書館や公園などの施設	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
道路等の都市基盤	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
治安	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
生活環境(騒音など)	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
自然災害	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
町並みや景観	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
近所付き合いや慣習	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
親や子どもの家	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									
その他	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																									

参考: アンケート調査結果 (転出者アンケート)

項目	結果の概要																									
<p>(3)-②-6 白山市への 転居意向</p>	<p>◇「住みたい」が44.5%で、特に20～30歳代では50.8%を占めています。 ◇一方、60歳以上では「住むつもりはない」が34.8%となっています。</p> <table border="1"> <caption>住居意向調査結果 (年齢別)</caption> <thead> <tr> <th>年齢層</th> <th>住みたい</th> <th>住むつもりはない</th> <th>わからない</th> <th>課題が改善されれば住みたい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総計 (N=290)</td> <td>44.5%</td> <td>23.1%</td> <td>27.9%</td> <td>4.5%</td> </tr> <tr> <td>20～30歳代 (N=118)</td> <td>50.8%</td> <td>16.1%</td> <td>29.7%</td> <td>3.4%</td> </tr> <tr> <td>40～50歳代 (N=103)</td> <td>39.8%</td> <td>23.3%</td> <td>31.1%</td> <td>5.8%</td> </tr> <tr> <td>60歳以上 (N=69)</td> <td>40.6%</td> <td>34.8%</td> <td>20.3%</td> <td>4.3%</td> </tr> </tbody> </table>	年齢層	住みたい	住むつもりはない	わからない	課題が改善されれば住みたい	総計 (N=290)	44.5%	23.1%	27.9%	4.5%	20～30歳代 (N=118)	50.8%	16.1%	29.7%	3.4%	40～50歳代 (N=103)	39.8%	23.3%	31.1%	5.8%	60歳以上 (N=69)	40.6%	34.8%	20.3%	4.3%
	年齢層	住みたい	住むつもりはない	わからない	課題が改善されれば住みたい																					
総計 (N=290)	44.5%	23.1%	27.9%	4.5%																						
20～30歳代 (N=118)	50.8%	16.1%	29.7%	3.4%																						
40～50歳代 (N=103)	39.8%	23.3%	31.1%	5.8%																						
60歳以上 (N=69)	40.6%	34.8%	20.3%	4.3%																						
<p>◇白山ろく地域では「住みたい」が57.1%で他の地域と比べて高くなっています。</p> <table border="1"> <caption>住居意向調査結果 (地域別)</caption> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>住みたい</th> <th>住むつもりはない</th> <th>わからない</th> <th>課題が改善されれば住みたい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松任地域 (N=126)</td> <td>43.7%</td> <td>28.6%</td> <td>27.8%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>美川地域 (N=55)</td> <td>43.6%</td> <td>16.4%</td> <td>34.5%</td> <td>5.5%</td> </tr> <tr> <td>鶴来地域 (N=72)</td> <td>40.3%</td> <td>23.6%</td> <td>27.8%</td> <td>8.3%</td> </tr> <tr> <td>白山ろく地域 (N=35)</td> <td>57.1%</td> <td>14.3%</td> <td>17.1%</td> <td>11.4%</td> </tr> </tbody> </table>	地域	住みたい	住むつもりはない	わからない	課題が改善されれば住みたい	松任地域 (N=126)	43.7%	28.6%	27.8%	0%	美川地域 (N=55)	43.6%	16.4%	34.5%	5.5%	鶴来地域 (N=72)	40.3%	23.6%	27.8%	8.3%	白山ろく地域 (N=35)	57.1%	14.3%	17.1%	11.4%	
地域	住みたい	住むつもりはない	わからない	課題が改善されれば住みたい																						
松任地域 (N=126)	43.7%	28.6%	27.8%	0%																						
美川地域 (N=55)	43.6%	16.4%	34.5%	5.5%																						
鶴来地域 (N=72)	40.3%	23.6%	27.8%	8.3%																						
白山ろく地域 (N=35)	57.1%	14.3%	17.1%	11.4%																						

参考. アンケート調査結果（転出者アンケート）

<自由回答の抜粋>

項目	結果の概要
<p>(3)-②-7 自由回答</p>	<p>◇「交通の便」に関する意見が最も多く、次いで「まちづくり全般」、「子育て環境」となっています。</p> <p><交通の便>（以下、一部抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白山市の山間部に住んでいましたが、交通の便の改善がなされると良いと思います。若い世代は自家用車で支障なく移動できますが、高齢者は自由が制限されてしまうため、公共交通網の充実が末永い定住には必要と感じます。 ・公共交通機関が不便。環境は住みやすいと思う。 ・新幹線が通るといい。 ・野々市市、川北町への100円バスの路線拡大が必要と感じます。 ・コミュニティバスを土日にも運行して欲しいです。 ・駅までのバスがもう少し多いと良い。もしくはタクシーも遅い時間までであると良い。 <p><まちづくり全般></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化による問題が多発しているが、行政の対応が後手に回っていると思います。 ・自然に恵まれ食物が美味しい。温泉施設も充実している。 ・若者が集う場所、賑わいが今後のまちづくりに大切だと思います。県内でも、トップランナーとして人材や施設の充実、交流が大切だと思います。 ・合併後、白山市の範囲が広すぎてあんまり愛着心が生まれなかった。 ・金沢市のようにマスコミに取り上げられる機会が多いと、住む場所に誇りを持ちやすいのではないかと。 <p><子育て環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てに対するバックアップがしっかりしている。 ・子どもの医療費が無料化されるのは羨ましいです。 ・保育料を軽減して欲しいです。 ・市外から来てもらいやすいように住宅か子育てに関しての助成金の更なる充実を望みます。 ・白山市の子育て支援としては、個人の家への検診のお知らせなど対応が細かくて良かった。 ・子供にもう少し大きな支援。他県の3人目に100万円の援助のニュースを見て驚きました。近い案を出して欲しい。

白山市 人口ビジョン

発 行 平成27年10月

発行者 白山市

編 集 白山市企画振興部 地域創生対策室
〒924-8688
白山市倉光二丁目1番地
TEL (076) 276-1111 (代表)



白山市